KENWOOD

MDV-S810F
MDV-S810L
MDV-S710W
MDV-S710

AV Navigation System

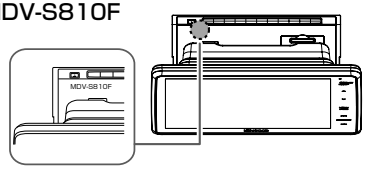
ユーザーズガイド＜統合版＞

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、このユーザーズガイドをよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

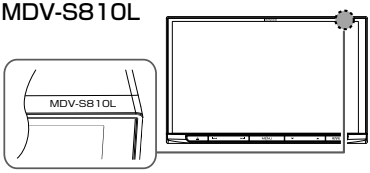
株式会社 JVCケンウッド

モデル名表示位置

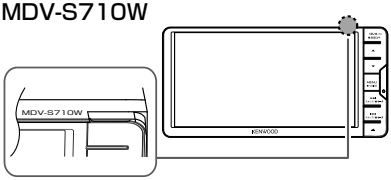
■ MDV-S810F



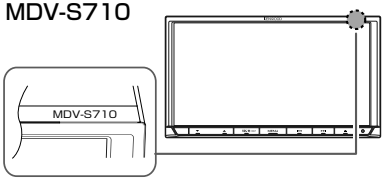
■ MDV-S810L



■ MDV-S710W



■ MDV-S710



© 2023 JVCKENWOOD Corporation

目次

はじめに

安全上のご注意 8
使用上のご注意 11
本書の読みかた 14
本書の構成 14
本書の表記 15
簡単機能ガイド 16
ナビゲーション機能 16
ドライブに役立つ交通情報 16
音楽や映像を楽しむ 17
情報確認や各種設定の変更 17
ドライブレコーダーの映像を表示する 18

基本操作

各部の名称とはたらき 20
本機のフロントパネルについて 22
基本操作 23
電源を入れる / 切る 23
電源オン 23
電源オフ 23
画面 / リストの操作 23
メニュー画面での操作 24
カスタムメニューを使う 25
カスタムメニューを表示する 25
ショートカットボタンを割り当てる 25
サブメニューを使う 25
画面表示を消す 26
ユーザーを切り替える 26
音量を調整する 27
ナビゲーションの音量を調整する 27
AV またはハンズフリー電話の音量を調整する 27
文字入力のしかた 28
文字を入力する 28
音声操作を使う 29
音声で操作する 29
音声操作を中止する 30
ソースを切り替える 30
画面を切り替える 30
地図の操作をする 31
AV の操作をする 31
ナビ案内の操作をする 31
周辺検索をする 32
登録地点（音声操作グループ）の呼び出し操作をする 33
VOIPUT による音声検索をする 34
ショートカットワードで音声操作を使う 35
最初にする設定 / 確認 36
フロントパネルの角度調整 36
視野角を調整する 36
接続状態を確認する 37
車両の設定をする 38
車両ナンバーを設定する 38
車両メンテナンスを設定する 38
ハンドルの位置を設定する 39
オートアンテナの設定をする（オートアンテナ装着車のみ） 39
アンテナの設定をする 39
アンテナを伸ばす / しまう 39
ステアリングリモコンを使う 40
ステアリングリモコンについて 40
車両設定をする 40
独自に機能を割り当てる（ユーザー学習） 40
ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する 42
ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化する 42
セキュリティの設定をする 42
暗証番号を設定する 42
セキュリティインジケーターの設定をする 43
自宅を登録する 44
Bluetooth 機器を登録する 44

ナビゲーション

地図の見かたと操作 46
現在地図画面の見かた 46
ゾーン 30 エリアの表示について 47
地図の縮尺を変える 47
市街地図について 48
地図の向きと表示を切り替える 48

3D 地図の傾き角度を変更する 48
地図画面の表示を切り替える 49
INFO エリアの表示情報 51
地図をスクロールする 52
スクロールしたときの地図表示 52
ランドマークの情報を見る 53
マップクリップを利用する 53
ショートカットボタンを使う 54
周辺検索と周辺情報を取得する 55
ナビゲーションの流れ 56
自宅に帰る / 自宅を変更する 57
自宅に帰る 57
自宅を変更する 57
行き先を探す 58
検索結果に表示されるアイコンについて 58
名称から探す 59
エリアを指定して検索する 60
ジャンルで絞り込む 60
ジャンルから探す 61
登録地点から探す 62
住所から探す 62
履歴から探す 62
履歴を削除する 62
電話番号、郵便番号、マップコード、緯度経度で探す 63
提携駐車場を行き先に設定する 63
ルートの探索と案内 64
ルートの探索と案内を開始する 64
目的地に設定してルートを探索する 64
ルートの探索条件を選択して案内を開始する 64
VICS によるルート探索 65
複数の到着地点情報があったとき 65
ルート案内画面について 66
一般道路でのルート案内 66
高速道路でのルート案内 67
案内ポイントでの割り込み表示 68
ここです案内表示 68
交差点案内図の表示 68
高速道分岐イラストの表示 68
ETC レーン表示 69
案内先読みガイド表示 69
音声案内について 70
ルートを再探索する 72
ルートを編集する 72
経由地を追加する 72
目的地・経由地の順番を入れ替える 73
目的地・経由地を削除する 73
利用するインターチェンジを変更する 74
変更したインターチェンジを元に戻す 74
走行中のルートを表示する 75
ルート全体を表示する 75
目的地を表示する 75
ルート案内を終了する 75
ルートから外れたときは 75
地点を登録する 76
地点を登録する 76
登録した地点をリストで見る 76
登録地点を編集する 76
グループを編集する 77
登録地点を削除する 77

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作 78
ソースを切り替える 78
現在地図画面から AV 画面を表示する 78
「K2テクノロジー」を使う 79
パッセンジャースリープ機能を使う 79
画質を調整する 79
映像の画面表示サイズを変更する 80
iPod の曲を再生する 81
iPod を取り外す 81
画面の見かたと操作 81
USB 機器 /SD カードのファイルを再生する 82
USB 機器を接続する 82
USB 機器を取り外す 82
SD カードを入れる / 出す 83
画面の見かたと操作 84
オーディオファイルの AV 画面 84
ビデオファイルの AV 画面 85
再生リストと再生モードについて 86
カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する 87
カテゴリーデータベースを作成する 87
カテゴリーリストモードで再生する 87

内蔵メモリ /SD カードに録音する ... 88
録音について ... 88
録音設定をする ... 88
録音する ... 89
録音したデータを再生する ... 90
録音データのタイトルを編集する ... 91
タイトルを消去する ... 92
アルバムアートワークとして画像を表示させる ... 92
アートワークを削除する ... 92
録音データを削除する ... 93
録音データを SD カードに移動する ... 93
楽曲情報を取得する ... 94
Gracenote 音楽認識サービスを使うための準備 ... 94
準備 1：スマートフォンのテザリング契約 ... 94
準備 2：本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する ... 94
楽曲情報を取得 / 変更する ... 95
マルチ AV ブラウザを使う ... 96
画面の見かたと操作 ... 96
リストから曲またはビデオを再生する ... 97
CD・オーディオファイルディスクを再生する ... 98
ディスクを入れる / 出す ... 98
ディスクを入れる ... 98
ディスクを取り出す ... 98
ディスクを取り出せないときは ... 99
画面の見かたと操作 ... 99
DVD を再生する ... 101
画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR） ... 101
DVD ビデオを再生する ... 101
DVD-VR を再生する ... 102
DVD ディスクメニューを操作する ... 104
カーソルで操作する ... 104
ディスクメニューを直接操作する ... 104
DVD の設定をする ... 104
地デジを視聴する ... 105
画面の見かたと操作 ... 105
プリセットモードを切り替える ... 106
放送局を登録（プリセット）する ... 107
番組表を見る ... 107
番組表の見かたと操作 ... 108
緊急警報放送を表示する ... 108
中継局 / 系列局をサーチする ... 108
地デジの設定をする ... 109
AM または FM を聴く ... 109
画面の見かたと操作 ... 109
プリセットモードを切り替える ... 110
エリアモードの放送局をリストから選局する ... 110
放送局を登録（プリセット）する ... 110
交通情報を受信する ... 111
画面の見かたと操作 ... 111
HDMI 出力機器を接続する ... 111
接続のしかた ... 111
画面の見かたと操作 ... 112

情報・設定

情報・設定画面について ... 114
VICS 情報を見る ... 114
VICS 情報とは ... 114
VICS 情報の内容と種類 ... 114
VICS 情報の提供方法 ... 114
VICS 情報利用上のご注意 ... 114
地図に表示される VICS 情報 ... 115
地図表示型（レベル 3）情報の表示 ... 115
緊急情報の割り込み表示 ... 116
地図上の VICS 情報を見る ... 116
簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示 ... 116
ETC2.0 割り込み表示 ... 117
VICS 図形 / 文字情報を見る ... 117
FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示 ... 117
ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示 118
ETC2.0 割り込み情報 ... 118
VICS 局の選局方法を切り替える ... 118
自動選局に設定する ... 118
手動で選局する ... 118
VICS 情報の表示設定をする ... 119
ECO 情報を確認する ... 120
ECO 情報を見る ... 120
詳細情報を見る ... 120
ナビゲーションの設定をする ... 121
地図表示を設定する ... 124

自車の現在位置を修正する..... 124
走行軌跡表示を設定する..... 125
走行軌跡を消去する..... 125
地図に表示するランドマークを設定する. 125
ルート探索の条件を設定する..... 126
到着予想時刻用の平均速度を設定する..... 127
到着予想時刻用の平均速度を初期化する. 127
サウンドの設定をする..... 127
車両タイプを設定する..... 128
スピーカー構成を設定する..... 128
リスニングを設定する..... 129
リスニングポジションを微調整する..... 130
フロントフォーカスの微調整をする..... 130
設定した値を初期設定に戻す..... 130
プリセットイコライザーを設定する 131
ユーザーイコライザーを設定する..... 131
調整したイコライザーカーブを保存する ... 132
音響効果を設定する 132
ソースの音量レベルを設定する 133
システムの設定をする..... 133
システムを初期化する..... 135
設定を SD カードに保存する..... 136
設定データを本機に読み込む..... 136
ゴールオートボリュームを設定する 136
外部機器の設定をする..... 137
バージョンを確認する..... 138
地図更新について..... 138
開通した道路情報の更新..... 138
KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する 138
KENWOOD MapFan Club のサービスとは138
QR コードを使って KENWOOD MapFan Club に登録する 139

Bluetooth

Bluetooth® 機器の登録と設定 140
本機に Bluetooth 機器を登録する 140
オートペアリング機能で登録する..... 141
Bluetooth の設定をする..... 142
Bluetooth 機器の使用する機能を変更する143
Bluetooth 機器の接続を解除する..... 143
登録した機器を削除する..... 143
本機のデバイス名を変更する..... 144
ハンズフリーを使う..... 144
電話メニュー画面を表示する..... 144
電話メニュー画面の見かたと操作 144
ハンズフリーで電話を受ける / 切る 145
プリセットダイヤルを使う..... 146
プリセットダイヤルから電話をかける..... 146
プリセットダイヤルに電話番号を登録する 146
プリセットダイヤルの登録を削除する..... 146
履歴から電話をかける..... 147
電話帳から電話をかける..... 147
PBAP 対応機器の電話帳を登録する 147
電話帳を削除する..... 148
ダイヤルして電話をかける..... 148
地点情報から電話をかける..... 148
リダイヤルで電話をかける..... 149
音声認識機能で電話をかける..... 149
Bluetooth オーディオ機器を再生する..... 149
画面の見かたと操作 149

スマートフォン連携

スマートフォン連携について 152
MapFanAssist 機能を使う..... 153
MapFanAssist 機能を使うための準備.. 153
準備 1：スマートフォンのテザリング契約..... 153
準備 2：「KENWOOD MapFan Club」に入会する 153
準備 3：アプリケーションの準備..... 153
準備 4：本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する.....153
準備 5：MapFanID とパスワードを本機に入力してログインする 154
サーバーから情報を受信する..... 155
情報を取得する方法を設定する..... 155
手動で更新する..... 155
スポットブラウザから探す..... 156
ブックマークを受信する 156
ブックマークから行き先を探す..... 156
おでかけプランを受信する..... 157
おでかけプランから行き先を探す..... 159
おでかけプランの出発日時通知設定をする 159
おでかけプランを本機から削除する..... 159
おでかけプラン出発日時通知..... 160

目的地予約を受信する..... 160
目的地予約から行き先を探す..... 161
受信した目的地予約を削除する..... 161
MapFan 連携の設定をする..... 162
マイカー位置表示..... 163
自車位置通知の設定をする..... 163
KENWOOD Drive Info. を使う..... 163
KENWOOD Drive Info. を使うための準備..... 164
KENWOOD Drive Info. アプリで使う..... 164
Bluetooth テザリングで使う..... 164
行き先を検索する..... 165
ガソリン価格で検索する..... 165
施設名称をフリーワード検索する..... 165
天気予報を見る..... 166
地図画面から天気情報を見る..... 166
INFO/AV 画面から天気情報を見る..... 166
開通予定情報 / オービスデータ / お知らせメッセージ..... 167
開通予定情報 / オービスデータ..... 167
お知らせメッセージ..... 167
VOIPUT を使う..... 168
VOIPUT を使うための準備..... 168
文字を音声で入力する..... 168
施設を音声で検索する..... 169
住所を音声で検索する..... 169
楽曲を音声で検索する..... 170
NaviCon で探す..... 170
NaviCon を使うための準備..... 170
NaviCon からナビの地図表示を操作する. 171
目的地を設定する..... 171
NaviCon 友達マップ機能を使う..... 171
「SMART USEN」を使う..... 173
SMART USEN を使うための準備..... 173
画面の見かたと操作..... 173
チャンネルを選ぶ..... 174
チャンネル名を検索する..... 174
再生中のチャンネルをお気に入りに登録する175
お気に入りのチャンネルを選ぶ..... 175

オプション

別売品について..... 176
ドライブレコーダー DRV-N530 を使う..... 177
ドライブレコーダーの映像を表示する..... 177
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う ... 177
画面の見かたと操作..... 177
地図表示モードに切り替える..... 178
録画ファイルを再生する..... 178
再生画面の見かたと操作..... 179
ファイルを保護する..... 180
ファイルを削除する..... 180
ドライブレコーダーの設定をする..... 181
運転支援機能の設定をする..... 184
SD カードを初期化する..... 185
システムを更新する..... 185
2 カメラドライブレコーダーを使う186
ドライブレコーダーの映像を表示する..... 186
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う ... 186
画面の見かたと操作..... 186
地図表示モードに切り替える..... 187
録画ファイルを再生する..... 187
再生画面の見かたと操作..... 188
地図表示モードで再生する..... 189
ファイルを保護する..... 190
ファイルを削除する..... 190
ドライブレコーダーの設定をする (DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ)191
SD カードを初期化する (DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ)..... 193
システムを更新する (DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ)..... 193
サブリアカメラ機能を使う..... 194
サブリアカメラの設定をする..... 194
サブリアカメラの映像を表示する..... 194
画面の見かたと操作..... 194
バーチャルルームミラー機能を使う195
バーチャルルームミラーの設定をする..... 195
現在地図画面から表示する..... 195
バーチャルルームミラー全画面表示の操作 197
リアビューカメラを使う..... 197
カメラを設定する..... 197
リアビューカメラ接続設定..... 197

CMOS-C320 のカメラ設定をする 198
リアビューカメラの映像を表示する 198
リアビューカメラ操作ボタンを使う 199
リアビューカメラのガイド線を調整する. 199
CMOS-C320（別売品）を接続している場合 199
汎用カメラを接続している場合 200
ETC 車載器 /ETC2.0 車載器を使う200
ETC 情報について 200
ETC2.0 情報について 201
ITS スポットとは 201
ETC 予告アンテナについて 201
アップリンクとは 201
VICS 機能を利用する 201
ETC に関する設定をする 202
ETC の案内音声出力を設定する 202
ETC の料金表示を設定する 202
ETC2.0 車載器の接続設定をする 202
ETC2.0 に関する設定をする 203
ETC 履歴 / 車載器情報を見る 203
信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内 203
信号情報案内利用上のご注意 203
信号情報案内の設定をする 204
地図に表示される信号情報案内 204
リアモニターを使う 205
リアモニターに表示できる映像について ... 205
KNA-200WT の電源接続（MDV-S810L/MDV-S710W のみ） 206
KNA-200WN の電源接続（MDV-S710W のみ） 208

付録

自車位置の測位精度について 210
地図記号の凡例 212
地図データベースについて 214
ソフトウェア使用許諾契約書 216
VICS について 218
メディアおよびファイルについて ... 220
Bluetooth について 227
iPod について 227
故障かなと思ったら 228
主な仕様 242
特許権 / 著作権 / 商標など 244
索引 250

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

⚠警告

本機はDC12V ㊀アース車以外で使用しない
火災や故障の原因となります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やけがの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの㊀端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
本機の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する
正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

自動車のコンソールに取り付ける
本機の使用中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない
本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない
本機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解·修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

本機内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが本機にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

ディスプレイを前に倒した状態のまま運転しない
車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがの原因となることがあります。

ディスプレイや可動部に負荷を与えない
ディスプレイに袋を吊り下げたり、上から手をついて押さえたりしないでください。脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となることがあります。

ディスプレイは温度を確認してから操作（起こす、倒す、角度調整）をする
日光やヒーターの熱風などが長時間直接あたっていた場合や長時間連続使用した場合などは、本機が高温になり、やけどの原因となることがあります。温度が低下するまで使用しないでください。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
モニター開閉や角度調整のときにはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（➜ P.228）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ（電動アンテナ装備車）の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール（ANT CONT）端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。（➜ P.39）

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPS の測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路 * は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき
  - 駐停車中

  *：細街路とは、幅員 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について（MDV-S810L/MDV-S710W/MDV-S710 のみ）

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

フロントパネルについて (MDV-S810F のみ)

フロントパネルを倒す / 戻すなど、動かすときは指を挟まないように注意してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などは、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、「システムを初期化する」（➜ P.135）で行うことができます。
なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に解除 / 削除してください。

- 暗証番号の解除
  :「暗証番号を解除する」（➜ P.43）
- 内蔵メモリ /SD カードに録音したデータ
  :「録音データを削除する」（➜ P.93）

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また本機は、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS 変調方式を表します。
1：電波与干渉距離は 10m 以下です。
□□□：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。
  鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

MEMO

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(➜ P.8)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法について説明しています。(➜ P.20)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。(➜ P.46)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）の操作方法について説明しています。(➜ P.78)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(➜ P.114)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth® で接続したときの操作方法について説明しています。(➜ P.140)
スマートフォン連携	スマートフォンと連携して使うことのできる便利な機能について説明しています。(➜ P.152)
オプション	ETC 車載器やドライブレコーダー、リアビューカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(➜ P.176)
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。(➜ P.210)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書では、主に MDV-S810L の画面で説明しています。そのため、ご使用の機種によっては位置が違うボタンや画面が説明の中に出てくることがあります。
- “(MDV-XXX のみ)”などは、機能の対象となる機種を表します。

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/

FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/

本書の表記

フロントパネルキー名：
本書ではフロントパネルのキーを次のように表記しています。
MENU → 【MENU】

インデックス：
章の内容を示すインデックスです。

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 【MENU】を押して
［目的地検索］▶［名称］をタッチする

タッチするボタン：
画面のボタンを複数回タッチする場合は、タッチする順番にボタンを『▶』でつなげて表記しています。

ボタン名：
本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。

→ ［目的地検索］

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

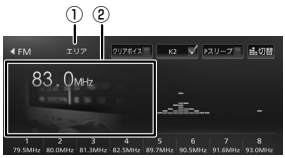
AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順：
下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

ここまでの手順
ソースを AM または FM に切り替える（➔ P.91）

参照ページ：
参照ページのページ番号です。



■ VICS 情報表示を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 ［VICS 情報表示］（交通情報）をタッチする

設定項目の種類：
設定項目の種類を表記しています。

→（交通情報）

設定画面の上にある種類を呼び出すボタンにタッチすると、設定項目の種類の先頭を表示します。

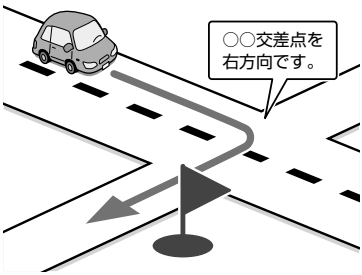
・ ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。

補足：
手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

簡単機能ガイド

ナビゲーション機能



■ 目的地検索画面

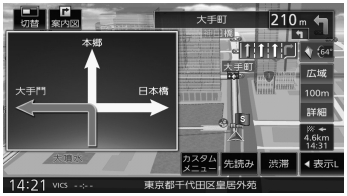
施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。
(➜ P.58)

● ルート探索・編集

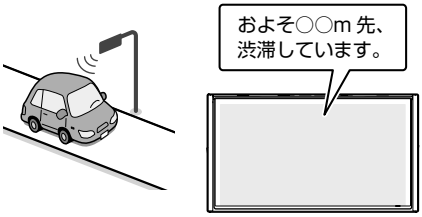
行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。
(➜ P.64)

● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。
(➜ P.66)



ドライブに役立つ交通情報



VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。
(➜ P.114)
また、別売の ETC 車載器や ETC2.0 車載器を接続すると、ETC の利用料金をお知らせすることもできます。
(➜ P.203)

音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

■ ソース切替画面（➔ P.78）

iPod

USB [1]

SD

内蔵メモリ

マルチ AV ブラウザ

DISC

地デジ

FM

AM

Bluetooth AUDIO

HDMI [2]

SMART USEN

交通情報

STANDBY

[1] USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）が必要です。
[2] HDMI 接続ケーブル KNA-20HC（別売品）が必要です。

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。
また、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

■ 情報・設定画面（➔ P.114）

● ナビ設定

地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。（➔ P.121）

● サウンド設定

車内の音響効果や音質などを設定します。（➔ P.127）

● システム設定

車両やシステム全般の設定を行います。（➔ P.133）

● 外部機器設定

Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。（➔ P.137）

● 登録地点編集

登録した地点の名称や電話番号などを編集します。（➔ P.76）

● MapFan 連携設定

カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」を使用するときの設定を行います。「MapFanAssist 機能を使う」（➔ P.153）

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に別売のドライブレコーダー DRV-N530（➜ P.177）、DRV-EMN5700（➜ P.186）、DRV-MN970（➜ P.186）、または DRV-MN940B（➜ P.186）を接続するとドライブレコーダーの映像を表示できます。

● 録画ファイルの再生

ドライブレコーダーに録画したファイルの再生ができます。

DRV-N530（➜ P.178）

DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940B（➜ P.187）

● ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダーの設定を行います。

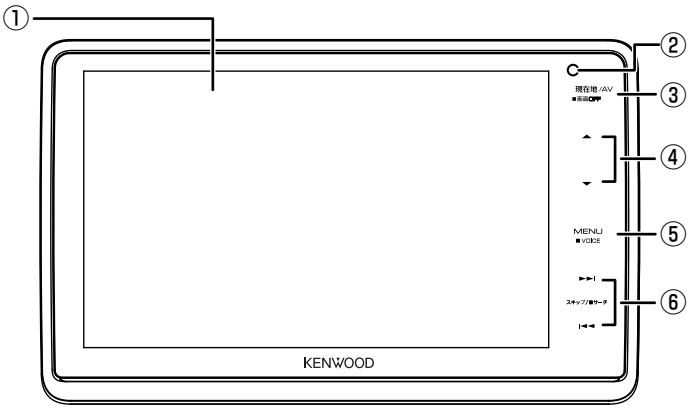
DRV-N530（➜ P.181）

DRV-MN970、DRV-MN940B（➜ P.191）

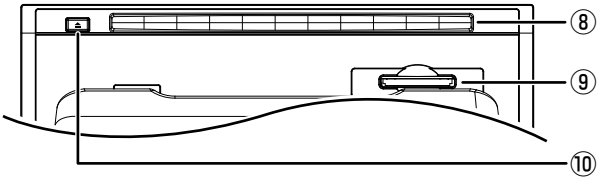
MEMO

各部の名称とはたらき

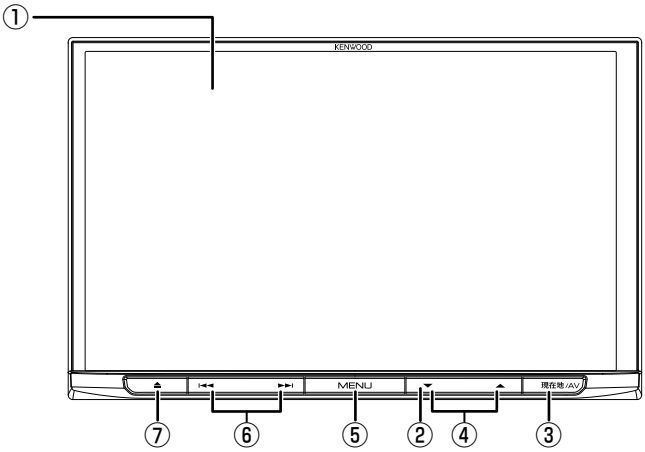
MDV-S810F



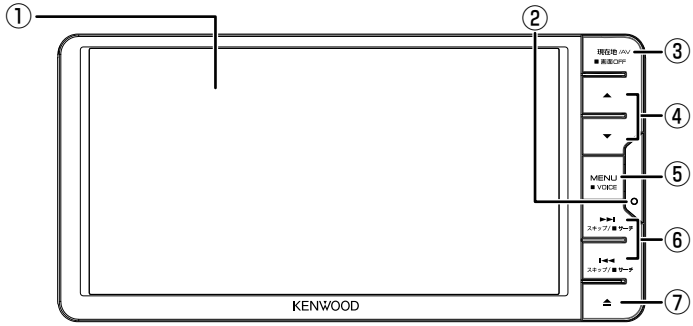
パネルを倒したとき（MDV-S810F のみ）



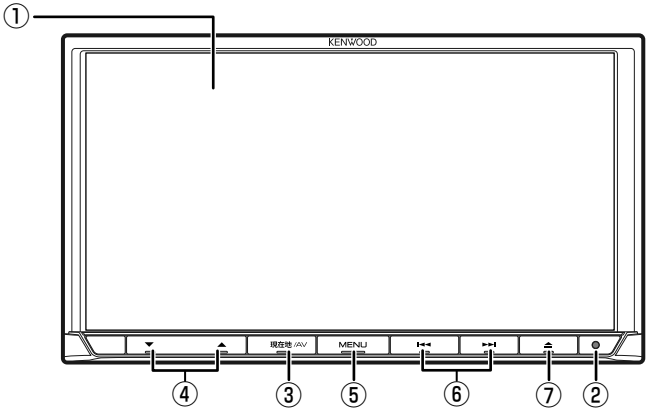
MDV-S810L



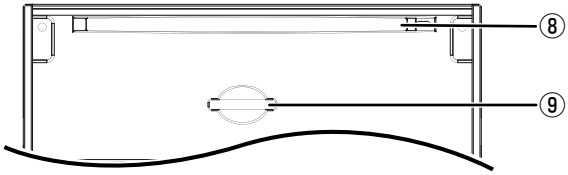
MDV-S710W



MDV-S710



パネルオープン時（MDV-S810L/MDV-S710W/MDV-S710 のみ）



① **画面**

② **セキュリティインジケーター**
セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。
(➜ P.43)

③ **【現在地 /AV】**
- 現在地図画面を表示します。(➜ P.46)
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示がオフになり、時計が表示されます。

④ **【▼】/【▲】(音量キー)**
- AV の音量を調整 (0 ～ 40) します。
- ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ～ 40) します。

- **【▲】**を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量を音量キーで調整できるように設定できます。(➜ P.122)
- 音声案内の音量は、ナビ設定でも調整できます。(➜ P.122)
- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定でも調整できます。(➜ P.142)
- ハンズフリー電話中の音量調整をしないように設定することもできます。(➜ P.142)

⑤ **【MENU】**
- メニュー画面を表示します。
- 押し続けると音声操作が起動します。
システム設定の「VOICE キー登録」(一般) を［スマートフォンの音声認識］に設定(➜ P.134)しているときは、押し続けるとスマートフォンの音声認識機能が起動します。

- 音声操作機能が起動しないように設定することもできます。(➜ P.134)

⑥ **【⏮】/【⏭】(スキップ / サーチキー)**
- FM/AM/ 地デジ：
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽再生 / ビデオ再生：
前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早戻し / 早送りします。
- SMART USEN
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

⑦ **【⏏】(オープンキー) (MDV-S810L/MDV-S710W/ MDV-S710 のみ)**
フロントパネルの角度調整(➜ P.36)やディスク(➜ P.98)、SD カードの出し入れ(➜ P.83)を行うためのメニューを表示します。

⑧ **ディスク挿入口**
ディスクを挿入します。

⑨ **SD カード挿入口**
SD カードを挿入します。

⑩ **【⏏】(イジェクトキー) (MDV-S810F のみ)**
ディスクの出し入れ(➜ P.98)をします。

- MDV-S810F の③～⑦は、本書では「押して」と記載していますが、タッチすると機能がはたらきます。

本機のフロントパネルについて

■ MDV-S810F

- フロントパネルを倒す / 戻すときや、角度調整を行うときは、画面の操作ボタンに触れないようにフロントパネルの枠を持って行ってください。

■ MDV-S810L/MDV-S710W/MDV-S710

- フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じます。ただし、排出したディスクが残っているときは開いたままとなります。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにフロントパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

基本操作

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、GPS の測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによっても、GPS の測位に時間がかかります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

［戻る］をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

■ 設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。
リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目をタッチして決定します。
②をタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。

メニュー画面での操作

メニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
メニュー画面は、フロントパネルにある【MENU】を押すと、いつでも表示できます。

情報・設定画面、ソース切替画面、目的地検索画面は、メニュー画面からフリックまたはドラッグで表示することもできます。

情報・設定画面 (➔ P.114)

ECO、VICS の情報や、ナビ、システム、サウンドなどを設定します。

ルート案内を終了します。(➔ P.75)

ルート編集画面を表示します。(➔ P.72)

メニュー画面

ソース切替画面 (➔ P.78)

AV ソースを切り替える画面を表示します。

目的地検索画面 (➔ P.58)

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。

音声操作を始めるときにタッチします。[1] (➔ P.29)

[1]「音声操作」(一般)を［OFF］に設定 (➔ P.134) しているときは、カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」による音声検索が始まります。

ドライブレコーダー画面

(➔ P.177、P.186)

本機に別売のドライブレコーダー DRV-N530、DRV-EMN5700、DRV-MN970、または DRV-MN940B を接続するとドライブレコーダーの映像が表示されます。

サブメニュー (➔ P.25)

画面の明るさ調整や、画面をオフ、ユーザーを切り替えるボタンなどを表示します。

カスタムメニュー画面 (➔ P.25)

よく使う機能をショートカットボタンに登録したり、メンテナンスに関する設定を行います。

電話メニュー画面 (➔ P.144)

電話（Bluetooth ハンズフリー）メニュー画面を表示します。

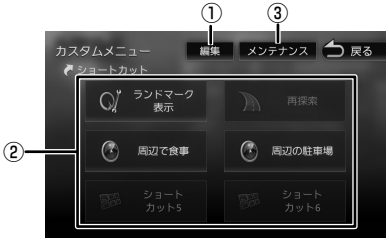
カスタムメニューを使う

よく使う機能やメニューをショートカットボタンに登録して呼び出すことができます。
また、エンジンオイルなどの車両メンテナンスについても設定することができます。

カスタムメニューを表示する

1 **【MENU】を押して［カスタムメニュー］をタッチする**

カスタムメニュー画面が表示されます。



① 編集：
②を編集する画面を表示します。

② 機能ショートカットボタン

③ メンテナンス：
車両メンテナンスの設定画面を表示します。
設定方法は 38 ページの「車両メンテナンスを設定する」をご覧ください。

ショートカットボタンを割り当てる

よく使う機能をショートカットボタンに割り当てます。
お買い上げ時は、ショートカット 1 ～ 4 に機能が割り当てられていますが、変更することができます。手順 2 で機能を変更したいボタンをタッチすると変更することができます。

1 **［編集］をタッチする**

2 **機能を割り当てるボタンをタッチする**

3 **リストから機能を選ぶ**

4 **［戻る］をタッチする**

編集を終了して前の画面に戻ります。

サブメニューを使う

画面の明るさ、画面表示のオフやユーザー切り替え操作などができます。

1 **【MENU】を押して［サブメニュー］をタッチする**

サブメニューが表示されます。

① 明るさ
本機の画面の明るさ（− 4 ～ +4）を − または ＋ をタッチして調整します。

・ DVD ビデオや地上デジタル TV 放送の映像の明るさは、AV 画面の［映像調整］の「ブライトネス」で調整します。(➔ P.79)

② ［画面オフ］
画面の表示を消します。

③［アンテナをしまう］/［アンテナを伸ばす］
電動アンテナ装備車の場合に、本機のオートアンテナの設定を［あり］にする（➔ P.39）と、このボタンが表示され（お買い上げ時は表示していません）オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。

④ユーザー［1］/［2］
本機の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。ナビを使うユーザーによって切り替えて使用します。

- サブメニューを閉じるには、もう一度［サブメニュー］をタッチします。

画面表示を消す

本機を使用しないときなどに画面表示を消して時計のみを表示します。
時計表示も消すことができます。時計表示の設定については 134 ページをご覧ください。

1 【MENU】を押して［サブメニュー］をタッチする

2 ［画面オフ］をタッチする

画面が消えて時計が表示されます。

- 画面表示を消しているときに、本機の電源をオフにすると、次に本機の電源をオンにしたときには、画面は表示されます。
- リアビューカメラが接続されている場合は、画面を消しているときにシフトレバーを「R」に入れると、リアビューカメラの画面が表示されます。
- 画面表示を消しているときに、別の画面を表示すると画面オフは解除されます。

■ 画面を表示させる

1 画面をタッチする

画面が表示されます。

- 【現在地 /AV】を押し続けても画面をオフにできます。
- ステアリングリモコンに「現在地」または「現在地 /AV」を設定している場合は、キーを押し続けると画面が消えます。もう一度押し続けると画面を表示します。

ユーザーを切り替える

本機の一部の設定を2ユーザー分保存しておくことができます。また、ユーザー 1、2 は名前に変更することもできます。（➔ P.27）

保存できる項目

- 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン）
- 地図表示の設定（地図の向き、縮尺、ランドマーク）
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルートアジャスター

保存できる項目の設定を変更すると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

1 【MENU】を押して［サブメニュー］をタッチする

2 ［ユーザー］をタッチする

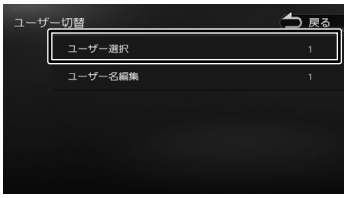
タッチするたびにユーザー 1 と 2 が切り替わります。

■ システム設定から切り替える

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［ユーザー切替］（特別）をタッチする

3 ［ユーザー選択］をタッチする



4 ユーザーを選ぶ

ユーザーを切り替えると「ユーザー切替中」と表示され、手順 3 の画画に戻ります。

■ ユーザー名を編集する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［ユーザー切替］（特別）をタッチする

3 ［ユーザー名編集］をタッチする

4 名前を編集する

文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。

5 ［決定］をタッチする

ユーザー名が変更され、手順 3 の画面に戻ります。

・ ユーザー名は 4 文字まで入力できます。

音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

ナビの音声案内の音量を調整します。1 ～ 40 まで調整できます。
お買い上げ時は 25 に設定されています。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 ［案内音声の音量］（案内）をタッチする

3 バーまたは / をタッチして音量を調整する

4 ［閉じる］をタッチして設定画面を閉じる

・ ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量を音量キーで調整できるように設定できます。（➔ P.122）

AV またはハンズフリー電話の音量を調整する

1 【▲】/【▼】（音量キー）を押す

AV ソースを選択しているときは、選択しているソースの音量を調整 (0 ～ 40) します。

Bluetooth のハンズフリー電話は、通話中または着信中に音量が調整 (0 ～ 40) できます。

・【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。

文字入力のしかた

文字を入力する

1 ［入力切替］をタッチする

文字の入力形式をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。
テンキー形式では、フリック入力とトグル入力ができます。

2 入力する文字をタッチする

［切替］：
文字種が切り替わります。

［小文字］：
小文字に切り替わります。

［半角］：
半角文字に切り替わります。

［音声入力］：
カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」を使うと音声で入力することもできます。

［変換］：
ひらがな、カタカナを漢字に変換します。変換候補リストを表示します。

［無変換］：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

［確定］：
テンキー形式時に、入力した文字を確定します。

［決定］：
文字入力を終了します。

- ◀ または ▶ をタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して BS をタッチすると 1 文字を消すことができます。
- BS をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- 名称検索の名称入力は、［確定］をタッチして決定してください。

音声操作を使う

本機は音声操作により、以下の機能の操作ができます。

- ソースの切り替え
- 画面の切り替え
- 地図の操作
- AV の操作
- 周辺施設の検索
- 音声操作グループに登録した地点の呼び出し
- 自宅までのルート案内
- ルート案内の途中終了
- カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」による音声検索の開始

音声で操作する

- 話すときは、Bluetooth 用のマイクに向かって発話します。

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

音声操作が始まります。

2 操作する機能のカテゴリーワードを話す

ソース切替、画面切替、地図操作、AV 操作、ナビ案内、周辺検索、登録地点、または VOIPUT と話します。

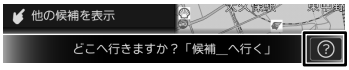
3 操作する機能ワードを話す

カテゴリーワード	機能ワード
ソース切替	iPod、USB、SD、内蔵メモリ、マルチ AV ブラウザ、DISC、地デジ、FM ラジオ、AM ラジオ、Bluetooth Audio、SMART USEN、HDMI、交通情報、スタンバイ
画面切替	メニュー画面、地図画面、AV 画面、ドライブレコーダー、バーチャルルームミラー、電話画面、天気画面 [1][2]、目的地表示、地図表示 [3]、映像表示 [3]、フロント切替 [3]、リア切替 [3]
地図操作 [1]	広域、もっと広域、詳細、もっと詳細
AV 操作	次の曲、前の曲、ミュート、ミュート解除、ドライブレコーダー撮影、ドライブレコーダー録画
ナビ案内	案内終了、自宅に帰る
周辺検索	コンビニ、ガソリンスタンド、駐車場、ファミレス、ファーストフード、回転寿司、ショッピングセンター、アウトレットモール、スーパー、ドラッグストア、道の駅、目的地の周辺検索、ルートの周辺検索、候補 1 へ行く～候補 3 へ行く、候補 1 を条件設定～候補 3 を条件設定、他の候補を表示
登録地点	地点 1 へ行く～地点 10 へ行く、地点 1 を条件設定～地点 10 を条件設定
VOIPUT[4]	—

[1] 地図画面表示中のみ
[2]「KENWOOD Drive Info.」連携中のみ
[3] ドライブレコーダー映像表示中のみ
[4]「VOIPUT」起動中のみ

機能ワードの詳細は、後記のカテゴリーワード別の操作を参照ください。

- 音声操作中に、次に発話するワードが分からなくなったときは、「ヘルプ画面」と発話すると次に話すワードの候補が表示されます（ヘルプ表示）。ヘルプ表示は［?］をタッチするか、音声操作を中断して一定時間が経過した場合も表示されます。



- 以下の操作でも音声操作が始められます。
  - 【MENU】を 1 秒以上押す。（システム設定の「VOICE キー登録」（一般）（➔ P.134）を［音声操作］に設定している場合）
  - メニュー画面で［音声操作］をタッチする。

音声操作を中止する

1 「キャンセル（きゃんせる）」と話す

音声操作を中止します。

・一定時間発話を止めた場合（操作する機能によって時間は異なります）も、音声操作が中止されます。

ソースを切り替える

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「ソース切替（そーすきりかえ）」と話す

3 切り替えるソース（機能ワード）を話す

以下の機能ワードが使えます。

- iPod（あいぽっど）
- USB（ゆーえすびー）
- SD（えすでぃ）
- 内蔵メモリ（ないぞうめもり）
- マルチ AV ブラウザ（まるちえーぶいぶらうざ）
- DISC（でぃすく）
- 地デジ（ちでじ）
- FM ラジオ（えふえむらじお）
- AM ラジオ（えーえむらじお）
- Bluetooth Audio（ぶるーとぅーすおーでぃお）
- SMART USEN（すまーとゆうせん）
- HDMI（えいちでぃえむあい）
- 交通情報（こうつうじょうほう）
- スタンバイ（すたんばい）

画面を切り替える

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「画面切替（がめんきりかえ）」と話す

3 切り替える画面（機能ワード）を話す

以下の機能ワードが使えます。

- メニュー画面（めにゅーがめん）
- 地図画面（ちずがめん）
- AV 画面（えーぶいがめん）
- ドライブレコーダー（どらいぶれこーだー）
- バーチャルルームミラー（ばーちゃるるーむみらー）
- 電話画面（でんわがめん）
- 天気画面（てんきがめん）
  ：地図画面表示時に天気予報表示に切り替えます。天気予報は、カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときに表示します。（➜ P.163）
- 目的地表示（もくてきちひょうじ）
- 地図表示（ちずひょうじ）
  ：ドライブレコーダーの映像表示時に映像モードから地図表示モードに切り替えます。
- 映像表示（えいぞうひょうじ）
  ：ドライブレコーダーの映像表示時に地図表示モードから映像モードに切り替えます。
- フロント切替（ふろんときりかえ）
  ：ドライブレコーダーの映像表示時にリア映像からフロント映像に切り替えます。
- リア切替（りあきりかえ）
  ：ドライブレコーダーの映像表示時にフロント映像からリア映像に切り替えます。

・「ドライブレコーダー」、「地図表示」、「映像表示」、「フロント切替」、または「リア切替」を発話後、画面の下に「どの画面に切り替えますか？」と表示中は、画面切替の機能ワードを続けて発話して画面を切り替える操作ができます。

地図の操作をする

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「地図操作（ちずそうさ）」と話す

3 地図の操作（機能ワード）を話す

以下の機能ワードが使えます。

- **広域（こういき）**
  ：地図の縮尺が 1 段階広域になります。
- **もっと広域（もっとこういき）**
  ：地図の縮尺が 2 段階（地図の縮尺が 1km 未満の場合は 3 段階）広域になります。
- **詳細（しょうさい）**
  ：地図の縮尺が 1 段階詳細になります
- **もっと詳細（もっとしょうさい）**
  ：地図の縮尺が 2 段階（地図の縮尺が 1km 未満の場合は 3 段階）詳細になります。

- 地図の音声操作は、地図画面表示中にのみ行えます。
- 地図の機能ワードを発話後、画面の下に「地図のスケールを変更できます。」と表示中は、地図の機能ワードを続けて発話して連続で地図の操作ができます。

AV の操作をする

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「AV 操作（えーぶいそうさ）」と話す

3 AV の操作（機能ワード）を話す

以下の機能ワードが使えます。

- **次の曲（つぎのきょく）**
  ：次の曲、ビデオ、放送局、チャンネルに切り替えます。
- **前の曲（まえのきょく）**
  ：前の曲、ビデオ、放送局、チャンネルに切り替えます。
- **ミュート（みゅーと）**
  ：AV ソースの音量を一定量下げます。
- **ミュート解除（みゅーとかいじょ）**
  ：ミュートを解除して、元の音量に戻します。
- **ドライブレコーダー撮影（どらいぶれこーだーさつえい）**
  ：ドライブレコーダーで静止画を撮影します。
- **ドライブレコーダー録画（どらいぶれこーだーろくが）**
  ：ドライブレコーダーで手動録画を開始します。

- 「次の曲」、「前の曲」、「ドライブレコーダー撮影」、または「ドライブレコーダー録画」を発話後、画面の下に「スキップやミュート、ドライブレコーダー操作ができます。」と表示中は、同じ機能ワードを続けて発話して連続で AV の操作ができます。

ナビ案内の操作をする

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「ナビ案内（なびあんない）」と話す

3 ナビ案内の操作（機能ワード）を話す

以下の機能ワードが使えます。

- **案内終了（あんないしゅうりょう）**
  ：ルート案内を終了します。
- **自宅に帰る（じたくにかえる）**
  ：自宅までのルートを探索し、案内を開始します。
  自宅が未登録の場合はメッセージが表示されます。自宅の登録方法は
  44 ページの「自宅を登録する」をご覧ください。

確認メッセージが表示されます。

4 「決定（けってい）」と話す

手順 3 で話した操作が動作します。

「決定」以外に、以下の機能ワードが使えます。

- **条件設定（じょうけんせってい）**
  ：「自宅に帰る」ワードを使用した場合は、ルート設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動でルート探索条件の設定ができます。
- **キャンセル（きゃんせる）**
  ：音声操作を中止します。

周辺検索をする

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「周辺検索（しゅうへんけんさく）」と話す

3 検索する場所を話す

■ 目的地周辺の検索をする

「目的地の周辺検索（もくてきちのしゅうへんけんさく）」と話す

■ ルート周辺の検索をする

「ルートの周辺検索（るーとのしゅうへんけんさく）」と話す

現在地周辺の検索をする場合は、手順３の発話は不要です。

4 検索する施設（機能ワード）を話す

以下の機能ワードが使えます。

- コンビニ（こんびに）
- ガソリンスタンド（がそりんすたんど）
- 駐車場（ちゅうしゃじょう）
- ファミレス（ふぁみれす）
- ファーストフード（ふぁーすとふーど）
- 回転寿司（かいてんずし）
- ショッピングセンター（しょっぴんぐせんたー）
- アウトレットモール（あうとれっともーる）
- スーパー（すーぱー）
- ドラッグストア（どらっぐすとあ）
- 道の駅（みちのえき）

5 選択する候補地を話す

#■ 候補地アイコン

番号１：候補地１
番号２：候補地２
番号３：候補地３

■ 検索結果の上位３候補地から選択して現在の探索条件でルート案内をする

以下の機能ワードで選択します。

- **候補１へ行く（こうほいちへいく）**
  ：候補地１が目的地に設定され、ルート探索とルート案内を開始します。
- **候補２へ行く（こうほにへいく）**
  ：候補地２が目的地に設定され、ルート探索とルート案内を開始します。
- **候補３へ行く（こうほさんへいく）**
  ：候補地３が目的地に設定され、ルート探索とルート案内を開始します。

■ 検索結果の上位３候補地から選択して、ルート条件を設定する

以下の機能ワードで選択します。

- **候補１を条件設定（こうほいちをじょうけんせってい）**
  ：候補地１の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **候補２を条件設定（こうほにをじょうけんせってい）**
  ：候補地２の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **候補３を条件設定（こうほさんをじょうけんせってい）**
  ：候補地３の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。

■ 検索結果の上位３候補地以外から選択する

以下の機能ワードが使えます。

- **他の候補を表示（ほかのこうほをひょうじ）**
  ：他の候補地が地図上に表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地の設定ができます。

・ルート探索の設定については、64ページの「ルートの探索と案内」をご覧ください。

登録地点（音声操作グループ）の呼び出し操作をする

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

2 「登録地点（とうろくちてん）」と話す

音声操作グループの登録地点リストが表示されます。

3 選択する登録地点を話す

■ 登録地点 1 ～登録地点 10 の地点を呼び出し、現在の探索条件でルート案内をする

以下の機能ワードが使えます。

- **次のページ（つぎのページ）**
  ：登録地点リストを、次のページに切り替えます。
- **前のページ（まえのページ）**
  ：登録地点リストを、前のページに切り替えます。
- **地点 1 へ行く（ちてんいちへいく）**
  ：音声操作グループの地点 1 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 2 へ行く（ちてんにへいく）**
  ：音声操作グループの地点 2 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 3 へ行く（ちてんさんへいく）**
  ：音声操作グループの地点 3 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 4 へ行く（ちてんよんへいく）**
  ：音声操作グループの地点 4 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 5 へ行く（ちてんごへいく）**
  ：音声操作グループの地点 5 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 6 へ行く（ちてんろくへいく）**
  ：音声操作グループの地点 6 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 7 へ行く（ちてんななへいく）**
  ：音声操作グループの地点 7 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 8 へ行く（ちてんはちへいく）**
  ：音声操作グループの地点 8 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 9 へ行く（ちてんきゅうへいく）**
  ：音声操作グループの地点 9 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。
- **地点 10 へ行く（ちてんじゅうへいく）**
  ：音声操作グループの地点 10 を呼び出し、ルート探索とルート案内を開始します。

■ 登録地点 1 ～登録地点 10 の地点を呼び出し、ルート条件を設定する

以下の機能ワードが使えます。

- **次のページ（つぎのページ）**
  ：登録地点リストを、次のページに切り替えます。
- **前のページ（まえのページ）**
  ：登録地点リストを、前のページに切り替えます。
- **地点 1 を条件設定（ちてんいちをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 1 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 2 を条件設定（ちてんにをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 2 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 3 を条件設定（ちてんさんをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 3 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 4 を条件設定（ちてんよんをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 4 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 5 を条件設定（ちてんごをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 5 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 6 を条件設定（ちてんろくをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 6 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。

- **地点 7 を条件設定（ちてんななをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 7 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 8 を条件設定（ちてんはちをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 8 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 9 を条件設定（ちてんきゅうをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 9 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。
- **地点 10 を条件設定（ちてんじゅうをじょうけんせってい）**
  ：音声操作グループの地点 10 の目的地設定画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、手動で目的地や経由地への設定、ルート探索条件の設定ができます。

・ルート探索の設定については、64 ページの「ルートの探索と案内」をご覧ください。

VOIPUT による音声検索をする

1 **「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す**

2 **「VOIPUT（ぼいぷっと）」と話す**

音声検索画面が表示され、音声操作が終了します。このあと、VOIPUT の音声による施設検索、住所検索、楽曲検索ができます。（➜ P.168）

・この音声操作をするには、カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」を事前に起動しておくことが必要です。（➜ P.168）

ショートカットワードで音声操作を使う

使用することが多い機能についてはショートカットワードが登録されており、「ハイ、彩速」発話の後に 1 回話すことで操作することができます。

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

音声操作が始まります。

2 ショートカットワードを話す

- **メニュー画面（めにゅーがめん）**
  ：メニュー画面を表示します。
- **地図画面（ちずがめん）**
  ：地図画面を表示します。
- **AV 画面（えーぶいがめん）**
  ：AV 画面を表示します。
- **バーチャルルームミラー（ばーちゃるるーむみらー）**
  ：バーチャルルームミラーを表示します。
- **広域（こういき）**
  ：地図の縮尺が 1 段階広域になります。
- **もっと広域（もっとこういき）**
  ：地図の縮尺が 2 段階（地図の縮尺が 1km 未満の場合は 3 段階）広域になります。
- **詳細（しょうさい）**
  ：地図の縮尺が 1 段階詳細になります
- **もっと詳細（もっとしょうさい）**
  ：地図の縮尺が 2 段階（地図の縮尺が 1km 未満の場合は 3 段階）詳細になります。
- **次の曲（つぎのきょく）**
  ：次の曲、ビデオ、放送局、チャンネルに切り替えます。
- **前の曲（まえのきょく）**
  ：前の曲、ビデオ、放送局、チャンネルに切り替えます。
- **ミュート（みゅーと）**
  ：AV ソースの音量を一定量下げます。
- **ミュート解除（みゅーとかいじょ）**
  ：ミュートを解除して、元の音量に戻します。
- **案内終了（あんないしゅうりょう）**
  ：ルート案内を終了します。
- **自宅に帰る（じたくにかえる）**
  ：自宅までのルートを探索し、案内を開始します。
- **近くのコンビニ（ちかくのこんびに）**
  ：現在地周辺のコンビニエンスストアを検索します。
- **近くのガソリンスタンド（ちかくのがそりんすたんど）**
  ：現在地周辺のガソリンスタンドを検索します。
- **近くの駐車場（ちかくのちゅうしゃじょう）**
  ：現在地周辺の駐車場を検索します。
- **近くのファミレス（ちかくのふぁみれす）**
  ：現在地周辺のファミリーレストランを検索します。
- **近くのファーストフード（ちかくのふぁーすとふーど）**
  ：現在地周辺のファーストフードを検索します。
- **近くの回転寿司（ちかくのかいてんずし）**
  ：現在地周辺の回転寿司を検索します。
- **近くのショッピングセンター（ちかくのしょっぴんぐせんたー）**
  ：現在地周辺のショッピングセンターを検索します。
- **近くのアウトレットモール（ちかくのあうとれっともーる）**
  ：現在地周辺のアウトレットモールを検索します。
- **近くのスーパー（ちかくのすーぱー）**
  ：現在地周辺のスーパーマーケットを検索します。
- **近くのドラッグストア（ちかくのどらっぐすとあ）**
  ：現在地周辺のドラッグストアを検索します。
- **近くの道の駅（ちかくのみちのえき）**
  ：現在地周辺の道の駅を検索します。

- ナビの操作（案内終了、自宅に帰る）を行った後、確認メッセージが表示されます。確認の操作については 31 ページの「ナビ案内の操作をする」をご覧ください。
- 周辺検索の操作（近くのコンビニ など）を行った後の、候補地の選択方法については 32 ページの「周辺検索をする」をご覧ください。
- 「広域」、「もっと広域」、「詳細」、「もっと詳細」、「次の曲」、または「前の曲」を発話後、画面の下に「何をしますか？」と表示中は、同じ機能ワードを続けて発話して連続でショートカットワードの操作ができます。

最初にする設定 / 確認

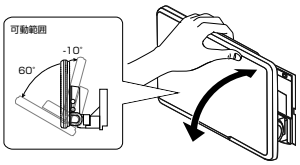
はじめてご使用になるときや、本機の設定を初期化したときなど、最初に設定、確認していただきたい機能について説明します。

フロントパネルの角度調整

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいように、フロントパネルの角度を調整できます。
角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。(MDV-S810L/ MDV-S710W/ MDV-S710 のみ)

■ MDV-S810F

1 フロントパネルの上側を持って、手動で角度を調整する

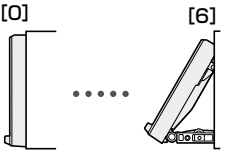


・ 角度を調整するときは、画面の操作ボタンに触れないようにフロントパネルの枠を持って調整してください。

■ MDV-S810L/MDV-S710W/ MDV-S710

1 【▲】(オープンキー)を押す

2 チルト [0] ～ [6] をタッチする



・ フロントパネルの角度が [0] 以外に設定されていても、電源オフ時には [0] の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合に調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

■ MDV-S810F

1 【MENU】を押して [情報・設定] ▶ [システム] をタッチする

2 [視野角] (表示) をタッチする

3 設定する値をタッチする

■ MDV-S810L/MDV-S710W/ MDV-S710

1 【▲】(オープンキー)を押す

2 視野角 [－ 3] ～ [0] をタッチする

接続状態を確認する

本機に接続している機器の接続状態を確認します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［接続］をタッチする

接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。［初期化］をタッチすると、センサーの学習を初期化します。
専用カメラ	専用リアカメラが接続されたときに接続状態を表示します。 リア： リアビューカメラが接続されています。
ドライブレコーダー	別売の本機対応フロントドライブレコーダーを接続しているときの接続状態を表示します。
リアドライブレコーダー	本機では使用しません。
ETC 車載器	別売の本機対応 ETC 車載器を接続しているときの接続状態を表示します。
ETC2.0 車載器	別売の本機対応 ETC2.0 車載器を接続しているときの接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。 接続中＋光： ETC2.0 車載器が高度化光ビーコン / 光ビーコンに対応しているときに表示します。

- 「専用カメラ」は、カメラの接続設定が［専用カメラ（コントロール機能付）］に設定されていると表示されます。(➔ P.197)
- 「センサー学習」の初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」の接続情報が表示されます。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を基に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。
一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きい場合は、センサー学習の初期化を行ってください。
センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。

- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。
- ドライブレコーダー、リアドライブレコーダー、ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識できるまで数分かかる場合があります。

車両の設定をする

車両ナンバーを設定する

車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
お買い上げ時は［5・7］に設定されています。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 ［車両ナンバー］（その他）をタッチする

3 車両ナンバーをタッチする

設定を変更すると手順 2 の画面に戻ります。
設定を変更しない場合は、［閉じる］をタッチしてください。手順 2 の画面が表示されます。

車両メンテナンスを設定する

1 【MENU】を押して［カスタムメニュー］をタッチする

2 ［メンテナンス］をタッチする

3 設定する項目をタッチする

4 各項目の設定をする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかどうかを設定します。［ON］に設定した項目は、手順 3 の「車両メンテナンス」画面で“ON”と表示されます。
通知年月日	年月日 / 未設定 *	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし */ 3 日前から / 7 日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km/ 未設定 *	何 km 走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと	お知らせするまでの残りの距離を表示します。	
メンテナンス名称	「お好み 1」、「お好み 2」でお知らせする名称を設定します。 文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。	
設定消去	設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチすると設定を消去します。	

*：お買い上げ時の設定です。

- ［通知開始距離］は「バッテリー交換」、「車検」、「法定点検」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- ［メンテナンス名称］は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。
  ※ 表示された画面の［今後表示しない］をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。（［お知らせ設定］が［OFF］になります）
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず［設定消去］をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

ハンドルの位置を設定する

運転席の位置を設定します。左ハンドル車で、パッセンジャースリープ機能を使う場合に必要な設定です。お買い上げ時は［右］に設定されています。
パッセンジャースリープ機能については 79 ページをご覧ください。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［ハンドル］（車両）をタッチする

3 ハンドルの位置をタッチする

設定を変更すると手順 2 の画面に戻ります。
設定を変更しない場合は、［閉じる］をタッチしてください。手順 2 の画面が表示されます。

オートアンテナの設定をする（オートアンテナ装着車のみ）

オートアンテナを装着している場合に設定します。
［あり］に設定するとサブメニュー画面でアンテナを伸ばす / しまうができるようになります。
お買い上げ時は［なし］に設定されています。

アンテナの設定をする

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［オートアンテナ］（車両）をタッチする

タッチするたびに［あり］、［なし］が切り替わります。

アンテナを伸ばす / しまう

1 【MENU】を押して［サブメニュー］をタッチする

2

■ アンテナを伸ばす
［アンテナを伸ばす］をタッチする

■ アンテナをしまう
［アンテナをしまう］をタッチする

ステアリングリモコンを使う

ステアリングリモコンについて

本機に車両のステアリングリモコンを接続し、設定を行うと、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。
ステアリングリモコン設定には、次の設定があります。

■ 車両設定

車両に合わせたステアリングリモコンの設定（➜ P.40）を行います。設定した後に機能の割り当てを変えることもできます。（➜ P.42）

■ ユーザー学習

独自にステアリングリモコンのキーに機能を割り当てたい場合に、この設定を行います。（➜ P.40）
独自に割り当てた機能は、後から変更することもできます。（➜ P.42）

- 本機とステアリングリモコンは、付属の ETC/ ステアリングリモコン対応ケーブルで接続します。
- ステアリングリモコンの対応車両については、以下のホームページでご確認ください。
  https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-300ex/compatibility/
- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が 15 まで上がります。

車両設定をする

車両に合わせたステアリングリモコンのキー割り当てを設定します。
お買い上げ時は、［なし］に設定されています。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［ステアリングリモコン］（車両）をタッチする

3 お使いの車のメーカーをタッチする

独自に機能を割り当てる（ユーザー学習）

ステアリングリモコンのキーに機能割り当て（ステアリングリモコン学習）を行います。

- すべてのキーに機能を割り当ててください。割り当てを行っていないキーに他のキーで登録した機能が割り当てられることがあります。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

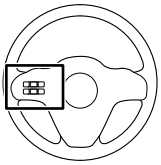
2 ［ステアリングリモコン］（車両）をタッチする

3 ［ユーザー学習］をタッチする

4 ［ステアリングリモコン学習］（車両）タッチする

ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングリモコンは押さないでください。

5 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを 2 秒以上押す



6 割り当てる機能をタッチする

割り当てた機能が表示されます。
手順 5 と 6 をくり返して、全てのキーに割り当てを行ってください。

7 ［学習完了］をタッチする

学習が完了し、システム設定画面に戻ります。

■ キーに割り当てられる機能

キー	機能
未設定	設定しません。
MENU	メニュー画面を表示します。押し続けると、本機の音声操作が始まります。システム設定の「VOICE キー登録」(一般）を［スマートフォンの音声認識］に設定（➜ P.134）しているときは、押し続けるとスマートフォンの音声認識機能が起動します。
現在地 /AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、画面がオフになります。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面がオフになります。
AV	AV 画面を表示します。押し続けると、AV をオフ（STANDBY）にします。AV オフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、AV をオフ（STANDBY）にします。AV オフ中に押すと前のソースに戻ります。
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
	• AVの音量を調整(0～40)します。 • ハンズフリー通話時の受話音量 (0～40) を調整します。
	• FM/AM/ 地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽再生 / ビデオ再生： 前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると､早戻し / 早送りします。 • SMART USEN： お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。
詳細	詳細な地図を表示します。 (地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。 (地図画面表示中)

キー	機能
	音声でフリーワード検索します。 この機能を使用するには、 カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」が必要です。
	音声でフリーワード検索します。 この機能を使用するには、 カーナビ連携アプリケーション「VOIPUT」が必要です。 ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
	ハンズフリーの電話を受けます。 (Bluetooth 接続中)
	ハンズフリーの電話を切ります。 (Bluetooth 接続中) 着信時に押すと着信を拒否します。
	ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。 ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
[1]	音声操作が始まります。 押し続けると音声操作を終了します。
[1]	スマートフォンの音声認識機能を起動します。(Bluetooth 接続中）押し続けると音声認識機能を終了します。
	ドライブレコーダーで静止画を撮影します。
	ドライブレコーダーで手動録画を開始します。

[1] システム設定の「VOICE キー登録」（一般）の設定（➜ P.134）によって割り当てられる機能が変わります。
［音声操作］：音声操作
［スマートフォンの音声認識］：音声認識

ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する

割り当てた機能の変更や消去ができます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［ステアリングリモコン学習］（車両）をタッチする

3 割り当てを変更または消去するボタンをタッチする

4 変更したい機能をタッチする

機能を消去する場合は［未設定］をタッチしてください。

5 ［変更完了］をタッチする

変更が完了し、システム設定画面に戻ります。

ステアリングリモコンキーの割り当てを初期化する

1 42 ページの「ステアリングリモコンキーの割り当てを変更する」の手順 3 で［学習初期化］をタッチする

初期化が完了し、システム設定画面に戻ります。

セキュリティの設定をする

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。
正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- **暗証番号記入欄**

暗証番号を忘れた場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［暗証番号登録］（一般）をタッチする

3 設定する 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

メッセージが表示され、登録が完了します。

■ 暗証番号を変更する

設定した暗証番号を変更します。

1 ［暗証番号変更］（一般）をタッチする

2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

3 新しく設定する４～８桁の暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

メッセージが表示され、変更が完了します。

■ 暗証番号を解除する

設定した暗証番号を解除します。

1 ［暗証番号解除］（一般）をタッチする

2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

メッセージが表示され、暗証番号が解除されます。

セキュリティインジケーターの設定をする

本機の電源をオフにしたときに、セキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。
お買い上げ時は［OFF］に設定されています。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 ［セキュリティインジケーター］（一般）をタッチする

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 自宅に車を停める

2 【MENU】を押して［目的地検索］▶［自宅］をタッチする

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

自宅の検索方法が表示されます。

4 ［地図］をタッチする

5 ［自宅に設定する］をタッチする

メッセージが表示され、自宅が登録されます。

6 ［決定］をタッチする

- 自宅までのルート設定や自宅の変更などは 57 ページをご覧ください。
- 自宅を登録していない場合は、現在地図画面の［自宅］からも登録することができます。(➔ P.54)

Bluetooth 機器を登録する

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器側で“MDV-S810F”、“MDV-S810L”、“MDV-S710W”、または“MDV-S710”を選ぶ

3 デバイス名とパスキーを確認する

4 使用する機能をタッチしてチェックを付けて［はい］をタッチする

［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリーを登録する番号を選びます。

［オーディオ／アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

［電話帳登録］：
電話帳登録をします。

［Bluetooth テザリング］：
本機の MapFanAssist 機能（➔ P.153）、「KENWOOD Drive Info.」（➔ P.163）機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときにチェックを付けます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。
この項目は、外部機器設定の「Bluetooth テザリング」(その他) を［ON］に設定 (➔ P.137) しているときに表示されます。

▼

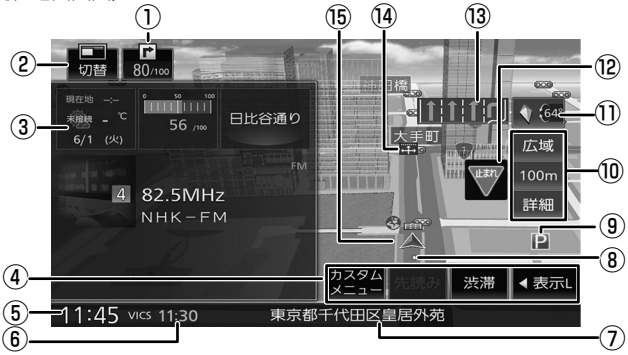
Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。(➔ P.140)

- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は［ハンズフリー 1］にチェックが付いています。［ハンズフリー 1］に登録機器がある場合は、［ハンズフリー 2］にチェックが付いています。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【現在地 /AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます。(現在地図画面)



① **ECO 情報**
ECO 情報を点数で表示します。(➔ P.120)

② **[切替]**
INFO/AV 画面を地図子画面に変えたり、消すことができます。(➔ P.49)

③ **INFO/AV 画面、方面看板**
INFO エリアには、ECO 運転状況や走行道路名称、ルート案内中に目的地（経由地）到着時刻などが表示されます。
AV エリアには、現在選択中の AV ソースの情報が表示されます。
INFO/AV 画面の表示サイズは変更することができます。(➔ P.49)
方面看板情報がある交差点に近づくと、方面看板が表示されます。タッチすると表示を消します。

④ **ショートカットボタン**
タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。表示するボタンの数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。また、別売のドライブレコーダーやカメラを接続していると異なります。(➔ P.54)

⑤ **時計**
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。
本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑥ **VICS 情報提供時刻**
VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑦ **現在地情報**
現在の自車位置の情報が表示されます。

⑧ **走行軌跡**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます。(➔ P.125)
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。(➔ P.125)

⑨ **ランドマーク**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。表示するランドマークを設定することができます。(➔ P.125)

⑩ **[広域] / [詳細] / 縮尺**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。(➔ P.47) ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。縮尺表示をタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。(➔ P.47)

⑪ **(コンパスボタン)**
地図の方位が表示されます。
タッチすると、地図の向きと 2D/3D 表示を切り替えることができます。(➔ P.48)
3D 表示のときにタッチし続けると、スライダーバーが表示され、傾き角度を変更することができます。(➔ P.48)

⑫ **(一時停止表示) / (日没ライト案内と警告表示)**
一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンが表示されます。表示しないように設定することもできます。(➔ P.122)
日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告が表示されます。

⑬ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑭ **案内地点**

: 方面看板の案内地点が表示されます。
: レーン情報の案内地点が表示されます。

⑮ **自車マーク**

タッチすると自車マークの周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ機能)(➔ P.47)

- 細街路（幅員 5.5m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図（➔ P.48）の表示中は、常に細街路が表示されます。
- 地図2画面表示中、INFO/AV 画面表示中、および案内情報表示中はワンタッチルーペ機能（➔ P.47）は使用できません。

ゾーン 30 エリアの表示について

ゾーン 30 エリアとは、歩行者や自転車の安全な通行を確保するために、時速 30 キロの速度規制を実施しているエリア（区域）のことです。
縮尺が 300m 以下のときに地図上に青紫色で表示されます。表示しないように設定することもできます。(➔ P.121)

- 気象・災害情報エリア（➔ P.115）と重なる場合は、気象・災害情報エリアの表示が優先されます。
- ゾーン 30 エリアは、スクロール地図にも表示されます。
- 地図の縮尺によっては、地図画面全体が青紫色で表示されることがあります。

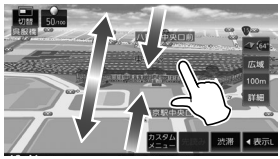
地図の縮尺を変える

1 **［広域］または［詳細］をタッチする**

それぞれのボタンをタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

■ 地図を直接操作する（MDV-S810F/MDV-S810L のみ）

2 本の指でタッチして、指の間を開くまたは閉じます。



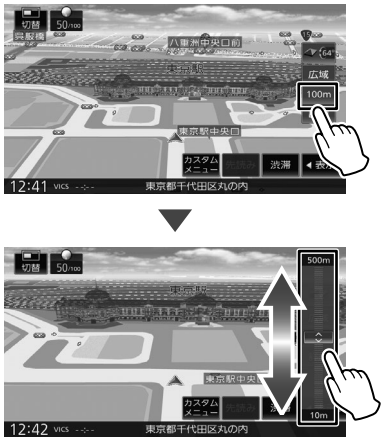
■ 自車位置の周りを拡大表示する（ワンタッチルーペ）

現在地図の縮尺が65m以上650m未満のときに、自車マークをタッチすると自車位置の周りの地図が拡大して表示されます。
ワンタッチルーペを表示しないように設定することもできます。(➔ P.121)

ワンタッチルーペの表示をタッチすると解除されます。

■ スライダーバーで縮尺を変える

1 **縮尺表示をタッチして、タッチしたままスライダーバーのつまみを上下にドラッグする**



市街地図について

市街地図は、縮尺が 100m 以下のスケールで表示されます。

- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることがあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（➔ P.52）で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更と、画面を直接タッチして拡大 / 縮小することはできません。

地図の向きと表示を切り替える

1 地図画面のコンパスボタンをタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。

（3D ビュー）

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。3D 地図では傾き角度を変更することができます。（➔ P.48）

市街地図（➔ P.48）では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。

（2D ノースアップ）

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

（2D ヘディングアップ）

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。（➔ P.121）
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

3D 地図の傾き角度を変更する

1 コンパスボタンをタッチし続ける

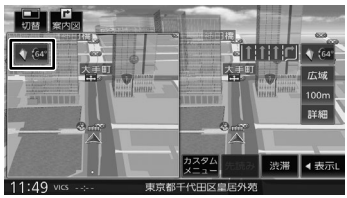
スライダーバーが表示されます。

2 スライダーバーのつまみを上下にドラッグする

スライダーバー上の任意のポイントをタッチしても傾き角度を変更できます。

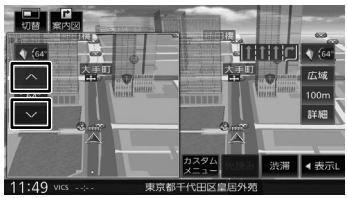
■ 地図子画面の傾き角度設定

1 コンパスボタンをタッチし続ける



傾き角度調整ボタンが表示されます。

2 傾き角度調整ボタンを押す



傾き角度調整ボタンをタッチするたびに5度ずつ調整できます。

- 傾き角度設定は、スクロール地図を表示中も変更できます。
- 現在地図の傾き角度は保存されるため、スクロール地図で傾き角度を設定しても、現在地図にすると元の傾き角度に戻ります。
- 現在地地図と地図子画面は同じ傾き角度になります。

地図画面の表示を切り替える

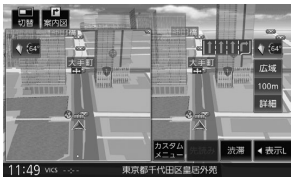
現在地図画面の INFO/AV 画面を地図子画面に変えたり、消すことができます。

1 ［切替］をタッチする

タッチするたびに1〜3の順に画面が切り替わります。

1 地図 2 画面

現在地図の上に異なる縮尺の地図子画面を表示します。



2 地図画面

現在地図だけを表示します。

3 地図と INFO/AV 画面

現在地図の上に、INFO/AV 情報を表示する画面に戻ります。

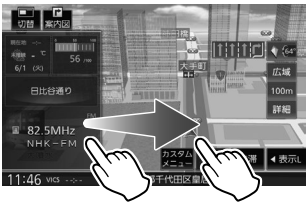
- 地図子画面はスクロールできません。

■ INFO/AV 画面の表示サイズを変更する

1 INFO/AV 画面内をフリックまたはドラッグする

● 中画面サイズから小画面サイズにする

● 小画面サイズから中画面サイズにする

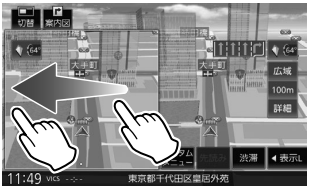


● 中画面サイズから AV 画面にする

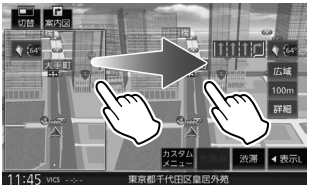
■ 地図子画面の表示サイズを変更する

1 地図子画面内をフリックまたはドラッグする

● 中画面サイズから小画面サイズにする



● 小画面サイズから中画面サイズにする

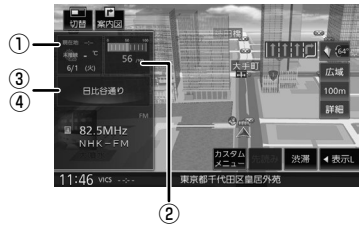


INFO エリアの表示情報

■ 一般道走行中

● 中画面サイズ

● 小画面サイズ



■ 高速道路走行中

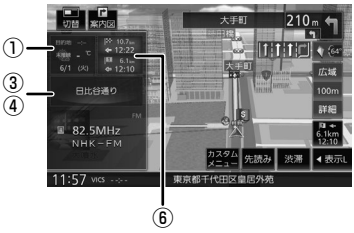
● 中画面サイズ

● 小画面サイズ

■ ルート案内中

● 中画面サイズ

● 小画面サイズ



① 天気情報 / カレンダー

天気予報は、「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときに表示します。（➔ P.163）

② ECO

ECO ドライブ評点を表示します。（➔ P.120）

③ 走行道路名称

走行中の道路名称を表示します。

④ 注意喚起

以下の注意喚起情報があるときに表示します。

種類	アイコン	メッセージ
合流案内（左から合流）		合流注意
合流案内（右から合流）		合流注意
合流案内		合流注意
踏切案内		踏切注意
VICS 車線規制（車線規制）		車線規制注意
VICS 車線規制（右車線規制）		車線規制注意
速度注意ポイント案内	SPEED	スピード注意！
休憩案内		休憩しましょう

⑤ 高速道路

2か所先までの施設（IC、SA、PA、JCT）と施設間の渋滞状況（〓）を表示します。

渋滞状況	表示色
順調	灰
混雑	橙
渋滞	赤

⑥ 目的地、経由地

目的地、次の経由地のまでの距離、方向、到着予想時間を表示します。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。

■ フリックスクロール

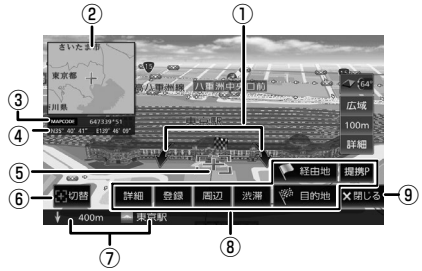
フリックした方向に地図がスクロールします。

■ ポイントスクロール

地図をタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

- スクロールした後に【現在地 /AV】を押すと、現在地図画面に戻ります。
- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示



① **地図回転ボタン：**
3D ビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

② **フライビューマップ：**
スクロールした地点を広域地図で表示します。表示しないように設定することもできます。（➔ P.121）

③ **マップコード：**
マップコード表示を［ON］に設定すると、マップコードを表示します。（➔ P.121）

④ **緯度・経度：**
緯度・経度表示を［ON］に設定すると、緯度経度を表示します。（➔ P.121）

⑤ **（カーソル）：**
地図画面の中心点に表示されます。

⑥ **［切替］：**
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑦ **地点情報：**
カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

⑧ **［提携 P］：**
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

［目的地］/［経由地］（経由地は目的地を設定しているときのみ表示）：
この地点を目的地 / 経由地に設定します。

［渋滞］：
VICS 情報画面が表示されます。

［周辺］：
周辺の施設を検索します。カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときは、周辺のガソリン価格なども見ることができます。

［登録］：
この地点を登録します。

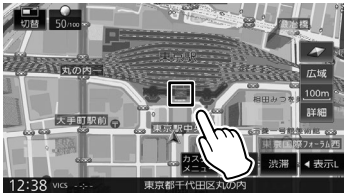
［詳細］：
地点詳細情報画面を表示します。
スマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。(➔ P.53)

⑨［閉じる］：
⑧の表示を消して、［表示］に切り替わります。

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンをタッチする



施設名と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。
さらに詳細な情報を見るには、［詳細］をタッチします。(➔ P.53)

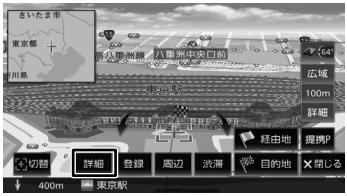
- 複数のランドマークが重なっている場合は、［切替］をタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。
- 地図の向きが 3D ビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QR コード（2 次元バーコード）に変換した地点情報を、スマートフォンで読み取って地図を表示する MapFan のサービスです。

- スマートフォンに表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することができます。
- 地図を表示するには、QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 地図の縮尺変更や移動は無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- MapFan のサービスについては、https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/ をご覧ください。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、［詳細］をタッチする



2 QR コードを表示して、スマートフォンで読み取る

（地点地図）：
カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋現在地）：
カーソルのある地点と現在地からのルート情報を QR コードで表示します。

（地点地図＋目的地）：
カーソルのある地点と目的地からのルート情報を QR コードで表示します。

▼

QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「表示 S」と「表示 L」と「表示なし」があります。さらに接続される周辺機器によって表示されるショートカットボタンが異なります。

■ ショートカット S ボタンを表示時

① 接続される周辺機器によって表示されるボタンが異なります。

[カスタムメニュー]：
カスタムメニューを表示します。(➔ P.25)
このボタンは［V. ルームミラー］が表示されていないときに表示されます。

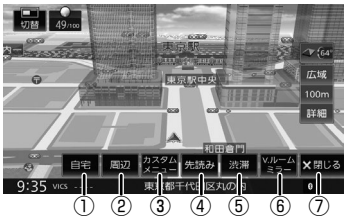
[先読み]：
ルート案内中に案内先読みガイドを表示します。(➔ P.69)

[渋滞]：
VICS 情報画面を表示します。

[V. ルームミラー]：
バーチャルルームミラーの映像に切り替えます。(➔ P.195)

② **[表示 L]：**
ショートカット L ボタンを表示します。

■ ショートカット L ボタンを表示時



① **[自宅]：**
自宅へ帰るルートを探索します。(➔ P.57)
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。(➔ P.44)

② **[周辺]：**
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。(➔ P.55) 検索した施設を目的地に設定することもできます。検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(➔P.58)

③ **[カスタムメニュー]：**
カスタムメニューを表示します。(➔ P.25)

④ **[先読み]：**
ルート案内中に案内先読みガイドを表示します。(➔ P.69)

⑤ **[渋滞]：**
VICS 情報画面を表示します。

⑥ **[V. ルームミラー]：**
バーチャルルームミラーの映像に切り替えます。(➔ P.195)

⑦ **[閉じる]：**
ショートカットボタンの表示を閉じます。

■ ショートカットボタンを閉じたとき

① **[表示 S]：**
ショートカット S ボタンを表示します。

- ［V. ルームミラー］は、外部機器設定の「バーチャルルームミラー」（その他）設定が［ON］に設定されているときに表示されます。ただし、［ON］に設定されていても、外部機器設定の「リアカメラ接続」（カメラ）設定が［なし］に設定され、別売のドライブレコーダー DRV-EMN5700、DRV-MN970、または DRV-MN940B が接続されていない場合は表示されません。
- バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダー、リアビューカメラは 176 ページの「別売品について」をご覧ください。
- リアビューカメラを接続していない場合でも、外部機器設定の「リアカメラ接続」（カメラ）設定を［なし］以外に設定すると、バーチャルルームミラーのリアビューカメラ表示には切り替わりますが映像は何も表示されません。

周辺検索と周辺情報を取得する

現在地の周辺の施設を検索します。

1 ［周辺］をタッチする

2 ［周辺検索］をタッチする

タッチするとジャンルリストが表示されます。検索したいジャンルをタッチしてください。
ジャンルを絞り込んだ後の操作は、61 ページの手順 4 からご覧ください。

■ 周辺地点情報を取得する

カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携していると「ガソリン価格」、「天気予報」の情報を表示します。(➔ P.163)

ナビゲーションの流れ

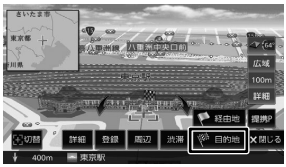
① 行き先を探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(➔ P.58)

地図画面から

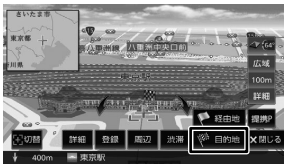
地図をスクロールして行きたい場所を探し(➔ P.52)、[目的地]をタッチします。



② 行き先に設定する

[目的地]をタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(➔ P.64)



- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(➔ P.72)

③ ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(➔ P.72)

[推奨] / [距離] / [高速] / [一般] / [高速 / 距離]:
指定した条件でルートを探索します。(➔ P.64)

[ルート情報]:
選択したルートの情報を確認します。

[入 XXX] / [出 XXX]:
利用するインターチェンジを変更します。(➔ P.74)
有料道路を使用するときに表示されます。

④ 案内を開始する

[案内開始]をタッチする

ルート案内が始まります。

ルート案内を開始した後は

- **経由地の設定・入れ替え**
  途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(➔ P.72)
- **案内終了**
  ルート案内を中止します。(➔ P.75)

自宅に帰る / 自宅を変更する

自宅に帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 **現在地図画面で［自宅］をタッチする**

［自宅］が表示されていないときはショートカットL ボタンを表示してください。
(➔ P.54)

確認メッセージが表示されます。

2 **［はい］をタッチする**

3 **［案内開始］をタッチする**

自宅へのルート案内が開始されます。
(➔ P.64)

- 目的地検索画面の［自宅］をタッチして、ルート案内を開始することもできます。
(➔ P.58)

自宅を変更する

1 **新しく自宅に登録する地点を検索して［登録］をタッチする**

2 **［自宅］をタッチする**

確認メッセージが表示されます。

3 **［はい］をタッチする**

4 **［決定］をタッチする**

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。

- 先に自宅として登録されていた地点は、［未分類］グループに変更されます。

行き先を探す

さまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

1 【MENU】を押して［目的地検索］をタッチする

2 使用する検索方法をタッチする

［名称］：
施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。（➔ P.59）

［住所］：
住所から目的地を探します。（➔ P.62）

［番号］：
電話番号、郵便番号、マップコード、緯度経度を入力して行き先を探します。（➔ P.63）

［ジャンル］：
食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。（➔ P.61）

［登録地点］：
本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（➔ P.62）

［履歴］：
いままでにルートを探索した行き先から探します。（➔ P.62）

［自宅］：
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。（➔ P.57）自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。（➔ P.44）

［スポットブラウザ］/［おでかけプラン］/［目的地予約］：
カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」（➔ P.153）でブックマークした地点やルートプランなど一部の機能を本機と連携することができます。この機能は、「KENWOOD MapFan Club」に入会(有料)し、ログインする必要があります。（➔ P.153）

検索結果に表示されるアイコンについて

■ 営業時間外表示について

周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合「！」マークを表示します。

- 営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司です。
- 隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 営業時間のデータがない施設の場合は、営業時間外の「！」マークを表示できません。
- 実際の営業時間は各施設に問い合わせてください。
- 本機で表示、入力する緯度経度は日本測地系に基づくものです。

■ 大気環境配慮型 SS（e → AS）認定ランクアイコンについて

周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索によって検索されたガソリンスタンドが、大気環境配慮型 SS（e → AS）の認定を取得している場合は、検索結果地図と検索結果リストに e → AS マークが表示されます。

e → AS マーク

- e → AS の認定ランクは、以下のように表示されます。
  - ランク S（金色）：給油所全体の燃料蒸発ガス回収率 95% 以上のガソリンスタンド
  - ランク A（緑色）：給油所全体の燃料蒸発ガス回収率 75% 以上のガソリンスタンド
  - ランク B（青色）：給油所全体の燃料蒸発ガス回収率 50% 以上のガソリンスタンド
  - ランク C（橙色）：給油所全体の燃料蒸発ガス回収率 50% 未満のガソリンスタンド
- e → AS マークは地点詳細情報画面にも表示されます。

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［名称］をタッチする

2 施設の名前を入力して、［検索］をタッチする

［フリーワード］：
フリーワード検索ができます。フリーワード検索をするには、「KENWOOD Drive Info.」が必要です。（➔ P.163）

- 名称検索の名称入力時は、ひらがな以外の文字は入力できません。
- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が５件以下になると、自動的に検索結果（手順３）が表示されます。
- 名称検索の名称入力中に「完全一致」が０件になった場合は、文字の入力はできません。入力した文字を削除して他の名称を入力してください。

3 行き先をタッチする

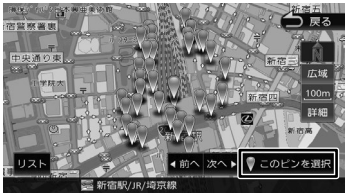
［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。（➔ P.60）

［ジャンルで絞り込む］：
さらにジャンルで絞り込みます。（➔ P.60）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［このピンを選択］をタッチする



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➔ P.64）

- ピンは手順３で指定した行き先を含めて 50 件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、［前へ］または［次へ］をタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。（➔ P.58）

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 「名称から探す」（➔ P.59）の手順3で［エリア指定］をタッチする

2 指定したい項目をタッチする

［地域を指定］：
地域（都道府県から）を入力して検索します。

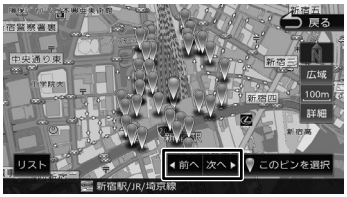
［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［現在地周辺］/［目的地周辺］/［経由地１周辺］～［経由地５周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が１件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順４に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 ［このピンを選択］をタッチする

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➔ P.64）

- 手順２の［目的地周辺］/［経由地１周辺］～［経由地５周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 「名称から探す」（➔ P.59）の手順3で［ジャンルで絞り込む］をタッチする

2 ジャンルをタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ

［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。（➔ P.60）

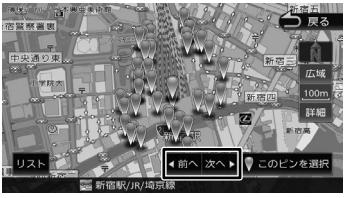
［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が１件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順５に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］をタッチする

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➔ P.64）

ジャンルから探す

食事やショッピングなど、目的のジャンルから行き先を探します。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［ジャンル］をタッチする

2 ジャンルをタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したい項目をタッチする

［地域を指定］：
地域（都道府県から）を入力して検索します。

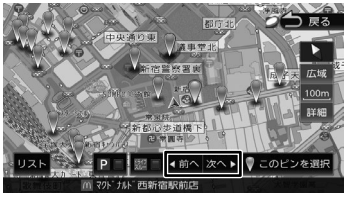
［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［ルート周辺］：
ルート前方にある施設を表示します。

［現在地周辺］/［目的地周辺］/［経由地 1 周辺］～［経由地 5 周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

［P □］：
チェックを付けると駐車場がある施設の絞り込みができます。

［ドライブスルー □］：
チェックを付けるとドライブスルーがある施設の絞り込みができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- 駐車場とドライブスルーが有る施設の絞り込みができるのは、以下のジャンルを検索したときです。
  駐車場：コンビニエンスストア、食事（ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司、喫茶・カフェ）、銀行、郵便局
  ドライブスルー：食事（ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司、喫茶・カフェ）

5 ［このピンを選択］をタッチする

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➔ P.64）

- 手順 3 の［ルート周辺］は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。（最大 50 件）その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。(最大 50 件)
- ［ルート周辺］検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順 3 の［目的地周辺］/［ルート周辺］/［経由地 1 周辺］～［経由地 5 周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。（➔ P.58）

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

- 事前に本機に地点を登録してください。(➔ P.76)

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［登録地点］をタッチする

2 グループ名をタッチする

3 登録地点をタッチする

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。(➔ P.64)

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［住所］をタッチする

2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ

リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。(➔ P.64)

- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、ハイフン「−」でつないで一度に入力することができます。
- ［あ］～［わ］をタッチすると表示中のリストを頭出しします。
- ［代表地点］をタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［履歴］をタッチする

2 検索履歴をタッチする

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。(➔ P.64)

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で［削除］をタッチする

2 削除する履歴地点をタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックが付きます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 ［削除］をタッチする。

確認メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

電話番号、郵便番号、マップコード、緯度経度で探す

電話番号、郵便番号、マップコード、緯度経度から行き先を探します。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［番号］をタッチする

2 検索したい項目をタッチする

3 番号を入力して［検索］をタッチする

電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。

BS：
カーソルの前にある文字を消去します。

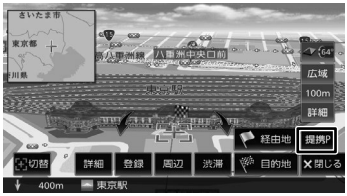
［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➔ P.64）

- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。［検索］をタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 一部の場所では、１つの電話番号に複数の地点が登録されているとリスト選択画面が表示されます。その場合はリストから場所を選ぶと地図が表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して［検索］をタッチします。
- 電話番号検索では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。（➔ P.58）
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（https://www.denso-solution.com/mapcode/index.html）をご覧ください。
- 電話番号検索で電話番号を入力するときは、国番号の入力は必要ありません。

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、［提携 P］が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 ［提携 P］をタッチする



2 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が１件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順３に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

3 ［このピンを選択］をタッチする

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➔ P.64）

ルートの探索と案内

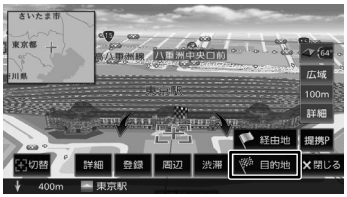
ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまでの手順 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 ［目的地］をタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

- 経由地を設定する場合は 72 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、
  ［はい］：一般道を目的地（経由地）に設定します。
  ［いいえ］：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、65 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件をタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。

［推奨］：
本機が推奨するルートです。

［距離］：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

［高速］：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

［一般］：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

［高速 / 距離］：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

［全行程］：
すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。

［ルート情報］：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

［入 XXX］/［出 XXX］：
利用するインターチェンジを変更します。
（➔ P.74）有料道路を使用するときに表示されます。

［スケール調整］：
タッチすると地図を拡大、縮小、スクロールできます。［戻る］をタッチすると元の画面に戻ります。

［マイルートアジャスター］：
ルート探索の詳細条件を設定します。
マイルートアジャスター機能は、5 ルート（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）すべてに詳細条件が反映されます。（➔ P.126）

2 ［案内開始］をタッチする

ルート案内が開始されます。（➔ P.66）

- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。
  フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- スマート IC または ETC 専用入口を利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマート IC アイコンが表示されます。
  スマート IC アイコン：
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報 (通行止めなど) を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

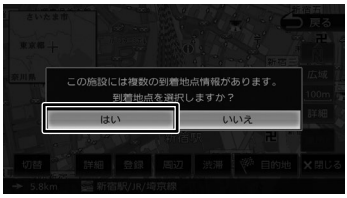
■ 渋滞考慮探索 (最適時間考慮探索)

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)

複数の到着地点情報があったとき

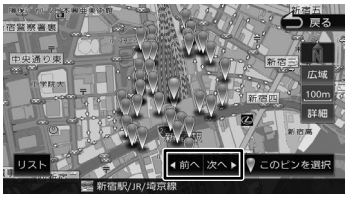
検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 ［はい］をタッチする



2 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 ［このピンを選択］をタッチする

選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。(➔ P.64)

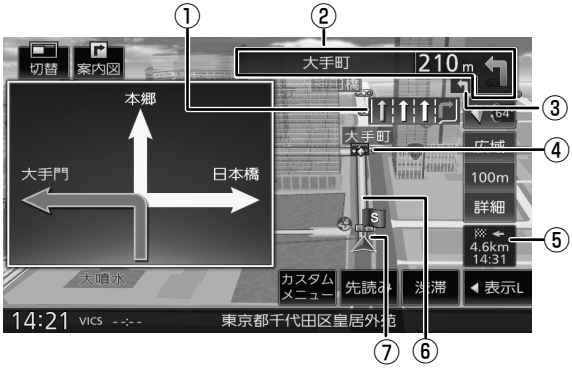
ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① **レーン情報表示**

（灰色矢印）：案内レーン
（水色矢印）：推奨通過レーン

② **次案内ポイント情報**

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ **次々案内ポイント情報**

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ **◈案内ポイント**

⑤ **到着予想時刻と距離**

対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
経由地が設定されている場合は、このボタンをタッチするたびに対象の行き先が切り替わります。

⑥ **案内ルート**

目的地または経由地までのルートです。
道路の種類(一般道 / 高速道路 / 細街路)によって色分けして表示されます。

⑦ **自車マーク**

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。

① ハイウェイモードボタン

INFO/AV 画面を表示しているときや、ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
ここです案内または高速分岐イラストが表示されます。

③ 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）などの名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。
SA、PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。（➔ P.67）
施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

④ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
灰色：順調
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑤ 規制情報表示

車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が 3 件までマークで表示されます。（➔ P.115）
マークをタッチすると詳細情報を表示します。
情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報をタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると［現区間］が表示されます。［現区間］をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦［閉じる］

ハイウェイモード画面を閉じます。
①をタッチすると再度表示します。

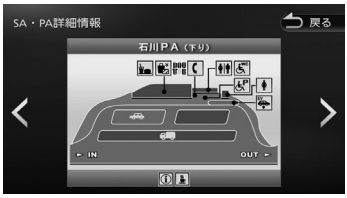
⑧ 自車マーク

⑨ 案内ルート

- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中も表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

■ SA/PA 詳細情報画面について

ハイウェイモード画面内の SA または PA の施設情報をタッチすると、SA・PA の詳細情報を確認することができます。



SA・PA 詳細情報に表示されている［〈］または［〉］をタッチすると、前後の SA または PA の詳細情報に切り替えることができます。

案内ポイントでの割り込み表示

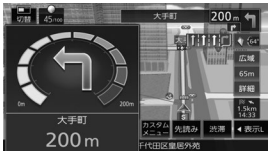
案内ポイントに近づくと、ここです案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。割り込み表示は、現在地図画面で表示されます。

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示をタッチしてください。
消した割り込み表示は、［案内図］をタッチするともう一度表示できます。

- AV 画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示画面に切り替わります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。(➔ P.122)

ここです案内表示

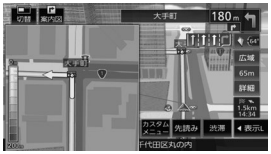
案内する交差点の約 350m（高速道路は約 1.1km）手前に近づくと表示されます。



交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m（高速道路は約 800m）手前に近づくと表示されます。

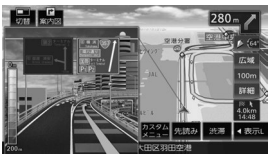


■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 空港構内案内

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。

■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。

場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。

■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。

■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。

ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

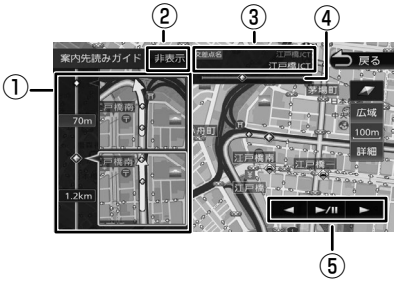
ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。

案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

1 ［先読み］をタッチする

案内先読みガイドが表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが2ポイントずつ表示されます。

② ［非表示］

案内先読みガイドの表示を消します。消すと［非表示］は［表示］になります。［表示］をタッチするとガイドを表示します。

③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ プログレスバー

案内先読みガイド表示（最大 99）全体の、どのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
►	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
◄	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
►/II	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。

- オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

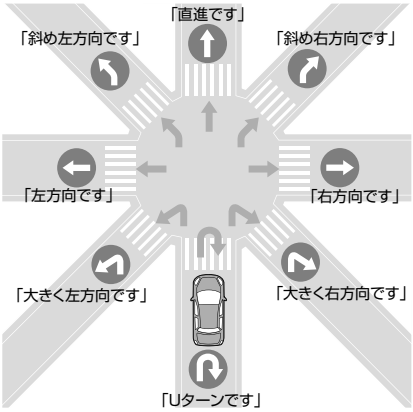
音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。案内は状況によって正しく行われないことがあります。実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。

- 音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(➔ P.122)
- 音声案内の音量調整は 122 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(➔ P.133)
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
- 音声案内は、案内の状況により情報があっても音声案内しない場合があります。

■ 進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。126 ページをご覧ください。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(➔ P.122)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ VICS 渋滞 /VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。
	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。 左へお寄りください。

■ 一時停止の音声案内

一時停止情報がある交差点の手前で、音声案内を行います。

音声
この先、一時停止です。

- 一時停止情報がある交差点でも、音声案内しない場合があります。

■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。（現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います）

目的地付近で盗難が多い地点

音声
目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

ACC OFF した付近で盗難が多い地点

音声
現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

■ リフレッシュ通知

運転開始（本機が電源オン状態のままで）から90 分ごとに以下の音声案内を行います。

音声
そろそろ 90 分になります。休憩しませんか？

■ 日没ライト案内 / 警告音声案内

日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告を行います。

案内の種類	音声
ライト案内	そろそろ日没です。ライトをつけましょう。
ライト警告	無灯火です。ライトをつけてください。

■ スマートフォン置き忘れ警告音声案内

iPhone が USB 接続されているときに、本機の電源をオフにすると以下の音声案内を行います。

音声
携帯電話を忘れていませんか？

■ 逆走時の案内について

本機は高速道路にて逆走状態を検知した場合は、画面表示と音声で案内を行います。

● 画面表示

逆走中は以下の表示をします。

［閉じる］をタッチすると、案内を解除できます。

【現在地 /AV】を押しても解除できます。

● 音声案内

逆走中は以下の音声案内をします。

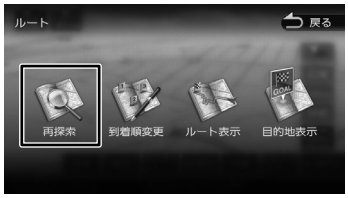
音声
逆走しています。

- 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
  - GPS 信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。（➔P.210、P.211）
  - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
  - 地図データベースにはない道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- 逆走の案内は一般道では行われません。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 【MENU】を押して［ルート］▶［再探索］をタッチする



2 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

選択したルートでルート案内が開始されます。

- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

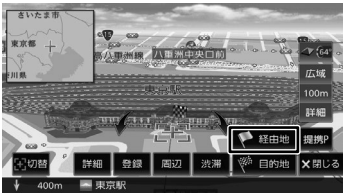
経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は 5 か所まで追加できます。

- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ❯ 経由地にしたい行き先を検索する

1 ［経由地］をタッチする



2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］をタッチする

ルートの探索が始まります。

挿入位置の変更や削除については 73 ページをご覧ください。

3 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

［到着順変更］：

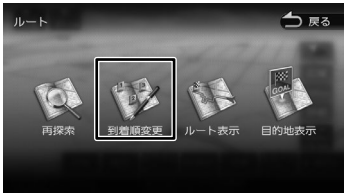
到着順を編集することができます。編集操作は 73 ページの「目的地・経由地の順番を入れ替える」の手順 3 からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 【MENU】を押して［ルート］▶［到着順変更］をタッチする



2 順番を変更する行き先をタッチする

3 移動先の［挿入］をタッチする

4 ［再探索］をタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

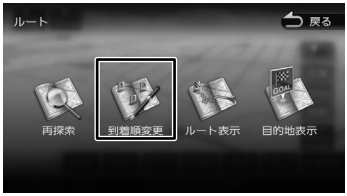
5 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 【MENU】を押して［ルート］▶［到着順変更］をタッチする



2 削除する行き先をタッチする

3 ［削除］をタッチする

選択した行き先が削除されます。

4 ［再探索］をタッチする

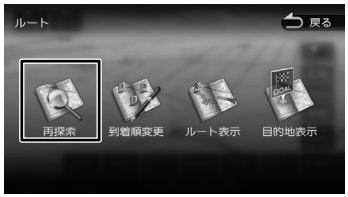
5 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

1 【MENU】を押して［ルート］▶［再探索］をタッチする



2 変更したい入口または出口 IC をタッチする

3 入口または出口に指定する IC 名を地図を直接タッチして選ぶ

［切替］：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC(最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 ［この IC に変更］をタッチする

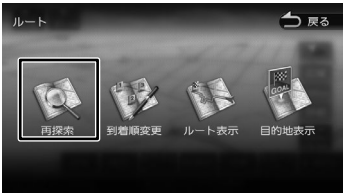
指定した IC を通過するルートが探索されます。

5 ［案内開始］をタッチする

- 手順 3 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、手順 4 で確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］をタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、［はい］をタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 【MENU】を押して［ルート］▶［再探索］をタッチする



2 ［IC 変更を解除］をタッチする

変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

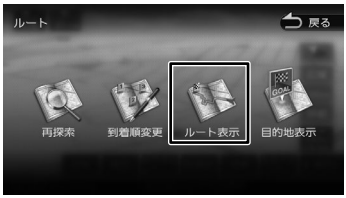
3 ［案内開始］をタッチする

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

1 【MENU】を押して［ルート］▶［ルート表示］をタッチする



ルート全体が表示されます。

［ルート情報］：
ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：
地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

［X 1］/［X 2］/［X 3］：
デモ走行のスピードを変更できます。

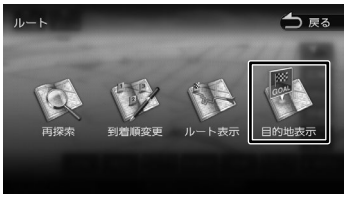
［デモ終了］：デモ走行を終了します。

- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 【MENU】を押して［ルート］▶［目的地表示］をタッチする



2 表示する目的地または経由地をタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

1 【MENU】を押して［案内終了］をタッチする

メッセージが表示されます。

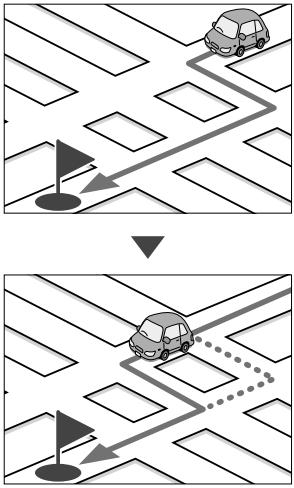
2 ［はい］をタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



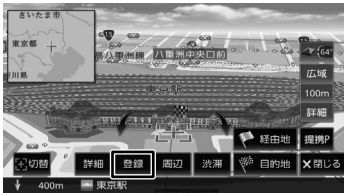
地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 ［登録］をタッチする



3 登録するグループをタッチする

4 ［決定］をタッチする

この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。

・「音声操作」グループに登録すると音声による操作で地点を呼び出せます。
なお、「音声操作」グループには 10 地点まで登録できます。
11 地点目を登録しようとすると、登録済みの地点を上書き保存するか確認メッセージが表示されます。「はい」をタッチすると、登録が一番古い地点を上書き保存します。上書きされた地点は、［未分類］グループに変更されます。

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［登録地点］をタッチする

2 見たい地点情報のグループをタッチする

登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［登録地点編集］をタッチする

2 ［登録地点編集］をタッチする

3 編集したい地点のグループをタッチする

4 編集したい地点をタッチする

5 編集したい項目をタッチして編集する

● **名称を編集する**
名称欄をタッチして名前を入力して［決定］をタッチします。

● **グループを変更する**
グループ欄をタッチして設定したいグループをタッチします。

● **電話番号を設定および変更する**

電話番号欄をタッチして電話番号を入力して［決定］をタッチします。

- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法は 28 ページをご覧ください。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「−」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。

- 「未分類」、「自宅」、および「音声操作」のグループ名は変更できません。
- 「未分類」および「自宅」のグループアイコンは変更できません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

1 「登録地点を編集する」（➔ P.76）の手順 2 の画面を表示する

● **グループ名を編集する**

［グループ名変更］をタッチして編集したいグループをタッチします。グループ名を編集して［決定］をタッチします。

● **グループアイコンを変更する**

［アイコン変更］をタッチしてアイコンを変更したいグループをタッチします。
変更したいアイコンをタッチします。

登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 「登録地点を編集する」（➔ P.76）の手順 2 の画面を表示する

2 ［登録地点削除］をタッチする

3 削除したい地点のあるグループをタッチする

4 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

5 ［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

6 ［はい］をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【MENU】を押して［ソース切替］をタッチする

2 切り替えたいソースをタッチする

［交通情報］：
交通情報放送を受信します。（➜ P.111）

［STANDBY］：
ソースをすべてオフにします。ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

［iPod］[1]：
iPod の曲を再生します。（➜ P.81）

［USB］[2]：
USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.82）

［SD］：
SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.82）

［内蔵メモリ］：
本機の内蔵メモリに録音したデータを再生します。（➜ P.90）

［マルチ AV ブラウザ］：
マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオをまとめて表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。（➜ P.96）

［DISC］：
CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。（➜ P.98、P.101）

［地デジ］：
地上デジタル TV 放送を受信します。（➜ P.105）

［FM］：
FM ラジオ放送を受信します。（➜ P.109）

［AM］：
AM ラジオ放送を受信します。（➜ P.109）

［Bluetooth AUDIO］：
本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。（➜ P.149）

［HDMI］[3]：
本機に HDMI 接続した機器のソースに切り替えます。（➜ P.111）

［SMART USEN］：
カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。（➜ P.152）

[1] iPod を USB 接続する場合は Apple 製 Lightning - USB ケーブルが必要です。
[2] USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）が必要です。
[3] HDMI 接続ケーブル KNA-20HC（別売品）が必要です。

・ DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

■ AV 画面からソース切替画面を表示する

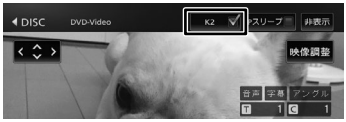
AV 画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。

現在地図画面から AV 画面を表示する

1 【現在地 /AV】を押す

「K2テクノロジー」を使う

各ソースのAV画面に「K2テクノロジー」をオン/オフする［K2］ボタンがあります。
チェックを付けると、変質・劣化したデジタル音源をオリジナルマスターと同等に復元再生します。アナログソースにおいても「K2テクノロジー」の［K2］がタッチできるようになっています。より高音質にお楽しみいただけるよう、本機ではすべてのソースで高解像度なデジタル処理をしています。「K2テクノロジー」をオンにすることにより、本来の音に復元することが可能となります。



- 「K2テクノロジー」は、株式会社JVCケンウッドと株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが 共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。
  時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質 評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を設定する必要があります。設定については、39 ページをご覧ください。
- 各ソースの AV 画面に「Pスリープ」をオン / オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。

- パッセンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(➔ P.127)

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 ［映像調整］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

3 ［−］または［+］をタッチして各項目を調整する

コントラスト：
コントラストを調整します。
- ［+］：コントラストが強くなります。
- ［−］：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：
明るさを調整します。
- ［+］：明るくなります。
- ［−］：暗くなります。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。
- ［+］：色が濃くなります。
- ［−］：色が淡くなります。

色合い (カメラ映像 / ドライブレコーダー映像のみ)：
色合いを［+］/［−］で調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。
- ［非表示］をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- カメラ映像の画質を調整しているときに［戻る］をタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- カメラ映像、地デジの映像およびドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 [映像調整] をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

3 「アスペクト」の ◀ または ▶ をタッチして、サイズを調整する

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート：
16：9 の映像はフルで、4：3 の映像はレギュラーで表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16：9 画像	4：3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

- オリジナルは SD、USB、マルチ AV ブラウザソースのみ設定できます。
- オートは DVD 再生時のみです。

iPod の曲を再生する

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。
  USB 接続の場合は、USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）と Apple 製 Lightning - USB ケーブルで接続します。
  Bluetooth 接続の場合は iPod の登録を行ってください。(➔ P.140)

- iPod 接続ケーブルを接続する USB 接続ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

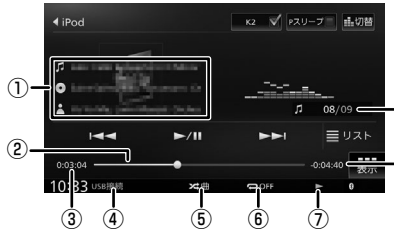
iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを iPod に切り替える（➔ P.78）

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。



① **曲名**
アルバム名
アーティスト名
アルバムアート画像
アルバムアート画像の情報がある場合は、アルバムアートが表示されます。
② **シークバー**
③ **再生時間**
④ **接続方法**
⑤ **ランダム再生モード**
⑥ **リピート再生モード**
⑦ **再生状態**
⑧ **再生残り時間**
⑨ **曲番号 / 全曲数**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/II]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

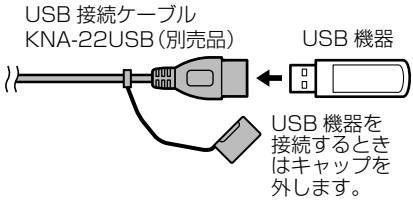
● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
［デバイス切替］(Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
［🔀］	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 ・🔀 OFF : シャッフル再生モードを解除します。 ・🔀 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。
［🔁］	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 OFF : リピート再生モードを解除します。 ・🔁 ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 ・🔁 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
［閉じる］	サブ機能ボタンを消します。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する

USB 機器の接続には、USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）が必要です。



- 本機で再生できる USB 機器は 222 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB 接続ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 222 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。（➔ P.85、P.86）

- USB 接続ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。

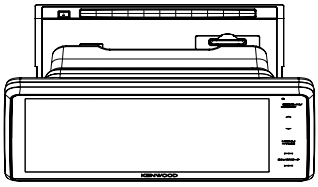
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

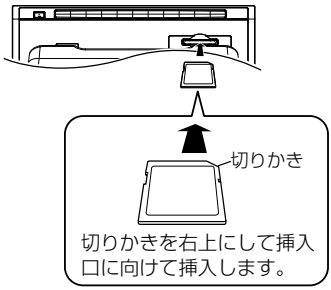
本機で再生できる SD カードは「本機で再生できる SD カード」(➔ P.221) をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

■ MDV-S810F

1 フロントパネルを手前に十分倒す



2 SD カードを挿入口に入れる、または出す



入れるときは、SD カードが奥に突き当たるまで差し込んでください。
出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

3 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-S810L/MDV-S710W/MDV-S710

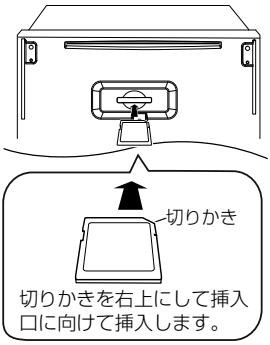
1 【▲】(オープンキー) を押す

2 [SD] をタッチする

フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる、または出す

入れるときは、SD カードが奥に突き当たるまで差し込んでください。
出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる

- フルオープンの状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは、同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順
ソースを USB または SD に切り替える（➔ P.78）

オーディオファイルの AV 画面

USB 画面例

① 曲名（ファイル名）
アルバム名（フォルダ名）
アーティスト名
アルバムアート画像
② 再生時間
③ 音声形式
④ シークバー
⑤ ランダム再生モード
⑥ リピート再生モード
⑦ 再生状態
⑧ 再生残り時間
⑨ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（➔ P.79）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➔ P.79）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/II]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次のファイルを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[ ] / [ ]	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 86 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB 画面例

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリー DB 更新]	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(➔ P.87)
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・🔀 OFF : ランダム再生モードを解除します。 ・🔀 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ・🔀 曲 (カテゴリーデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 ・🔁 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 ・🔁フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

ビデオファイルの AV 画面

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

USB 画面例

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **フォルダ名**
　ファイル名
② **再生時間**
③ **映像形式 / 音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **ランダム再生モード**
⑥ **リピート再生モード**
⑦ **再生状態**
⑧ **再生残り時間**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(➔ P.79)
[▶/II]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[⏮] / [⏭]	前または次のファイルを再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[📁−]/ [📁+]	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 86 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB 画面例

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［デバイス切替］(USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
［カテゴリー DB 更新］	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(➜ P.87)
［⤮］	・⤮ OFF： ランダム再生モードを解除します。 ・⤮ フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ・⤮ 曲（カテゴリーデータベース再生のみ）： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
［⮌］	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・⮌ ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 ・⮌ 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 ・⮌フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
［閉じる］	サブ機能ボタンを消します。

再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 ［リスト］をタッチする

2 再生モードを切り替えるボタンをタッチする

再生モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態で再生します。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。

- カテゴリーデータベースモードで再生するには、データベースを作成する必要があります。(➜ P.87)
- SD カード、内蔵メモリに録音された録音データのカテゴリーデータベースは自動で作成、更新されます。

カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。

カテゴリーデータベースを作成する

- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 ［表示］をタッチする

2 ［カテゴリー DB 更新］をタッチする

メーセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

カテゴリーデータベースが作成されます。

カテゴリーリストモードで再生する

1 ［リスト］をタッチする

2 フォルダリスト画面の［カテゴリーリスト］をタッチする

3 ［🎞］（ビデオリスト）または［♫］（ミュージックリスト）を選ぶ

4 再生するファイルを選ぶ

［► Play］：

該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

［トップ］（ミュージックリストのみ）：

一番上の階層のリストに移動します。

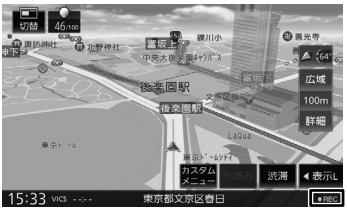
［一つ上］（ミュージックリストのみ）：

1つ上の階層のリストに移動します。

内蔵メモリ /SD カードに録音する

録音について

- 本機では、再生中の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音できます。
- 録音中は、地デジ、マルチ AV ブラウザ、録音先のソースは選択することができません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面右下に ●REC と表示されます。



- 録音中に本機の電源をオフにしたり、録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されています。
- 本機は SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵メモリまたは SD カードに録音することはできません。
- 内蔵メモリまたは SD カードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(➔ P.93)
- 録音する音楽 CD のアルバム情報がないときには、次のように名前が付けられます。
  - タイトル名：
    “Track”_ トラック番号 _ 年 _ 月日 _ 時刻
  - アルバム名：“Album”_ 年 _ 月日 _ 時刻
  - アーティスト名: “Artist”_ 年 _ 月日 _ 時刻

  なお、年、月日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。(➔ P.91)
- 録音中は、「録音先」、「録音音質」は設定できません。
- 本機で再生できる SD カードについては、221 ページをご覧ください。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音音質によって異なります。以下は、録音可能曲数の目安です。

- 内蔵メモリ：
  - 標準音質 … 約 1000 曲
  - 高音質 … 約 500 曲
  - ロスレス … 約 150 曲
- SD カード（8GB の場合）：
  - 標準音質 … 約 2000 曲
  - 高音質 … 約 1000 曲
  - ロスレス… 約 300 曲

■ 録音可能アルバム数について

内蔵メモリ、SD カードそれぞれ 999 枚録音できます。

録音設定をする

音楽 CD から録音するときの録音音質および録音先を設定します。

1 **音楽 CD の AV 画面を表示して、サブ機能ボタンの［録音設定］をタッチする**

2 **設定したい項目をタッチする**

■ 録音先

[内蔵メモリ]：内蔵メモリに録音します。

[SD カード]：SD カードに録音します。

■ 録音音質

[標準（128kbps)]：標準の音質で録音します。

[高音質（256kbps)]：高音質で録音します。

[ロスレス]：最高音質で録音します。

録音する

音楽 CD を再生しながら、内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音できます。

- エンジンを切るまたは、スタートさせたいときは、録音を中止してください。
- 録音先を SD カードに設定している場合、SD カードが本機に挿入されていないと録音できません。

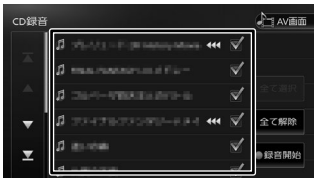
1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する

2 [録音] をタッチする

3 録音する曲を選択する

：録音していない曲

：録音済みの曲



表示されているリストでは、すべての曲が選択されています。録音しない曲をタッチすると、選択が解除されます。

[全て選択]：
すべての曲を選択します。

[全て解除]：
すべての曲の選択を解除します。

4 [録音開始] をタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 [はい] をタッチする

録音が開始されます。

録音中の画面では、録音の状況を確認できます。また、録音済 / 録音予定の曲数が表示されます。

00/03：SD カードに録音中です。

00/03：内蔵メモリに録音中です。

[録音停止]：
録音を停止して、ディスクの 1 曲目から再生します。

すべての録音が終了すると、[録音モード終了]が表示されます。[録音モード終了]をタッチして [はい] をタッチすると、ディスクの 1 曲目から再生されます。

- 手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- 録音中に [リスト] をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
  - ：録音済みの曲
  - ：録音中の曲（赤）
  - ：録音予定の曲（エンジ）
  - ：録音予定がない曲（黒）
  - ：エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はシークバーを操作できません。
- SD カードに録音できない場合は、SD カード初期化を行ってください。(➔ P.134)

録音したデータを再生する

ソース切替画面で内蔵メモリまたは SD を選択します。

ここまでの手順
ソースを内蔵メモリまたは SD に切り替える（➜ P.78）

SD カードの録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。（➜ P.86）

内蔵メモリ画面例

① 曲名
アルバム名
アーティスト名
ジャンルの画像またはアルバムアート画像
② 再生時間
③ シークバー
④ ランダム再生モード
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生状態
⑦ 再生残り時間
⑧ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.79）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.79）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/II]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 86 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

内蔵メモリ画面例

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル編集]	録音データのタイトルを編集します。
[録音データ削除]	録音データを削除します。
[カテゴリー DB 更新]（SD のみ）	カテゴリーデータベースを作成、更新します。（➜ P.87）
[録音データ移動]（内蔵メモリのみ）	内蔵メモリに録音したデータを SD カードに移動します。
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・🔀 OFF：ランダム再生モードを解除します。 ・🔀 曲：再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 ALL：再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。 ・🔁 1：再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

- ジャンルの画像、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 音楽 CD を録音すると、自動的にカテゴリーデータベースが作成されます。(➔ P.87)
  カテゴリーデータベースが作成されているファイルは、アルバムやアーティストなどのタグ情報をもとに再生するファイルを選択できます。(➔ P.87)

録音データのタイトルを編集する

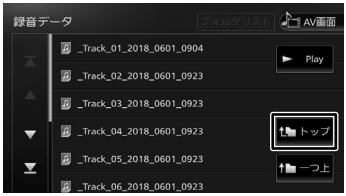
本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音したデータのタイトル (曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、アルバムアートワーク) を編集することができます。

ここまでの手順
ソースを内蔵メモリまたは SD に切り替える (➔ P.78)

SD カードの録音データを編集する場合は、SD カードの再生モードを録音データの再生に切り替えておいてください。(➔ P.86)

1 [リスト] をタッチする

2 [トップ] をタッチする



3 アルバムをタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する

4 [表示] をタッチする

5 [タイトル編集] をタッチする

6 編集したい曲をタッチする

7 編集したい項目をタッチする

曲名：
文字入力の画面が表示されます。

アルバム名：
文字入力の画面が表示されます。
変更したアルバム名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

アーティスト名：
文字入力の画面が表示されます。
編集すると確認メッセージが表示されます。
[はい]：
編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。
[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：
リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。
[はい]：
選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。
[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク：
録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。

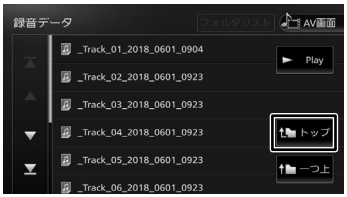
- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名とも 128 文字です。
- 文字入力については 28 ページをご覧ください。
- 手順 6 の画面で表示される [別候補タイトル] は、スマートフォンを Bluetooth テザリングで接続しているときに、Gracenote 音楽認識サービスで使用します。(➔ P.95)

タイトルを消去する

編集したアルバム内のすべてのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を消去することができます。

1 ［リスト］をタッチする

2 ［トップ］をタッチする

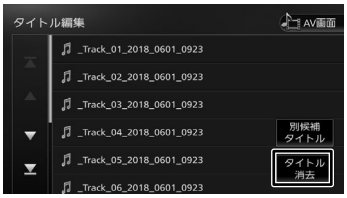


3 アルバムをタッチしてタイトルを消去したい曲が含まれるアルバムを再生する

4 ［表示］をタッチする

5 ［タイトル編集］をタッチする

6 ［タイトル消去］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

7 ［はい］をタッチする

アルバムアートワークとして画像を表示させる

録音データを再生するときにアルバム単位で、SD カードまたは USB 機器に保存したお好みの画像ファイル（JPEG または PNG のデータサイズ 650KB 以下）をアートワークとして表示させることができます。

1 「録音データのタイトルを編集する」（➔ P.91）の手順 7 の画面を表示して［アルバムアートワーク］をタッチする

2 ［デバイス切替］をタッチして画像を保存しているデバイスを選択する

3 アートワークにしたい画像を選ぶ

録音データの再生画面でアルバムアートワークが表示されるようになります。

アートワークを削除する

1 「録音データのタイトルを編集する」（➔ P.91）の手順7の画面を表示して［画像削除］をタッチする

確認メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

・ Gracenote 音楽認識サービスを使用してアルバムアートワークを自動取得することもできます。(➔ P.94)

録音データを削除する

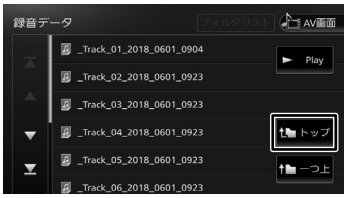
本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音したデータを削除します。

ここまでの手順
ソースを内蔵メモリまたは SD に切り替える (➔ P.78)

SD カードの録音データを削除する場合は、事前に SD カードの再生モードを「録音データ」に切り替えておいてください。(➔ P.86)

1 [リスト] をタッチする

2 [トップ] をタッチする

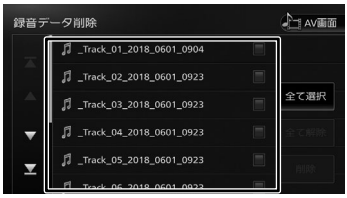


3 アルバムをタッチして削除したい曲が含まれるアルバムを再生する

4 [表示] をタッチする

5 [録音データ削除] をタッチする

6 削除するデータを選んでタッチする



[全て選択]:
すべての曲を選択します。

[全て解除]:
すべての曲の選択を解除します。

7 [削除] をタッチする
確認メッセージが表示されます。

8 [はい] をタッチする

録音データを SD カードに移動する

内蔵メモリに録音したデータを SD カードに移動します。
再生中の曲を含んだ 1 つのアルバムデータを移動します。移動したデータは、内蔵メモリから自動的に消去されます。
SD カード内に移動されたデータは、SD カードから再生できます。

ここまでの手順
ソースを内蔵メモリに切り替える (➔ P.78)

1 SD カードに移動したい曲を再生する

2 [表示] をタッチする

3 [録音データ移動] をタッチする
メッセージが表示されます。

4 [はい] をタッチする
録音データの移動が始まります。

[中止]:
SD カードへの移動を中止します。

・ SD カードに移動したデータは内蔵メモリに戻すことはできません。

楽曲情報を取得する

スマートフォンを Bluetooth テザリングで接続中は、Gracenote 音楽認識サービスにより、インターネット上にある楽曲情報データベースにアクセスし、再生している音楽 CD や録音したファイルのタイトル情報とアルバムアートを表示することができます。また、取得したアルバムアートはマルチ AV ブラウザでも表示することができます。

- 取得した情報は、以下のアルバムタイトル数が本機に保存されます。
  - タイトル情報：約 100 タイトル
  - アルバムアート：約 400 タイトル

  制限数を超えた場合は、古い情報から削除されます。
- アルバムアートは、アルバムタイトルの画像が表示され、無い場合はアルバムアーティストの画像が表示されます。また、両方の画像が無い場合は、ジャンル別の画像が表示されます。
- 本機に保存されているタイトル情報とアルバムアートは、テザリング接続をしていないときでも表示されます。

Gracenote 音楽認識サービスを使うための準備

準備 1：スマートフォンのテザリング契約

Gracenote 音楽認識サービスを使用するためには、スマートフォンのテザリング契約が必要です。（費用や契約については契約会社により異なります。）

また、通信費用は別途かかります。

準備 2：本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する

1 Bluetooth テザリングをするスマートフォンの Bluetooth とテザリング機能をオンにする

2 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

3 [Bluetooth]（Bluetooth）をタッチして本機の Bluetooth 機能を［ON］にする

4 [Bluetooth テザリング]（その他）をタッチして［ON］にする

5 スマートフォン側で“MDV-S810F”、“MDV-S810L”、“MDV-S710W”、または“MDV-S710”を選ぶ

6 デバイス名とパスキーを確認する

7 [Bluetooth テザリング] をタッチしてチェックを付けて［はい］をタッチする

スマートフォンがテザリング接続され、インターネットに接続しているときに音楽 CD を挿入すると、楽曲情報データベースから音楽 CD の情報が取得されて表示されます。

- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。
- 以下の場合は、95 ページの「楽曲情報を取得/変更する」をご覧ください。
  - 音楽 CD の楽曲情報が自動で取得できない場合
  - 自動で引き当てられた音楽 CD の楽曲情報を変更したい場合
  - 録音した曲の楽曲情報を取得する場合

楽曲情報を取得 / 変更する

1 ソースを切り替えて、AV 画面を表示する

■ 音楽 CD の楽曲情報を取得 / 変更する

ソースを「DISC」に切り替え、AV 画面を表示して楽曲情報を取得したい CD を再生します。

■ 録音した曲の楽曲情報を取得する

ソースを「SD」または「内蔵メモリ」に切り替え、AV 画面を表示して楽曲情報を取得したい曲を再生します。

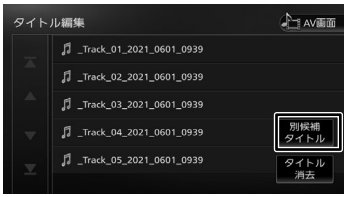
2 [表示] をタッチしてサブ機能ボタンを表示する

内蔵メモリ画面例

3 [タイトル検索]（DISC の場合）または [タイトル編集]（SD/ 内蔵メモリの場合）をタッチする

内蔵メモリ画面例

4 [別候補タイトル] をタッチする



[タイトル消去]：

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルが消去されます。

5 [楽曲情報取得] をタッチする

6 取得したい楽曲情報をタッチする

アルバム内の取得した楽曲情報が入ったリストが表示されます。

マルチ AV ブラウザを使う

画面の見かたと操作

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。

USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリーデータベースを作成する必要があります。(➔ P.87)

- カテゴリーデータベースを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリーデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。

ここまでの手順
ソースをマルチ AV ブラウザに切り替える (➔ P.78)

① 曲名
アルバム名
アーティスト名
アルバムアート画像
② 再生時間
③ 音声形式または映像形式
④ シークバー
⑤ ランダム再生モード
⑥ リピート再生モード
⑦ 再生状態
⑧ 再生残り時間
⑨ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/II]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次の曲を再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・🔀 OFF： ランダム再生モードを解除します。 ・🔀 曲： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 ・🔁 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

リストから曲またはビデオを再生する

1 ［トップ］または［リスト］をタッチする

① **ソース切替：**
SD、USB、内蔵メモリそれぞれタッチするたびに表示するかしないかを選択できます。

② **カテゴリー：**
アーティスト / アルバム / 楽曲 / ジャンルから選択できます。

③ **アルバムアート画像：**
情報にアルバムアートがある場合に表示されます。

④ **曲またはビデオファイル**

⑤ **スクロールバー（表示のみ）**

⑥ **ビデオリストに切り替える**

⑦ **曲リストに切り替える**

2 ［MUSIC］または［VIDEO］をタッチする

3 表示するソースを選択する

4 再生したいカテゴリーを選んで、ファイルを選ぶ

CD・オーディオファイルディスクを再生する

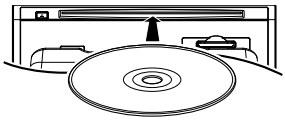
ディスクを入れる / 出す

ディスクを入れる

■ MDV-S810F

1 フロントパネルを手前に十分倒す

2 ディスクを挿入する



ソースが「DISC」に切り替わります。

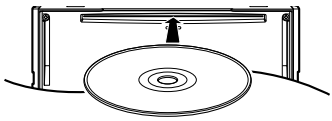
3 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-S810L/MDV-S710W/ MDV-S710

1 【▲】（オープンキー）を押す

2 [DISC] をタッチする

3 ディスクを挿入口に入れる

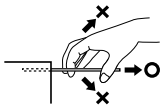


フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

ディスクを取り出す

- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

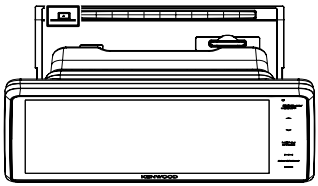


■ MDV-S810F

⚠
- **必ずフロントパネルを十分に倒してから、ディスクを取り出してください。フロントパネルの倒しかたが不十分な場合、ディスクがぶつかり取り出せないことがあります。**

1 フロントパネルを手前に十分倒す

2 【▲】（イジェクトキー）を押す



ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

4 フロントパネルを元に戻す

■ MDV-S810L/MDV-S710W/ MDV-S710

1 【▲】（オープンキー）を押す

2 [DISC] をタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

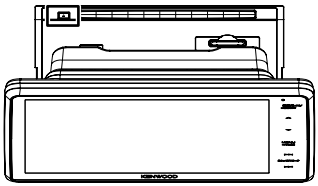
3 ディスクを取り出す

ディスクを取り出せないときは

■ **MDV-S810F**

1 フロントパネルを手前に十分倒す

2 【▲】（イジェクトキー）を押し続ける



ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

4 フロントパネルを元に戻す

■ **MDV-S810L/MDV-S710W/ MDV-S710**

1 【▲】（オープンキー）を押し続ける

2 [はい] をタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順

ソースを DISC に切り替える（➜ P.78）

オーディオファイルディスク画面例

① ディスクの種類

② 音楽 CD：

♫ トラック番号

オーディオファイルディスク：

♫ 曲名（ファイル名）

アルバム名（フォルダ名）

アーティスト名

アルバムアート画像

③ 再生時間

④ ファイル形式（オーディオファイルディスクのみ）

⑤ シークバー

⑥ ランダム再生モード

⑦ リピート再生モード

⑧ 再生状態

⑨ 再生残り時間

⑩ トラック番号 / 全曲数（ファイル番号）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。 (➔ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶/II]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[録音] (音楽CDのみ)	現在の音楽CDを内蔵メモリまたはSDカードに録音します。 (➔ P.88) [録音停止]をタッチすると、録音を停止します。
[−] / [+] (オーディオファイルディスクのみ)	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 ・[トップ]（オーディオファイルディスクのみ）： 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・[一つ上]（オーディオファイルディスクのみ）： 1つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示]をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の[閉じる]でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル検索] (音楽CDのみ)	Gracenote音楽認識サービスで使用します。(➔ P.94)
[録音設定] (音楽CDのみ)	本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音するときの設定をします。(➔ P.88)
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ・🔀 OFF： ランダム再生モードを解除します。 ・🔀 ALL（音楽CDのみ）： アルバム内の曲をランダム再生します。 ・🔀 フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 ALL:： すべての曲をくり返し再生します。 ・🔁 1： 再生中の曲をくり返し再生します。 ・🔁 フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- 本機では、音楽 CD を再生しながら、本機の内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音することができます。(➔ P.88)

DVD を再生する

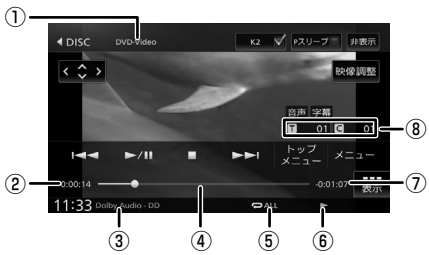
画面の見かたと操作 (DVD ビデオ /DVD-VR)

DVD を再生します。
ディスクの出し入れについては、98 ページをご覧ください。

ここまでの手順
ソースを DISC に切り替える（➔ P.78）

DVD ビデオを再生する

DVD の再生画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ディスクの種類**
② **再生時間**
③ **音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **リピート再生モード**
⑥ **再生状態**
⑦ **再生残り時間**
⑧ **タイトル番号 / チャプター番号**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(➔ P.79)
‹ ^ ›	カーソルを表示します。(➔ P.104)
[▶/II]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[■]	再生を停止します。[▶/II] をタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に [■] をタッチするとディスクの先頭に戻り、[▶/II] をタッチすると先頭から再生します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは［表示］をタッチします。

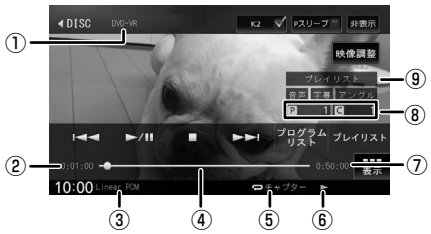
サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。(➔ P.104)このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 ALL: : すべてのチャプターをくり返し再生します。 ・🔁チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ・🔁タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD-VR を再生する

DVD-VR の再生画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ディスクの種類**
② **再生時間**
③ **音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **リピート再生モード**
⑥ **再生状態**
⑦ **再生残り時間**
⑧ **プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号**
⑨ **再生リスト**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(➔ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(➔ P.79)
[▶/II]	再生または一時停止(ポーズ)します。
[■]	再生を停止します。 [▶/II] をタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に [■] をタッチするとディスクの先頭に戻り、[▶/II] をタッチすると先頭から再生します。
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。
[I◀◀] / [▶▶I]	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは［表示］をタッチします。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVDの設定をします。(➔ P.104)
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・🔁 ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 ・🔁チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ・🔁プログラム : 再生中のプログラムをくり返し再生します。 ・🔁プレイリスト : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面をタッチする

2 [表示] をタッチする

3 ‹ ^ › をタッチする

4 各ボタンをタッチして操作する

[非表示]：
操作ボタンを消します。

‹ / › / ˅ / ^：
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン]：
ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

[決定]：
選択中の項目を実行します。

- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目を直接タッチして操作できます。

DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 サブ機能ボタンの [DVD 設定] をタッチする

2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー / トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド＞ノーマル＞ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

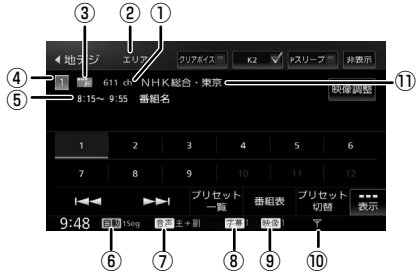
- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

地デジを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを地デジに切り替える（➜ P.78）

地デジ画面は、画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの［閉じる］をタッチしてサブ機能ボタンを閉じると以下の画面になります。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **チャンネル番号**
② **プリセットモード**
③ **サービスのロゴ**
④ **プリセット番号**
⑤ **放送時間、番組名**
⑥ **受信モード**
⑦ **音声の種類**
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
⑧ **字幕の種類**
字幕を選択しているときに表示されます。
⑨ **映像の種類**
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。
⑩ **電波の強さ**
⑪ **受信している放送局名またはサービス名**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［クリアボイス］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
［K2］	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.79）
［Pスリープ］	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.79）
［非表示］	操作ボタンを消します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。（➜ P.79）
［1］～［12］（プリセットチャンネルボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
［⏮］/［⏭］	前または次のプリセット局を選局します。
［プリセット一覧］	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
［番組表］	番組表を表示します。（➜ P.107）
［プリセット切替］	プリセットモード（エリア / ホーム / お出かけ）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。（➜ P.107）
［表示］	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
［受信モード切替］	受信モードを切り替えます。 自動： 自動受信モード（1Seg または 12Seg）に切り替えます。 固定 12Seg： 12 セグ固定モードに切り替えます。 固定 1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。
［音声切替］	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
［字幕切替］	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
［映像切替］	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
［地デジ設定］	地デジ設定画面を表示します。 （➔ P.109）
［閉じる］	サブ機能ボタンを消します。

- 12 セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12 セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は 5.1ch サラウンドには対応しておりません。音声は 2ch で出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の 3 つのモードがあります。

■ エリア

エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

■ ホーム / お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺では ホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1 ［プリセット切替］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 ［プリセット切替］をタッチして、［ホーム］または［お出かけ］に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

2 ［プリセット一覧］をタッチする

3 ［初期スキャン］をタッチする

4 現在地の都道府県をタッチする

5 ［はい］をタッチする

受信できる放送局を検索し、登録されます。

- ［再スキャン］は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大８日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 ［番組表］をタッチする

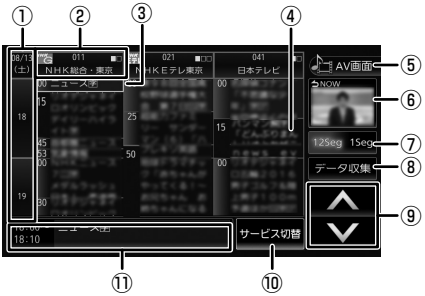
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

番組表が表示されます。

- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］をタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。



① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。

② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。

③ **フォーカス：**
緑色の枠で表示されます。

④ **現在視聴中の番組：**
背景が青色で表示されます。

⑤ **[AV 画面]：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。

⑥ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。

⑦ **[12Seg] / [1Seg]：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑧ **[データ収集]：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。

⑨ **[へ] / [へ]：**
フォーカスを移動します。

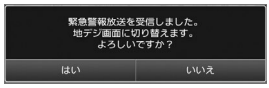
⑩ **[サービス切替]：**
マルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。

⑪ **番組詳細：**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急警報放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



[はい]：
緊急警報放送に切り替わります。

- 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の［中継局 / 系列局サーチ］で設定できます。［中継局 / 系列局サーチ］を「自動切替 (中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 ［表示］をタッチする

2 ［地デジ設定］をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

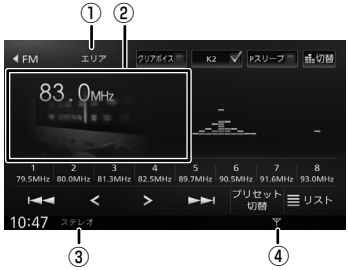
項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨 */ 12Seg を優先 / 切替頻度を低減	受信モードを［自動］に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替（中継局）/ 自動切替（中継局＋系列局）*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 */ 第二言語 /	表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	
番組表文字サイズ	小 / 中 */ 大	番組表の文字のサイズを選ぶことができます。

*：お買い上げ時の設定です。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを AM または FM に切り替える（➜ P.78）



① プリセットモード
② プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名
③ ステレオ受信表示
④ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［クリアボイス］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
［K2］	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.79）
［Pスリープ］	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.79）
［切替］	画面のデザインが切り替わります。
［1］～［8］（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
［＜］/［＞］	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します（マニュアル選局）。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
［⏮］/［⏭］	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1/ お気に入り 2）を切り替えます。(➔ P.110)
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。(➔ P.110)

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。
エリアモードで選択できる放送局は、[リスト] をタッチすると表示できます。(➔ P.110)

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。
(➔ P.110)

1 [プリセット切替] をタッチする

タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 →お気に入り 2 →エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 [プリセット切替] をタッチして、エリアモードに切り替える

2 [リスト] をタッチする

3 受信する放送局をタッチする

1 ～ 8 ：プリセットボタンにプリセットされている放送局
A局 ：コミュニティ FM 局

・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。(➔ P.109)

2 [プリセット切替] をタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える

3 登録先のプリセットボタン（[1] ～ [8]）を 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを交通情報に切り替える（➔ P.78）

① 周波数
② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を 1620kHz または 1629kHz に手動で切り替えます。

- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

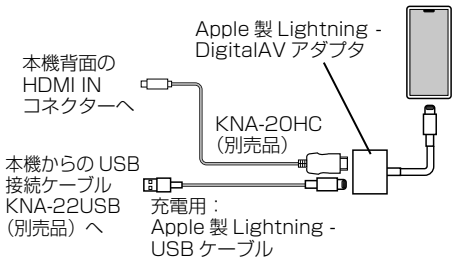
HDMI 出力機器を接続する

接続のしかた

本機に HDMI 出力機器を接続します。
HDMI 機器の接続には、HDMI 接続ケーブル KNA-20HC（別売品）が必要です。
上記以外の HDMI 接続ケーブルでは接続できません。

■ iPod/iPhone の場合

iPod/iPhone の場合は以下のように接続してください。



- iPod/iPhone を Lightning - Digital AV アダプタを使用して HDMI 接続ケーブル接続しているときは、iPod ソースでは音声が出力されません。上記の接続状態のまま音声を聞きたい場合は、iPod/iPhone を Bluetooth 接続の上、Bluetooth Audio ソースに切り替えてください。iPod ソースで再生音を聞きたい場合は、Lightning - Digital AV アダプタを外して接続しなおしてください。(➔ P.81)
- Lightning - Digital AV アダプタおよび Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

画面の見かたと操作

本機に接続した HDMI 機器の映像を視聴します。

ここまでの手順
ソースを HDMI に切り替える（➜ P.78）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.79）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.79）
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。（➜ P.79）

MEMO

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］をタッチする

2 項目をタッチする

■ 情報

［VICS］：
FM VICS、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(➜ P.117)

［接続］：
本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(➜ P.37)

［バージョン］：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(➜ P.138)

［ETC］：
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(➜ P.200)

［ECO］：
車の ECO ドライブ情報を表示します。(➜ P.120)

■ 設定

［ナビ］：
ナビゲーションに関する設定を行います。(➜ P.121)

［サウンド］：
サウンドに関する設定を行います。(➜ P.127)

［システム］：
システムに関する設定を行います。(➜ P.133)

［外部機器］：
外部機器を接続するときの設定を行います。(➜ P.137)

［登録地点編集］：
登録地点を編集します。(➜ P.76)

［MapFan 連携］：
本機の MapFanAssist 機能を使用するときの設定を行います。(➜ P.153)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
  情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易図形型情報）**
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）、光ビーコンと ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。

- ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の ETC2.0 車載器が必要です。(➜ P.176)
- 光ビーコン情報を取得するには、本機に接続する ETC2.0 車載器が高度化光ビーコンまたは光ビーコンに対応している必要があります。(➜ P.176)

VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

■ FM 多重放送

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、建造物や地形などの影響で電波の屈折や反射が生じることで起こる電波障害などによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM 放送時間外は利用できません。

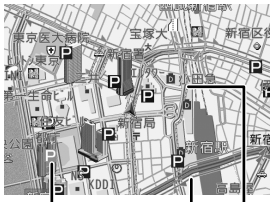
■ 光ビーコン

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合は受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている
- 受信状況によっては、対向車線の光ビーコンを受信してしまうことがあります。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

統計情報による渋滞線（点線）
薄赤色：渋滞
薄橙色：混雑
薄青色：順調

渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

気象・災害情報エリアの表示

気象・災害情報エリア
気象・災害情報の対象エリアを、情報に応じて赤色または黄色で表示します。

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め閉鎖	大型通行止め	障害物路上障害	チェーン規制
故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限
火災	凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止
片側交互通行	駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場不明	SA・PA閉鎖	SA・PA混雑	SA・PA空き	SA・PA満車
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色	背景赤色
SA・PA不明	その他の規制	工事	徐行	速度規制
背景黒色				
対面通行	作業	気象情報	災害情報	災害情報

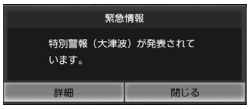
- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。
- 気象・災害情報エリアを受信した場合、地図の縮尺によっては地図画面全体が赤色または黄色で表示されることがあります。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。

- 緊急情報表示は［戻る］をタッチすると消えます。
- 注意警戒情報表示は［戻る］をタッチする、または約 15 秒経過すると消えます。

■「VICS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



［詳細］：
タッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

［閉じる］：
タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。

［詳細］：
上記の VICS 詳細情報を表示します。

［上位置］/［下位置］：
表示を画面上部または下部に移動させます。

［切替］：
複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

［閉じる］：
割り込み表示を消します。

地図上の VICS 情報を見る

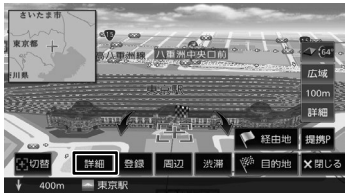
地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークをタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。

［切替］：
複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

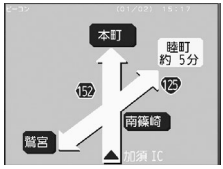
2 ［詳細］をタッチする



VICS の詳しい情報が表示されます。

簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示

光ビーコンから受信した簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報は、地図画面に割り込み表示されます。



▼ / ▲：
表示ページを切り替えます。

［図形］/［文字］：
文字型（レベル 1）情報と簡易図形型（レベル 2）情報の表示を切り替えます。

- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（設定画面や AV 画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- FM 多重放送で受信した文字情報および簡易図形型情報は、現在地図画面の［渋滞］をタッチするか、または情報・設定画面（➔ P.114）からご覧ください。
- 文字情報、簡易図形型情報が割り込み表示をしないように設定することができます。（➔ P.119）
- 割り込み表示時間は設定することができます。（➔ P.119）
- ここです案内、交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

ETC2.0 割り込み表示

本機に対応の ETC2.0 車載器（➔ P.176）を接続している場合、ITS スポットからデータを受信し、指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。）音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。
対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報

▼：表示ページを切り替えます。

［再生］/［停止］：
音声情報を再生または停止します。

- ETC2.0 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。（➔ P.119）
- 割り込み表示の時間を設定することができます。（➔ P.119）
- 音声情報を再生中は、設定した割り込み表示の時間を過ぎても表示し続けます。
- ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［VICS］をタッチする

2 表示したい情報をタッチする

［FM 図形情報］/［FM 文字情報］：
FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

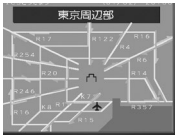
［ビーコン図形情報］/［ビーコン文字情報］：
ビーコン VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

［ETC2.0 割り込み情報］：
ETC2.0 車載器で受信した割り込み情報を表示します。（➔ P.118）

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示

番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報



▼ / ▲：1 つ前または次の情報に切り替えます。

■ 文字情報

▼ / ▲：1 つ前または次の情報に切り替えます。

ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示

■ 図形情報

▼ / ▲：表示ページを切り替えます。
[文字]：ビーコン VICS 文字情報に切り替えます。

■ 文字情報

▼ / ▲：1 つ前または次の情報に切り替えます。
[図形]：ビーコン VICS 図形情報に切り替えます。

ETC2.0 割り込み情報

▼ / ▲：1 つ前または次の情報に切り替えます。
[再生] / [停止]：
音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局：
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局：
  FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［VICS］をタッチする

2 ［VICS FM 選局モード］をタッチする

3 ［自動］をタッチしてチェックを付ける

4 ［閉じる］をタッチする

手動で選局する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［VICS］をタッチする

2 ［VICS FM 選局モード］をタッチする

3 ［自動］をタッチしてチェックを外す

4 ◀ または ▶ をタッチして受信周波数を設定する

5 ［閉じる］をタッチする

VICS 情報の表示設定をする

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 設定する交通情報の項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	−	VICS 情報の表示内容について設定します。「VICS 情報表示を設定する」（➔ P.119）をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した簡易図形型（レベル 2）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
文字情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した文字型（レベル 1）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した優先情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能のオン / オフを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

- 別売の本機対応の ETC2.0 車載器については 202 ページの「ETC2.0 車載器の接続設定をする」をご覧ください。

■ VICS 情報表示を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 ［VICS 情報表示］（交通情報）をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

- 表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目をタッチすると、選択が解除されます。
- ［表示オフ］をタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

現在地図画面、INFO/AV画面(➔ P.51) でECOドライブ情報を見ることができます。

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100 点満点で表示されます。
e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ＥＣＯ］をタッチする

ECO 情報画面が表示されます。

◀ / ▶ :
現在表示されている情報の 1 日前 / 1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ]:
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート:**
  停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速:**
  加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速:**
  減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度:**
  一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

■ ECO レシオを表示する

燃費度合グラフを表示します。

1 ［ECO レシオ］をタッチする

ECO レシオ画面が表示されます。

◀ / ▶ :
グラフ表示を 1 日分スクロールします。

[ECO 判定モード]:
ECO 度の判定のモード（ソフト / ノーマル / ハード）を設定します。
ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。（お買い上げ時は［ノーマル］に設定されています）

[ECO データ消去]:
過去の ECO データを消去します。
確認のメッセージで［はい］をタッチすると、ECO データが削除されます。

- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	**地図色:** 1/2* / ダークモード **文字サイズ:** 小 / 中* / 大 **地図色昼夜切替:** 昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動*	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(➔ P.124)
ランドマーク表示	−	地図に表示するランドマークを設定します。(➔ P.125)
登録地点表示	−	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーをタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。［表示オフ］をタッチするとすべて表示しません。
自車マーク	*/ /	自車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(➔ P.125)
走行軌跡を消去	−	記憶されている走行軌跡を消去します。(➔ P.125)
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	地図の向きを設定します。
地図の向き(子画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	地図子画面の地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
ワンタッチルーペ	ON*/OFF	自車マークをタッチしたときに、自車マークの周りの地図を拡大して表示するかどうかを設定します。(➔ P.47)
市街地図の表示縮尺	50m以下 /100m以下*	市街地図の表示縮尺を設定します。
盗難多発地点表示	ON*/OFF	盗難多発地点を表示するかどうかを設定します。縮尺が200m以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分して表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示するかどうかを設定します。 ・縮尺が200m以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 ・冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
ゾーン30エリア表示	ON*/OFF	ゾーン30エリア（30キロ規制区域）を表示するかどうかを設定します。縮尺が300m以下の地図表示のとき、ゾーン30エリアを青紫色で表示します。(➔ P.47)
マップコード表示	ON/OFF*	スクロール画面にマップコードを表示するかどうかを設定します。(➔ P.52)
緯度・経度表示	ON/OFF*	スクロール画面に緯度・経度を表示するかどうかを設定します。(➔ P.52)

項目	設定	説明
3Dポリゴンランドマークの半透過表示	ON*/OFF	3Dビューにて3Dポリゴンランドマークを半透過にするかどうかを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

● 案内

項目	設定	説明
案内中の音量調整	ON/OFF*	[ON] に設定すると音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができるようになります。
案内音声の音量	1 ～ 25* ～ 40	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時またはVICS情報の案内時に、音声を出力するかどうかを設定します。
合流/踏切/車線案内音声の出力	常にOFF：音声を出力しません。 ルート案内時のみON： ルート案内時のみ、音声を出力します。 常にON*：音声を出力します。	
一時停止の音声案内	一時停止の情報のある交差点の手前で音声案内をするかどうかを設定します。(➔ P.71) 常にOFF：音声を出力しません。 ルート案内時のみON：ルート案内時のみ、音声を出力します。 常にON*：音声を出力します。	
一時停止の表示	一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンを表示するかどうかを設定します。 (➔ P.46) 常にOFF：表示しません。 ルート案内時のみON： ルート案内時のみ、表示します。 常にON*：表示します。	
ETC音声の出力 [1]	ON*/OFF	対応ETC車載器を接続しているときに、ETC音声を出力するかどうかを設定します。
ETC料金の表示 [1]	ON*/OFF	対応ETC車載器を接続しているときに、ETC通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。

項目	設定	説明
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(➔ P.46)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。(➔ P.46)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(➔ P.68)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(➔ P.68)
ここです案内表示	ここです案内の表示を設定します。(➔ P.68) OFF：表示しません。 一般道のみON*：一般道のみ表示します。 ON：表示します。	
ここです案内の自動消去	ON*/OFF	[ON] に設定すると案内ポイントの50m手前（高速道路では300m手前）で、ここです案内を消去します。交差点案内図の表示が [ON] に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。
ETCレーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときにETCレーン案内を表示するかどうかを設定します。(➔ P.69)
信号情報案内 (TSPS) の表示 [2]	ON*/OFF	信号情報案内 (TSPS) をするかどうかを設定します。(➔ P.204)
盗難多発地点音声案内	ON*/OFF	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。(➔ P.71)
AV画面時の案内割り込み	ON*/OFF	AV画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
バーチャルルームミラー時の地図割り込み [3]	ON*/OFF	バーチャルルームミラー表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。(➔ P.195)

*：お買い上げ時の設定です。
[1] 別売の本機対応 ETC 車載器または本機対応の ETC2.0 車載器が接続されているときに設定できます。
[2] 別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続しているときに設定できます。
[3] 別売のドライブレコーダー（DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940B）または別売のリアビューカメラ（CMOS-C320、CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-230W、CMOS-230）を接続しているときに使用します。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(➔ P.64)
マイルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルート 1 ～ 3 に設定することができます。(➔ P.126)	
スマートIC/ETC専用入口考慮	ON/OFF*	スマート IC および ETC 専用入口を利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。
到着予想時刻用の平均速度	**一般道：** 20 ～ 30* ～ 80km/h **有料道：** 20 ～ 60* ～ 120km/h **高速道：** 20 ～ 80* ～ 120km/h	一般道路、有料道路（都市高速含む）、または高速自動車国道走行時の到着予想時刻を計算する平均速度を設定します。(➔ P.127)
到着予想時刻用の平均速度初期化	全ての到着予想時刻用の平均速度をお買い上げ時の設定状態に戻します。(➔ P.127)	

*：お買い上げ時の設定です。

・ スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● 交通情報

項目	説明
VICS 情報表示	この設定については、「VICS 情報の表示設定をする」(➔ P.119) をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0 アップリンク	

● その他

項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ	この設定については、170 ページの「NaviCon で探す」をご覧ください。	
車両ナンバー	軽 / 5・7*/ 3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。(➔ P.38)
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(➔ P.124)	
地図更新プログラム	地図の更新用の SD カードを作成します。(➔ P.138)	
オービス更新プログラム	オービスの更新用の SD カードを作成します。	

*：お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［地図色 / 文字サイズ］（地図）をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

地図色：
地図色を設定します。
文字サイズ：
小、中、大から文字サイズを設定します。
地図色昼夜切替：

- ［自動］：
  「ディマー」（➔ P.134）で設定した連動方法に応じて自動的に地図色を切り替えます。
  ディマー設定が OFF のとき：
  常に昼色の地図を画面に表示します。（昼画面）
  ディマー設定が ON のとき：
  常に夜色の地図を画面に表示します。（夜画面）
  ディマー設定がイルミ連動のとき：
  車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)
  ディマー設定が時刻連動のとき：
  日の出または日の入り時刻の前後で３段階の色の地図を表示します。
- ［昼色に固定］：
  常に昼色の地図を画面に表示します。(昼画面)
- ［夜色に固定］：
  常に夜色の地図を画面に表示します。(夜画面)

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

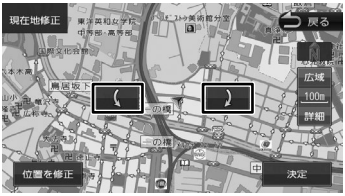
1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［現在地修正］（その他）をタッチする

地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）

3 ［向きを修正］をタッチする

4 ◀ または ▶ をタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）



5 ［決定］をタッチする

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(➔ P.47)
- 手順５で［決定］をタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］をタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［走行軌跡の表示］（地図）をタッチする

走行軌跡を消去する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［走行軌跡を消去］（地図）をタッチする

2 ［はい］をタッチする

- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を［OFF］に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［ランドマーク表示］（地図）をタッチする

2 設定するパターンをタッチする

3 表示するランドマークのジャンルの［選択］をタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。

各ジャンル内を施設別に選択したい場合は、ジャンル名をタッチすると表示される詳細リストの施設名にタッチしてチェックマークを付けます。

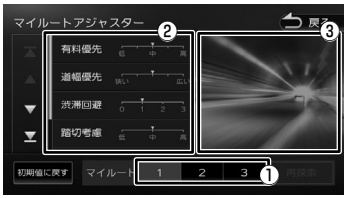
表示させたいパターン(1 ～ 3)にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

- ［表示オフ］にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。
- 駐車場、宿泊、トイレは、施設別の選択はできません。

ルート探索の条件を設定する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［マイルートアジャスター］（探索）をタッチする

2 探索条件を登録したいマイルート１～３のいずれかをタッチして（①）設定したい項目をタッチして（②）調整する（③）



設定できる項目は以下のとおりです。

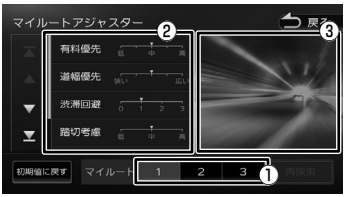
項目	設定	説明
有料優先	低～中*～高（5 段階）	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～広い（5 段階）	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は［狭い］と［広い］の中間です。
渋滞回避	0～1*～3（4段階）	0：渋滞回避しません。 1：渋滞回避を多少優先する。 2：渋滞回避を優先する。 3：渋滞回避を積極的に優先する。
踏切考慮	低～中*～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走ったルートをナビが学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。［学習の初期化］をタッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

*：お買い上げ時の設定です。

■ 案内開始画面から［マイルートアジャスター］機能を使う

1 ［マイルートアジャスター］をタッチする

2 探索条件を登録したいマイルート１～３のいずれかをタッチして（①）設定したい項目をタッチして（②）調整する（③）



3 ［再探索］をタッチする

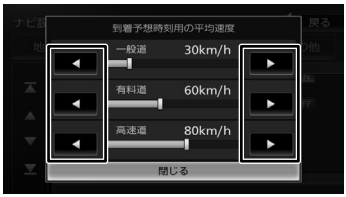
ルートを再探索します。

到着予想時刻用の平均速度を設定する

目的地や経由地への到着予想時刻の計算に使う平均速度を設定します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［到着予想時刻用の平均速度］（探索）をタッチする

2 ［◀］または［▶］をタッチして、一般道路、有料道路、高速道路の平均速度を変更する



［一般道］：
一般道路走行時の到着予想時刻を計算する平均速度（20 ～ 80km/h）を設定します。

［有料道］：
高速自動車国道以外の有料道路（都市高速含む）走行時の到着予想時刻を計算する平均速度（20 ～ 120km/h）を設定します。

［高速道］：
高速自動車国道走行時の到着予想時刻を計算する平均速度（20 ～ 120km/h）を設定します。

3 ［閉じる］をタッチする

到着予想時刻用の平均速度を初期化する

目的地や経由地への到着予想時刻の計算に使う平均速度を初期化します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］▶［到着予想時刻用の平均速度初期化］（探索）をタッチする

メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- サウンドの設定はAVソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（STANDBY）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中、発信、着信中やスマートフォン音声認識機能を使用中は、「バランス / フェーダー」以外のサウンドの設定はできません。
- パッセンジャースリープ機能がオンのときはサウンドの設定はできません。（➔ P.79）

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］をタッチする

2 設定する項目をタッチする

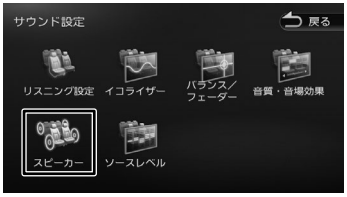
設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。（➔ P.129）
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。（➔ P.131）
バランス / フェーダー	◀ または ▶ をタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ をタッチして前後のバランスを調整します。 ［センターに戻す］： 左右 / 前後ともに中央になります。
音質・音場効果	音響効果を設定します。（➔ P.132）
スピーカー	スピーカーの構成を設定します。（➔ P.128）
ソースレベル	各AVソースの音量をそろえます。（➔ P.133）

車両タイプを設定する

車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質が設定されます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［スピーカー］をタッチする



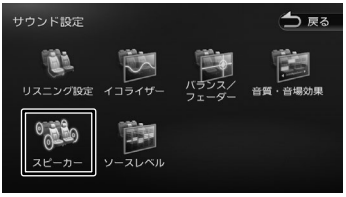
2 ［車両タイプ］をタッチする

3 車両タイプを選んでタッチする

スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。

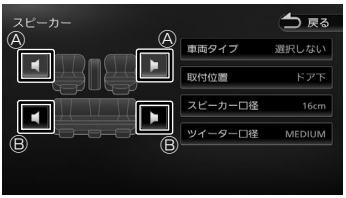
1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［スピーカー］をタッチする



2 ［車両タイプ］をタッチする

3 車両タイプを選んでタッチする

4 設定するスピーカーをタッチする



Ⓐ : フロントスピーカー
Ⓑ : リアスピーカー

5 各項目をタッチして設定する

［取付位置］：
スピーカーの位置を設定します。

［スピーカー口径］：
スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

［ツイーター口径］：
ツイーターの口径を設定します。

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。
リスニング設定には2つの設定方法があります。
2つ同時に設定することはできません。

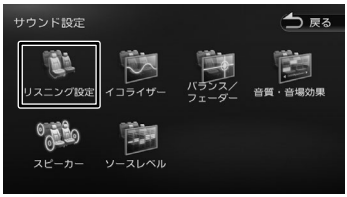
リスニングポジション：
設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

フロントフォーカス：
仮想の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合は「左側優先」を選んでください。

- リスニング設定はスピーカー構成の設定（➔ P.128）で車両タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。
- スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を［なし］に設定している場合は、リアスピーカー調整ができません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［音像左右（主調整）］の［リアを出力しないで調整］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を［なし］に設定している場合はタッチできません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［仮想音場の広さ］と［音像左右（微調整）］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を［なし］に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカスを調整するときに表示される画面は、［閉じる］をタッチすると画面を閉じることができます。

1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する（➔ P.128）

2 ［リスニング設定］をタッチする



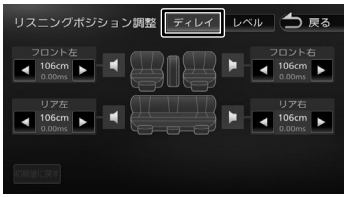
3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席をタッチする

選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

リスニングポジションを微調整する

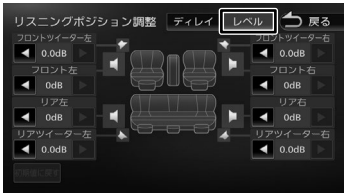
1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［リスニング設定］▶［調整］をタッチする

2 ［ディレイ］をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして実際に測った距離を設定する



リスニングポジションを［全ての座席］または［前の両座席］に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

3 ［レベル］をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する



フロントフォーカスの微調整をする

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［リスニング設定］▶［調整］をタッチする

2 ［ディレイ］をタッチして下記の順で各項目を設定する

［音像左右（主調整）］をタッチする

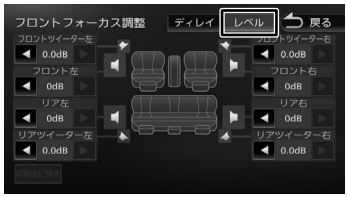
［リアを出力しないで調整］にチェックが付いている状態で、◀ または ▶ をタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。
次に［リアを出力しないで調整］をタッチしてチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は ◀ または ▶ をタッチして調整してください。

▼

［仮想音場の広さ］をタッチする

音を聞きながら ◀ または ▶ をタッチしてお好みの広さのイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは［音像左右（微調整）］で微調整してください。

3 ［レベル］をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する



設定した値を初期設定に戻す

［初期値に戻す］をタッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチするとディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

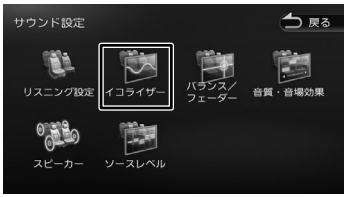
プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

- ［クリアボイス］がオンになっているソース（FM、AM、地デジ、または交通情報）を選択中は、イコライザーの設定はできません。

1 設定したいソースを選ぶ

2 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［イコライザー］をタッチする



3 ［プリセット選択］をタッチする

4 設定したいプリセットイコライザー（ジャンル）をタッチする

手順1で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［イコライザー］をタッチする

3 画面を指でなぞる

［フラット］：
すべての周波数帯域をフラットにします。

- 調整したい周波数を選んでタッチし、▲または▼をタッチしてレベルを設定することもできます。

4 ［ノーマル EQ］または［ナチュラル EQ］をタッチする

［ノーマル EQ］：
一般的なイコライザーモードです。各周波数帯域に“やま”があるイコライザーカーブになります。

［ナチュラル EQ］：
各周波数帯域の“やま”を補正するイコライザーモードです。スライダーの並び方に近い形のイコライザーカーブになります。

調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの USER1 ～ 4 に保存できます。

1 イコライザーカーブを調整する

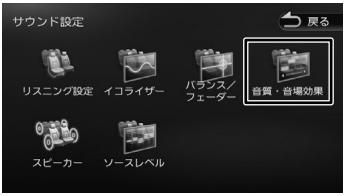
2 [USER プリセット保存] をタッチする

3 保存先をタッチする

音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［音質・音場効果］をタッチする



2 各項目を調整する

設定できる項目は以下のとおりです。

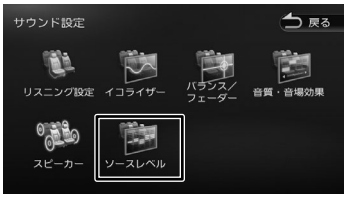
項目	設定	説明
ミュージックバスブースト	OFF/1*/2/3	低音楽器の音を増強するレベルを設定します。
ナチュラルラウドネス	OFF/LOW*/HIGH	音量に応じて低域高域のバランスを保ち、小音量時でも自然に聞こえるように低音と高音を補正します。録音レベルが大きい曲の場合は LOW、小さい曲の場合は HIGH が適しています。
Drive Equalizer +	OFF ～ 7* ～ 9	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
K2テクノロジー	OFF/ON*	録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。(➔ P.79)
リアライザー	OFF/1*/2/3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティのある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サウンドライザー	OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

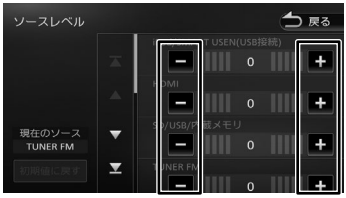
ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［サウンド］▶［ソースレベル］をタッチする



2 現在のソースの［−］または［+］をタッチして、音量を調整する



・「iPod」と「SMART USEN」は接続方法別に調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］をタッチする

2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる */ 消音	音声案内時の AV ソースの音量を設定します。
リバース時の AV 音量ダウン	ON*/OFF	バックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時に AV の音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。
ゴールオートボリューム	ON/OFF*	目的地の残り距離、および自宅近くの距離に応じて音量を自動で下げていきます。(➔ P.136)
楽曲情報自動取得	ON*/OFF	Gracenote 音楽認識サービスを使用し、楽曲を自動取得するかどうかを設定します。

● 表示

項目	設定	説明
ディマー	OFF/ ON/ イルミ連動 */ 時刻連動	ディマー（自動輝度設定）の連動方法を設定します。 OFF：昼画面固定になります。 ON：夜画面固定になります。 イルミ連動： 車両のライトスイッチに連動します。 時刻連動： 日の入り、日の出時間に連動します。
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。 映像表示中以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面表示を消しているときに、時計を表示するかどうかを設定します。 画面表示を消しているとき以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。
視野角 [1]	-3 ～ 0*	フロントパネルの視野角を設定します。 (➔ P.36)

● 車両

項目	設定	説明
オートアンテナ	あり / なし *	オートアンテナを装着している場合に設定します。(➔ P.39)
ステアリングリモコン	車両のステアリングリモコンで本機を操作できるように設定します。 (➔ P.40) お買い上げ時は、［なし］に設定されています。	
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。(➔ P.40)	
ハンドル	パッセンジャースリープ機能で運転席の場所を把握するために設定します。 (➔ P.39)	

● 一般

項目	設定	説明
操作音の出力	ON*/OFF	操作音を出力するかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	カスタムメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。(➔ P.25)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。(➔ P.42)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。 (➔ P.43)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。 (➔ P.43)	
セキュリティインジケーター	ON/OFF*	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。(➔ P.43)
リフレッシュ通知	ON*/OFF	休憩を促す音声案内をするかどうかを設定します。(➔ P.71)
日没ライト案内 / 警告音声案内	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をするかどうかを設定します。 (➔ P.71)
日没ライト案内 / 警告表示	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示するかどうかを設定します。 (➔ P.46)
SD カード初期化	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。	
音声操作	ON*/OFF	音声操作機能を起動させるかどうかを設定します。(➔ P.29)
VOICE キー登録	音声操作 */ スマートフォンの音声認識	【MENU】(➔ P.22) を長押ししたときの VOICE キーの割り当てと、ステアリングリモコンに割り当てられる機能 (➔ P.41) を設定します。

● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス		ライセンスを表示します。
ユーザー切替		一部の設定を2ユーザー分保持することができます。(➔ P.26)
設定データの書き出し		設定をSDカードに保存します。(➔ P.136)
設定データの読み込み		書き出した設定データを本機に読み込みます。(➔ P.136)
システムの初期化		ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(➔ P.135)

*:お買い上げ時の設定です。
[1] MDV-S810Fのみ

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- 暗証番号
- 内蔵メモリ/SDカードに録音した曲

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］▶［システムの初期化］(特別)をタッチする**

メッセージが表示されます。

2 **［はい］をタッチする**

設定を SD カードに保存する

本機の設定を SD カードに保存（書き出し）することができます。
次の項目は、SD カードに保存（書き出し）できない項目です。

- センサーの学習データ
- 録音データ
- MapFan 会員サービスの ID/ パスワード
- 暗証番号
- ステアリングリモコン設定 (ステアリングリモコン学習内容を含む)
- Bluetooth テザリング設定
- 車両メンテナンス設定

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- 走行軌跡データ /ECO データ / 目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth 機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴 / プリセットダイヤル
- ナビのデバイス名 (Bluetooth)

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］▶［設定データの書き出し］（特別）をタッチする**

メッセージが表示されます。

2 **［はい］をタッチする**

SD カードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］▶［設定データの読み込み］（特別）をタッチする**

メッセージが表示されます。

2 **［はい］をタッチする**

読み込みが終了すると自動で再起動します。

ゴールオートボリュームを設定する

目的地の残り距離、または自宅近くの距離が最大約 700m 手前から音量が「5」になるまで徐々に下げていきます。お買い上げ時は［OFF］に設定されています。
また、ゴールオートボリュームが働いた後に本機の電源をオフしてオンすると、音量「5」から 5 秒ごとに音量を「1」ずつ大きくし、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［システム］▶［ゴールオートボリューム］（AV）をタッチする**

タッチするたびに［OFF］、［ON］が切り替わります。

- ルート案内していないときに自宅周辺を通過する場合もこの機能が働きます。
- ゴールオートボリュームが働いているときに音量を調整するとこの機能は解除され、その時点の音量のままになります。
- ゴールオートボリュームが働いているときは、スターターボリュームは働きません。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、自宅周辺（100m 以内）で本機の電源をオフしてオンすると、自宅に到着したと判断され、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、残り距離 700m 以内で本機の電源をオフしてオンすると、この機能は解除されます。
- 目的地が自宅以外のルート案内中は、自宅に近づいてもこの機能は働きません。

外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● Bluetooth

Bluetooth の設定については 142 ページをご覧ください。

● カメラ

項目	設定	説明
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ（コントロール機能付）	リアビューカメラの接続を設定します。（➔ P.197）
リアカメラ調整	―	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

● その他

項目	設定	説明
Bluetooth テザリング	ON/OFF*	本機の MapFanAssist 機能、「KENWOOD Drive Info.」[1] の機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときは［ON］に設定します。
MapFan 会員サービス	本機の MapFanAssist 機能と「KENWOOD Drive Info.」の機能をテザリングで使用するときの設定項目です。	
ETC2.0 接続	なし/タイプ A/タイプ B*	ETC2.0 車載器の接続を設定します。（➔ P.202）
バーチャルルームミラー [2]	ON*/OFF	現在地図画面からドライブレコーダー（リア用）の映像またはリアビューカメラの映像に切り替えるかどうかを設定します。
地図画面のバーチャルルームミラー調整 [3]	現在地図画面に表示されるバーチャルルームミラー表示の位置や、表示の拡大、縮小を調整することができます。	
サブリアカメラ [4]	ON/OFF*	シフトレバーを“R”（リバース）にしたときに、リアビューカメラの補助としてドライブレコーダー（リア用）映像に切り替えるかどうかを設定します。
スマートフォン置き忘れ警告	ON*/OFF	「スマートフォン置き忘れ警告音声案内」をするかどうかを設定します。（➔ P.71）

*：お買い上げ時の設定です。

[1] 本機は「KENWOOD Drive Info.」の有料コンテンツには対応していません。

[2] 別売のドライブレコーダー（DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940B）または別売のリアビューカメラ（CMOS-C320、CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-230W、CMOS-230）接続時に使用します。

[3] ［バーチャルルームミラー］が［ON］に設定時のみ設定できます。

[4] 別売のドライブレコーダー（DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940B）接続時のみ設定できます。

- 「ETC2.0 接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［バージョン］をタッチする

バージョン情報が表示されます。

地図更新について

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。
詳 細 は https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/ をご覧ください。

KENWOOD MapFan Club を利用して地図を更新する

KENWOOD MapFan Club のサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、ジオテクノロジーズ株式会社が提供するサービス「MapFan」と KENWOOD のカーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

サービスの詳細や会員登録については、同梱の KENWOOD MapFan Club に関するお知らせをお読みください。
また、当社ホームページからもご覧になれます。
https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/

また、オービスデータの SD 版またはデータダウンロード版をお得に購入することもできます。
オービスデータの購入については当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/car/option/orbis/ をご覧ください。
会員登録は本機に表示される QR コードを使っても登録できます。

QR コードを使って KENWOOD MapFan Club に登録する

・ あらかじめ、スマートフォンに QR コード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 ［地図更新プログラム］（その他）をタッチする

3 画面に表示されている QR コードをスマートフォンで読み取る

「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。

画面に従って会員登録を行ってください。

・ カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号（製造番号）」は QR コード表示画面（手順 3）に表示されます。

Bluetooth® 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 接続中アイコン

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、227 ページをご覧ください。

本機に Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器側で “MDV-S810F”、“MDV-S810L”、“MDV-S710W”、または “MDV-S710” を選ぶ

3 デバイス名とパスキーを確認する

- 本機の MapFanAssist 機能、「KENWOOD Drive Info.」の機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときは、外部機器設定の「Bluetooth テザリング」（その他）を［ON］に設定（➜ P.137）しておいてください。

4 使用する機能をタッチしてチェックを付けて［はい］をタッチする

［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリーを登録する番号を選びます。

［オーディオ／アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

［電話帳登録］：
電話帳登録をします。

［Bluetooth テザリング］：
本機の MapFanAssist 機能（➜ P.153）、「KENWOOD Drive Info.」（➜ P.163）機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときにチェックを付けます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。
この項目は、外部機器設定の「Bluetooth テザリング」（その他）を［ON］に設定（➜ P.137）しているときに表示されます。

▼

Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。(➜ P.142)

- iOS のバージョンによっては登録できないことがあります。
- 登録ができない場合は 140 ページの登録方法で登録してください。

1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする

2 iPhone または iPod touch を USB 接続する

3 デバイス名とパスキーを確認して、使用する機能をタッチしてチェックを付けて［はい］をタッチする

［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリー登録する番号を選びます。

［オーディオ／アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

［電話帳登録］：
電話帳登録をします。

［Bluetooth テザリング］：
本機の MapFanAssist 機能（➜ P.153）、「KENWOOD Drive Info.」（➜ P.163）機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときにチェックを付けます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。
この項目は、外部機器設定の「Bluetooth テザリング」（その他）を［ON］に設定（➜ P.137）しているときに表示されます。

▼

Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

Bluetooth の設定をする

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 設定する Bluetooth の項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/ OFF	Bluetooth 接続するかどうかを設定します。
デバイス接続	本機にBluetooth機器を接続します。(➔ P.143)	
デバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(➔ P.144)	
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/ OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 /5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。
着信音量	0 ～ 15* ～ 40	着信音量を調整します。
受話音量	0 ～ 15* ～ 40	受話音量を調整します。
通話中の音量調整	ON*/ OFF	ハンズフリー通話中の音量を音量キーで調整するかどうかを設定します。
音質調整	−	通話時の音質を調整します。(➔ P.142)

*：お買い上げ時の設定です。

■ 音質を調整する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［音質調整］(Bluetooth）をタッチする

2 各項目を調整する

［エコーキャンセル］(− 5 ～ 0* ～ +5)：
エコーキャンセルの値を調整します。

［ノイズリダクション］(− 5 ～ 0* ～ +5)：
ノイズリダクションの値を調整します。

［マイクゲイン］(− 10 ～ 0* ～ +10)：
マイクゲインの値を調整します。

［クリアボイス］：
通話中にタッチしてチェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
もう一度タッチしてチェックを外すと元に戻ります。

［ミュート］：
通話中にタッチしてチェックを付けると送話を消音します。
もう一度タッチしてチェックを外すと消音を解除します。

*：お買い上げ時の設定です。

Bluetooth 機器の使用する機能を変更する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス接続］（Bluetooth）をタッチする

2 機能を変更したい Bluetooth 機器をタッチする

3 チェックボックスをタッチして使用する機能にチェックを付ける

［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリー登録する番号を選びます。

［オーディオ / アプリケーション連携］
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

［Bluetooth テザリング］：
本機の MapFanAssist 機能（➔ P.153）、「KENWOOD Drive Info.」（➔ P.163）機能、または Gracenote 音楽認識サービスを Bluetooth テザリングで使用するときにチェックを付けます。チェックを付けると Bluetooth テザリングで使用できるようになります。
この項目は、外部機器設定の「Bluetooth テザリング」（その他）を［ON］に設定（➔ P.137）しているときに表示されます。

■ 機能アイコンについて

：ハンズフリー

：オーディオ / アプリケーション連携

：Bluetooth テザリング

Bluetooth 機器の接続を解除する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス接続］（Bluetooth）をタッチする

2 解除したい Bluetooth 機器をタッチする

3 接続を解除する接続方法をタッチして［閉じる］をタッチする

登録した機器を削除する

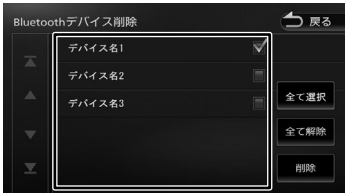
本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス接続］（Bluetooth）をタッチする

2 ［削除］をタッチする

3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチする

複数選択することもできます。



［全て選択］：
リスト内のすべての機器を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

4 ［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

5 ［はい］をタッチする

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］▶［デバイス名］（Bluetooth）をタッチする

2 デバイス名を入力して［決定］をタッチする

デバイス名が変更されます。

- デバイス名は 20 文字まで入力できます。アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号、スペースが使用できます。
- 文字入力については 28 ページをご覧ください。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニュー画面を表示する

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

電話メニュー画面が表示されます。

電話メニュー画面の見かたと操作

① **ハンズフリー 1/ ハンズフリー 2**

2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は 1 または 2 をタッチして接続機器を選択してください。

- プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
- 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態、機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。

② **［接続切替］**

Bluetooth デバイス接続画面を表示します。（➜ P.143）

③ **［プリセット］**

プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。（➜ P.146）

［履歴］

PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。（➜ P.147）

［電話帳］

電話帳を表示します。（➜ P.147）

［10 キー］

電話番号を入力します。（➜ P.148）

④ **［音声認識］**

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。

⑤ **［リダイヤル］**

前回発信した電話番号に発信します。

⑥【編集】
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。(➔ P.146)

- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 をタッチする

（通話終了）：着信を拒否します。

[通話切替]（割り込みの通話が発生中に表示）：
通話先を切り替えます。
接続している機器が割り込み通話の契約をしていないと現在の通話が切れる場合があります。

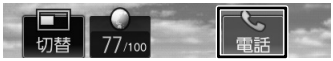
[音質調整]：
音質を調整します。(➔ P.142)

[トーン]
トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。

：
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

[閉じる]：
表示を消します。

［電話］をタッチすると再度表示します。



- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AV の音量とそれぞれ独立して調整できます。(➔ P.22)
- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー 1 と 2 に登録している機器がある場合、1 台が発信または着信状態になったときは、もう 1 台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

2 通話が終わったら、 をタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(➔ P.146)

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 発信するダイヤルをタッチする

選択した電話番号に発信されます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］▶［編集］をタッチする

2 登録するプリセットをタッチする

3 登録方法をタッチし、電話番号を登録する

［電話帳から登録］：
登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

［10 キーで登録］：
電話番号を入力し、［登録］をタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］▶［編集］をタッチする

2 削除する

■ 全て削除する場合

［全て削除］をタッチする

■ 選んで削除する場合

削除したいプリセットダイヤルをタッチして［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

プリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［履歴］をタッチする

機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 発信する履歴をタッチする

メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［電話帳］をタッチする

3 発信する相手をタッチする

4 発信する電話番号をタッチする

メッセージが表示されます。

5 ［はい］をタッチする

選択した電話番号に発信されます。

- 電話帳の登録方法については右記をご覧ください。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。

- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［電話帳］をタッチする

3 ［登録］をタッチする

- PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によっては携帯電話（スマートフォン）でアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。
- 電話帳登録中に［終了］をタッチすると登録を中断します。

電話帳を削除する

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［電話帳］をタッチする

3 ［削除］をタッチする

4 削除する登録名をタッチして、［削除］をタッチする

複数選択することもできます。
メッセージが表示されます。

［全て選択］：
リスト内のすべてを選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての選択を解除します。

5 ［はい］をタッチする

選択した登録が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［10 キー］をタッチする

3 電話番号を入力して、 をタッチする

メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 地点の詳細情報画面を表示する（→ P.53）

1 をタッチする

メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

電話が発信されます。

- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［リダイヤル］をタッチする

3 ［はい］をタッチする

前回の電話番号に発信されます。

音声認識機能で電話をかける

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけることができます。

1 【MENU】を押して［電話メニュー］をタッチする

2 ［音声認識］をタッチする

スマートフォンの音声認識機能が起動します。

3 電話番号または電話帳の名前を話す

［開始］：

音声を認識できる状態にします。

［終了］：

音声認識機能を終了します。

- スマートフォンが音声認識機能に対応していない場合は、使用できません。
- スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。

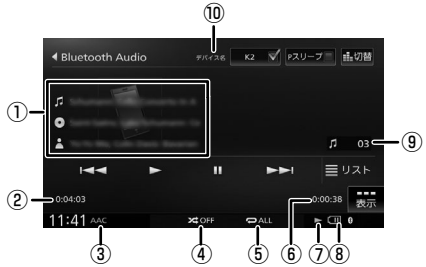
Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを Bluetooth AUDIO に切り替える
(➜ P.78)



① 曲名
アルバム名
アーティスト名
② 再生経過時間
③ 音声形式
④ ランダム再生モード
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生残り時間
⑦ 再生状態
⑧ バッテリー残量
⑨ 曲番号
⑩ デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[▶]	再生します。
[⏸]	一時停止（ポーズ）します。
[⏮] / [⏭]	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 ・[トップ]： 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・[一つ上]： 1つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	デバイス切替画面が表示され、Bluetooth デバイスを切り替えることができます。
[🔀]	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
[🔁]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。
- 他の Bluetooth 機器と通信中は音が途切れる場合があります。
- 音飛びが発生する際には、ご利用の機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
- 再生する音楽アプリを変えたい場合は、使用中の Bluetooth オーディオ機器にて音楽アプリを切り替えてください。

MEMO

スマートフォン連携について

本機はスマートフォンと連携することで、ドライブ、AV に役立つさまざまな機能を拡張することができます。

■ MapFanAssist

「MapFanAssist」アプリでブックマークした地点やおでかけプランなど一部の機能をサーバーを介して本機と連携することができます。
本機と MapFan サーバーは、スマートフォンを使って Bluetooth テザリング経由で接続します。
この機能は、お持ちのスマートフォンにてテザリング契約と KENWOOD MapFan Club 会員登録が必要です。(➜ P.153)

https://www.kenwood.com/jp/car/car-navi/map-fan-assist/

■ KENWOOD Drive Info.

「KENWOOD Drive Info.」は運転に便利なコンテンツや検索機能など、本機と連携することで機能を拡張することができます。(➜ P.163)
KENWOOD MapFan Club 会員限定で、本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続で利用することができます。Bluetooth テザリングの場合はアプリケーションのインストールは必要ありません。
別途、スマートフォンのテザリング契約が必要です。接続には通信費用が発生します。
本機では有料コンテンツをご利用いただけません。

https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/kenwood-drive-info/

■ VOIPUT

音声で行き先の住所またはフリーワードの検索や楽曲検索をすることができます。また、フリーワード検索の文字や、録音データのタイトル編集の文字を音声で入力することができます。(➜ P.168)

https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/voiput/

■ NaviCon

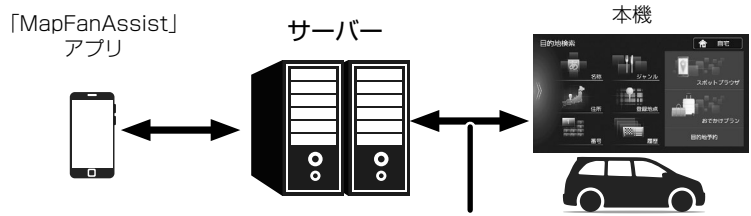
「NaviCon」と連携すると、「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。また、NaviCon の画面で表示している場所の地図を本機に表示することもできます。(➜ P.170)

■ SMART USEN

音楽放送のプロが選曲した 1,000 を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機に接続すると本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。(➜ P.173)

MapFanAssist 機能を使う

「KENWOOD MapFan Club」に入会すると、カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」（以後、「MapFanAssist」アプリ）でブックマークした地点やおでかけプランなど一部の機能をサーバーを介して本機と連携することができます（以後、MapFanAssist 機能）。
「KENWOOD MapFan Club」の会員登録については、製品に同梱の KENWOOD MapFan Club に関するお知らせをお読みください。



本機とサーバーは、スマートフォンを使って Bluetooth テザリング経由で接続します。
ご利用には、お持ちのスマートフォンにてテザリング契約が必要です。

地図サイト「MapFan」https://mapfan.com でも「MapFanAssist」アプリが使用できます。
LINE で「MapFan BOT」を友達に追加すれば、「MapFanAssist」アプリが LINE でも使用できます。

- 「MapFanAssist」アプリ、「MapFan」は、ジオテクノロジーズ株式会社が運営しています。
- 「MapFan BOT」は、LINE 株式会社が提供する「LINE 公式アカウント」を使用し、ジオテクノロジーズ株式会社が運営しています。

MapFanAssist 機能を使うための準備

準備 1：スマートフォンのテザリング契約

本機とサーバーは Bluetooth テザリング経由で接続します。スマートフォンのテザリング契約が必要です。（費用や契約については契約会社により異なります。）
また、通信費用は別途かかります。

準備 2：「KENWOOD MapFan Club」に入会する

1 https://sp.mapfan.com/club/view にアクセスする

2 会員登録とカーナビ情報を登録する

会員費など詳細は同梱の KENWOOD MapFan Club に関するお知らせをお読みください。
MapFanID とパスワードは、本機の設定でも必要になります。大切に保管してください。

準備 3：アプリケーションの準備

1 App Store または Google Play から「MapFanAssist」アプリをスマートフォンにインストールする

準備 4：本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する

1 Bluetooth テザリングをするスマートフォンの Bluetooth とテザリング機能をオンにする

2 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

3 ［Bluetooth］（Bluetooth）をタッチして本機の Bluetooth 機能を［ON］にする

4 ［Bluetooth テザリング］（その他）をタッチして［ON］にする

5 スマートフォン側で“MDV-S810F”、“MDV-S810L”、“MDV-S710W”、または“MDV-S710”を選ぶ

6 デバイス名とパスキーを確認する

7 [Bluetooth テザリング] をタッチしてチェックを付けて [はい] をタッチする

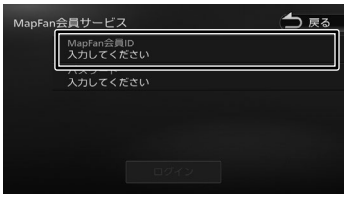
準備 5：MapFanID とパスワードを本機に入力してログインする

1 本機とスマートフォンをテザリング接続する

2 【MENU】を押して [情報・設定] ▶ [外部機器] をタッチする

3 [MapFan 会員サービス]（その他）をタッチする

4 [MapFan 会員 ID] をタッチする



5 MapFan 会員 ID を入力して [決定] をタッチする

6 [パスワード] をタッチする

7 MapFan 会員のパスワードを入力して [決定] をタッチする

8 [ログイン] をタッチする

■ ログアウトする

ログアウトすると、本機に保存されている「MapFanAssist」アプリの情報はすべて消去され、本機の MapFanAssist 機能は使用できなくなります。再度ご使用になる場合は、153 ページの「準備 4：本機とスマートフォンを Bluetooth テザリング接続する」から操作してログインしてください。

1 [MapFan 会員サービス]（その他）をタッチする

メッセージが表示されます。

2 [はい] をタッチする

・ ログアウトすると、Bluetooth テザリング経由での「KENWOOD Drive Info.」（➔ P.163）機能も使用できなくなります。

サーバーから情報を受信する

情報を取得する方法を設定する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［MapFan 連携］をタッチする

2 ［更新方法］をタッチする

3 更新方法を選ぶ

［自動更新しない］：
手動で更新します。

［Bluetooth テザリング接続時のみ更新］：
お買い上げ時の設定です。
本機とスマートフォンでテザリング接続したときのみ更新します。

［自動更新する］：
本機とスマートフォンでテザリング接続したときと、テザリング接続中に［自動更新間隔］設定で設定している時間間隔（お買い上げ時は 15 分）（➜ P.162）で自動更新します。

手動で更新する

「情報を取得する方法を設定する」（➜ P.155）に関係なく、テザリング接続中であれば、いつでもサーバーから手動で情報を取得することができます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［MapFan 連携］をタッチする

2 ［データ更新］をタッチする

- カスタムメニューのショートカットボタンに手動で更新するためのボタン「連携データ手動更新」を割り当てることができます。（➜ P.25）

スポットブラウザから探す

「MapFanAssist」アプリでブックマークした場所を更新日が新しいブックマークから 200 件まで本機に保存することができます。また行き先に設定することもできます。

ブックマークを受信する

1 「MapFanAssist」アプリでブックマークを登録する

2 ブックマークを受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。
「地点ブックマークを更新しました。」と表示され本機のスポットブラウザに保存されます。

- 「おでかけプラン」または「目的地予約」も一緒に更新したときは「地点ブックマークを更新しました。」の表示はされません。［スポットブラウザ］をタッチして情報が取得できたか確認してください。
- ブックマークを更新すると、ソート種別が「更新日順」に自動で設定されます。

ブックマークから行き先を探す

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［スポットブラウザ］をタッチする

「MapFanAssist」アプリでブックマークしたときのフォルダでリストが表示されます。

2 フォルダを選ぶ

3 行き先にしたい地点を選ぶ

［ソート］：
リストにソートして表示する種別（更新日順、登録日順、距離順、読み順）を選びます。

［詳細］：
地点の詳細情報を表示します。

［📞］：
Bluetooth 接続時に地点に電話番号が登録されている場合は、タッチすると電話が発信されます。

［コメント］：
「MapFanAssist」アプリで入力したコメントが表示されます。

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。

- 「地点ブックマーク一覧」フォルダには本機に保存したブックマークすべての地点が表示されます。
- 「MapFanAssist」アプリではブックマークを 2000 件まで登録できますが、本機ではそのうち更新日が新しいブックマークから 200 件まで読み込みます。
- 本機から「MapFanAssist」アプリのブックマーク内の地点を編集・削除することはできません。また、「MapFanAssist」アプリで登録した分類を変更することもできません。
- スポットブラウザ画面を表示中に、「MapFanAssist」アプリのブックマークの更新情報を取得すると、目的地検索画面に戻ります。
- 読み順でソートした場合、「MapFanAssist」アプリの表示順と一致しない場合があります。
- 「MapFanAssist」アプリでは地点情報に URL や郵便番号を登録することができますが、本機では表示されません。

おでかけプランを受信する

「MapFanAssist」アプリで「転送予約」したプランを本機に保存することができます。また行き先に設定することもできます。サーバーから受信するおでかけプランの件数、本機の「情報・設定」－［MapFan 連携］の［自動ルート探索（おでかけプラン）］が［ON］または［OFF］や情報の種類により操作が異なります。

- 「MapFanAssist」アプリの「おでかけプラン」で設定した滞在時間は、本機で表示される到着予測時間には含まれていません。
- 「MapFanAssist」アプリの「おでかけプラン」で出発地が自車位置以外の場合（自宅から駐車場まで歩くなど）は、本機の案内ルートには含まれません。本機が起動したところからの案内になります。
- 「おでかけプラン」は 10 件まで受信保存できます。10 件を超えると、受信日が古い「おでかけプラン」から自動的に消去されます。

■ 受信したおでかけプランが 1 件のとき

● [自動ルート探索（おでかけプラン）] が [OFF]（お買い上げ時の設定）の場合

1 おでかけプランを受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。

▼

1 件のおでかけプラン受信画面が表示されます。

2 [今すぐ案内開始] または [今はしない] をタッチする

[今すぐ案内開始]：
ルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

[今はしない]：
ルート案内の開始はせずに、本機のおでかけプランに保存されます。

● [自動ルート探索（おでかけプラン）] が [ON] の場合

1 おでかけプランを受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。

▼

ルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

■ 受信したおでかけプランが2件以上のとき

1 おでかけプランを受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。

▼

メッセージが表示され、本機のおでかけプランに保存されます。

2 [閉じる] をタッチする

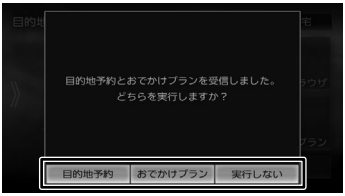
■「おでかけプラン」と「目的地予約」を同時に受信したとき

1 おでかけプランを受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。

▼

以下の画面が表示されます。



[目的地予約]：
[自動ルート探索（目的地予約）] が [OFF] の場合は目的地予約受信画面が表示されます。[自動ルート探索（目的地予約）] が [ON] の場合はルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

[おでかけプラン]：
1 件受信した場合は 158 ページの「受信したおでかけプランが 1 件のとき」の画面が表示されます。
[自動ルート探索（おでかけプラン）] が [ON] の場合はルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。
2 件以上受信したときは 158 ページの「受信したおでかけプランが 2 件以上のとき」のメッセージが表示されます。

[実行しない]：
画面を閉じます。

おでかけプランから行き先を探す

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［おでかけプラン］をタッチする

2 行き先にしたいおでかけプランをタッチする

［詳細］：
プランの内容を表示します。

3 ［はい］をタッチする

ルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

おでかけプランの出発日時通知設定をする

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［おでかけプラン］をタッチする

2 設定を変更したいおでかけプランの［通知］をタッチする

チェックが付いているプランは、設定した日時になると出発通知が表示されます。

・「おでかけプラン出発日時通知」（➔ P.160）で［今後表示しない］または［今すぐ案内開始］を選択した場合は、自動的にチェックが外れます。

おでかけプランを本機から削除する

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［おでかけプラン］をタッチする

2 削除したいお出かけプランの［詳細］をタッチする

3 ［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

おでかけプラン出発日時通知

本機に保存されている「おでかけプラン」に対し、一度もルートの探索を行っていない場合に、「おでかけプラン」で設定した出発時間から1時間以内に本機の電源をオンにしたとき、出発日時を確認する通知が表示されます。

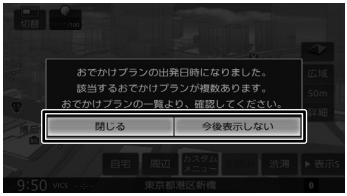
■ 1件のとき

[今すぐ案内開始]：
ルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

[今後表示しない]：
通知されたプランは、今後出発日時が通知されません。

[今はしない]：
確認画面を閉じます。

■ 2件以上のとき



[閉じる]：
確認画面を閉じます。159 ページの「おでかけプランから行き先を探す」でおでかけプランを確認してください。

[今後表示しない]：
通知されたプランは、今後出発日時が通知されません。

- 実際に案内ルートを走行していなくても、[今すぐ案内開始] をタッチして本機でルートを引いた場合は、表示されません。
- [今後表示しない] を選択したプランの出発日時通知を再度表示させたい場合は、「おでかけプランの出発日時通知設定をする」（➔ P.159）をご覧ください。

目的地予約を受信する

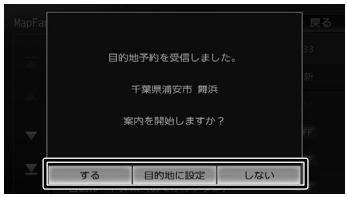
「MapFanAssist」アプリで「カーナビ目的地予約」を行うと、「MapFanAssist」アプリで目的地検索した地点を本機に 10 件まで保存することができます。1回で受信できる件数は1件です。
また、受信した目的地を行き先に設定することができます。
「情報・設定」－［MapFan 連携］－［自動ルート探索（目的地予約）］設定の［ON］または［OFF］により操作が異なります。

■［自動ルート探索（目的地予約）］が［OFF］（お買い上げ時の設定）の場合

1 目的地予約を受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。
目的地予約受信画面が表示されます。

2 ［する］または［しない］をタッチする



[する]：
ルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

[目的地に設定]：
目的地予約地点の地図画面（スクロール画面）を表示します。操作については、52 ページの「スクロールしたときの地図表示」をご覧ください。

[しない]：
確認画面を閉じます。

■［自動ルート探索（目的地予約）］が［ON］の場合

1 目的地予約を受信する

受信方法は本機の設定によります。
155 ページの「サーバーから情報を受信する」をご覧ください。
ルートの探索が始まり探索が終わると自動でルート案内が開始されます。

目的地予約から行き先を探す

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［目的地予約］をタッチする

2 行き先にしたい目的地予約をタッチする

［詳細］：
目的地予約地点の詳細を表示します。

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。

受信した目的地予約を削除する

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［目的地予約］をタッチする

2 削除したい目的地予約の［詳細］をタッチする

3 ［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

MapFan 連携の設定をする

本機の MapFanAssist 機能を利用するときに必要な設定を行います。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［MapFan 連携］をタッチする

2 設定する項目をタッチする

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
データの最終取得日	—	データを最後に取得した日時を表示します。 未取得の場合は、「未取得」と表示します。
更新方法	自動更新しない / Bluetooth テザリング接続時のみ更新 */ 自動更新する	サーバーから情報を取得するときの方法を設定します。(➔ P.155)
自動更新間隔	60 分 / 30 分 / 15 分 */ 5 分 / 常時	上記の「更新方法」で［自動更新する］を設定したときの更新間隔を設定します。間隔が短いほど通信量が増えます。 ［常時］は 10 秒間隔で常に更新しています。
自車位置通知	ON/OFF*	「MapFanAssist」アプリの「マイカー位置表示」使用時に、自車位置情報を使用するかしないかを設定します。
自動ルート探索（目的地予約）	ON/OFF*	［ON］に設定すると、目的地予約をサーバーから本機で受信したときに、自動でルート探索、ルート案内を開始します。 ［OFF］に設定すると、受信画面を表示してルート探索、案内を開始するかしないかを選ぶことができます。
自動ルート探索（おでかけプラン）	ON/OFF*	［ON］に設定すると、おでかけプランを 1 件サーバーから本機で受信したときに、自動でルート探索、ルート案内を開始します。 ［OFF］に設定すると、受信画面を表示してルート探索、案内を開始するかしないかを選ぶことができます。

*：お買い上げ時の設定です。

マイカー位置表示

本機の［自車位置通知］を［ON］に設定しているとき、駐車場などでサーバーにデータ更新を行うと、更新した位置を、マイカー位置としてサーバーに送ることができます。自車位置は、「MapFanAssist」アプリで確認することができます。

自車位置通知の設定をする

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［MapFan 連携］をタッチする**

2 **［自車位置通知］をタッチして［ON］にする**

マイカー位置表示の利用についての画面が表示されます。

3 **内容を確認して［同意する］をタッチする**

「自車位置通知」設定が［ON］になります。

■ マイカー位置表示についての利用規約に変更があったときは

利用規約が変更されると本機の「自車位置通知」設定が［OFF］になりメッセージが表示されます。

1 **［閉じる］をタッチして表示を消す**

2 **「自車位置通知の設定をする」（➜ P.163）の手順 1 から 3 を操作して［自車位置通知］を［ON］にする**

マイカー位置表示機能が使用できるようになります。

KENWOOD Drive Info. を使う

「KENWOOD Drive Info.」は専用サーバー上のコンテンツを iOS または Android アプリケーションを使って本機と連携し快適なドライブをサポートします。
「KENWOOD Drive Info.」を使うと以下のコンテンツが利用できます。

- ガソリンスタンド価格表示（➜ P.165）
- フリーワード検索（➜ P.165）
- 天気予報情報（➜ P.166）
- 開通予定情報のダウンロード（➜ P.167）
- お知らせメッセージ（➜ P.167）

有料機能には対応していません。

■「KENWOOD MapFan Club」に入会している場合

「KENWOOD MapFan Club」に入会していると、「KENWOOD Drive Info.」の無償のコンテンツが利用できます。
本機とスマートフォンを Bluetooth テザリングで接続し、MapFan 会員サービスにログインしてください。
使用方法は 164 ページの「Bluetooth テザリングで使う」をご覧ください。

KENWOOD Drive Info. を使うための準備

KENWOOD Drive Info. アプリで使う

1 App Store または Google Play から「KENWOOD Drive Info.」をスマートフォンにインストールする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

USB または Bluetooth で接続します。
USB 接続する場合は、iPhone と本機を USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）と Apple 製 Lightning - USB ケーブルで接続します。
Bluetooth 接続する場合は、iPhone と本機を Bluetooth 接続します。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。

- 本機と Bluetooth 接続するときは登録が必要です。詳しくは 44 ページの「Bluetooth 機器を登録する」をご覧ください。
  また、登録するときは、［オーディオ / アプリケーション連携］にチェックを付けてください。操作方法は、143 ページの「Bluetooth 機器の使用する機能を変更する」をご覧ください。
- Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

3 「KENWOOD Drive Info.」を起動する

- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。

初回起動時のみ利用規約の画面が表示されます。画面に従って進んでください。

Bluetooth テザリングで使う

「KENWOOD MapFan Club」へ入会し、「MapFan Web」で会員登録が必要です。また、連携するスマートフォンはテザリング契約が必要です。
Bluetooth テザリングで使用するための操作手順については、153 ページの「MapFanAssist 機能を使うための準備」をご覧ください。

行き先を検索する

ガソリン価格で検索する

現在地または検索地点周辺のガソリンスタンドのガソリン価格情報を取得し表示します。ガソリン価格情報は現在地または検索地点周辺の半径最大5km までの情報を取得します。

1 【現在地 /AV】を押して現在地を表示する、または目的地検索メニューや画面をスクロールして検索地点を表示する

2 ［周辺］をタッチする

3 ［ガソリン価格］をタッチする

ガソリンスタンドがある場所に価格が表示されます。

［情報］：
ガソリンスタンドの情報を表示します。

［レギュラー］：
レギュラー価格を地図画面上に表示します。

［ハイオク］：
ハイオク価格を地図画面上に表示します。

- ガソリン価格は、データが取得できていないときは表示されません。
  また個人からの口コミによる情報のため、最新の情報でなかったり、情報内容が正しくない場合があります。

施設名称をフリーワード検索する

目的地検索画面の［名称］検索で、専用サーバーからフリーワード検索ができるようになります。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［名称］をタッチする

2 ［フリーワード］をタッチしてチェックを付ける

3 検索したい施設のキーワードを入力して、［検索］をタッチする

複数のキーワードを入力（スペースを含めて４８文字まで）することもできます。

複数のキーワードを入力する場合は、［キーワード追加］をタッチしてスペースを入力してから次のキーワードを入力します。

フリーワード検索の結果が表示されます。

天気予報を見る

天気情報を取得することができます。天気情報は地図画面または INFO/AV 画面から見ることができます。

地図画面から天気情報を見る

地図画面からは、現在地点（自車位置周辺）または検索した地点の3時間ごと（最大 42 時間先まで）の天気予報を見ることができます。

1 **【現在地 /AV】を押して現在地を表示する、または目的地検索メニューや画面をスクロールして検索地点を表示する**

2 **［周辺］をタッチする**

3 **［天気情報］をタッチする**

天気情報が表示されます。

【時間】：3時間ごとの天気予報を表示します。

【週間】：週間天気予報を表示します。

INFO/AV 画面から天気情報を見る

現在地点（自車位置周辺）の3時間以内の天気予報、気温、降水確率が自動的に表示されます。さらに天気情報にタッチすると週間天気予報を見ることができます。

ルート案内中は、目的地の天気予報、気温、降水確率が表示されます。

1 **天気予報の表示エリアをタッチする**

INFO/AV 画面が表示されていない場合は、［切替］を 1 回または 2 回タッチします。

天気情報が表示されます。

【時間】：3時間ごとの天気予報を表示します。

【週間】：週間天気予報を表示します。

【▲】：現在地付近の天気予報を表示します。

【🏠】/【🏢】：

自宅が登録されているときに、自宅付近の天気予報を表示します。

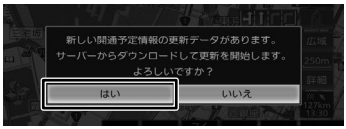
ルート案内中は、目的地付近の天気予報を表示します。

開通予定情報 / オービスデータ / お知らせメッセージ

開通予定情報 / オービスデータ

情報を受信すると、以下のような通知画面が表示されます。

1 **［はい］をタッチする**



（開通予定情報の場合）

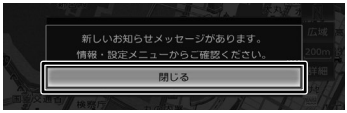
開通予定情報は、データをダウンロードしてアップデートを開始します。

アップデートが終了すると自動で再起動します。

オービスデータは Bluetooth テザリング使用時のみダウンロードできます。また、オービスデータをダウンロード（アップデート）するには事前に MapFan の Web サイトでの購入決済が必要です。

お知らせメッセージ

お知らせメッセージを受信すると以下の画面が表示されます。



お知らせの内容を確認するには、［閉じる］をタッチして情報・設定画面を表示します。

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［お知らせ］をタッチする**

お知らせの内容が表示されます。

［お知らせ］は情報があるときのみ「情報・設定」に表示されます。

VOIPUTを使う

「VOIPUT」を使うと、音声入力で本機のフリーワード施設検索、住所検索、楽曲検索ができます。
また、本機で文字入力を行う一部の機能を音声で入力することもできるようになります。

VOIPUTを使うための準備

1 App StoreまたはGoogle Playから「VOIPUT」をスマートフォンにインストールする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhoneを接続する場合

USB接続とBluetooth接続で使用する
iPhoneと本機をUSB接続ケーブルKNA-22USB（別売品）とApple製Lightning - USBケーブルでUSB接続し、次にiPhoneと本機をBluetooth接続します。

Bluetooth接続で使用する
iPhoneと本機をBluetooth接続します。

■ Android搭載スマートフォンを接続する場合

Android端末と本機をBluetooth接続します。

- 本機とBluetooth接続するときは登録が必要です。詳しくは44 ページの「Bluetooth機器を登録する」をご覧ください。
  登録するときは、［ハンズフリー1］または［ハンズフリー2］のどちらかにチェックを付けてください。また、iPhoneをBluetoothだけで接続する場合とAndroid搭載スマートフォンを接続する場合は、［オーディオ/アプリケーション連携］にもチェックを付けて登録してください。操作方法は、143 ページの「Bluetooth機器の使用する機能を変更する」をご覧ください。
- Lightning - USBケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

3 「VOIPUT」を起動する

- 付属のBluetoothハンズフリー通話用マイクに向かって話してください。
- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。

初回起動時のみ利用規約の画面が表示されます。画面に従って進んでください。

文字を音声で入力する

文字入力画面で、音声入力に対応しているのは、以下の画面です。

- 登録地点編集の名称変更入力画面
- 録音ファイルのタイトル編集（曲名、アルバム名、アーティスト名）画面
- 目的地検索画面の「名称」検索で使うフリーワード検索画面
- 「SMART USEN」のチャンネル名検索画面

- フリーワード検索画面では、［フリーワード］をタッチしてチェックを付けてください。

1 【MENU】を押して［目的地検索］▶［名称］をタッチする

2 ［音声入力］をタッチする

3 “お話しください”と表示されたらBluetoothハンズフリー通話用マイクに向かってキーワードを話す

音声が認識されると、認識した文字が入力されます。

- 音声が認識されなかった場合は、［音声入力］をタッチしてもう一度お話ください。
- 誤認識した場合は文字入力画面で入力しなおしてください。

施設を音声で検索する

1 **「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す**

システム設定の「音声操作」（一般）を［OFF］に設定しているときは、MENU 画面の［音声操作］をタッチします。手順 2 の操作は不要です。

2 **「VOIPUT（ぼいぷっと）」と話す**

音声検索画面が表示されます。

3 **“お話しください”と表示されたら Bluetooth ハンズフリー通話用マイクに向かってキーワードを話す**

VOIPUT では、キーワードとは別にマジックワードをつけることにより、周辺検索または広域検索の切り替えが可能です。

例：周辺の図書館を探すとき

“近くの図書館”と話します。この場合「近くの」がマジックワードになります。

音声が認識されると検索が開始され検索結果が表示されます。

検索結果から目的地として設定する場合は、64 ページの「ルートの探索と案内を開始する」をご覧ください。

ただし、走行中は目的地として設定することはできません。安全な場所に停止してから操作してください。

- ステアリングリモコンに音声検索機能を割り当てると、割り当てたキーの操作だけで音声検索画面を表示できます。（➔ P.40）
- 音声が認識されなかったときは［やり直す］が表示されます。［やり直す］をタッチしてもう一度お話しください。
- 複数のキーワードを入れるときは続けて発話してください。
  例：「横浜でラーメンが食べたい」または「新宿の銀行」など
- 「～を探して」や「～を検索」などと発話すると正しく検索できないことがあります。
- 周辺検索のマジックワードがついていると、現在地周辺の半径 20km 以内でフリーワード検索をします。検索後、「周辺検索結果」が表示されます。この場合は、［一致順］［距離順］が表示されません。
- ファミリーレストラン名やコンビニエンスストア名など、特定のキーワードが含まれている場合は、周辺検索のマジックワードがついていなくても自動的に周辺検索します。全国規模の広域で検索したい場合は、広域検索のマジックワード「全国の」、「広域で」をつけて発話してください。
- マジックワードについては以下ホームページをご覧ください。
  https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/voiput/magic-word/

住所を音声で検索する

1 **「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す**

システム設定の「音声操作」（一般）を［OFF］に設定しているときは、MENU 画面の［音声操作］をタッチします。手順 2 の操作は不要です。

2 **「VOIPUT（ぼいぷっと）」と話す**

音声検索画面が表示されます。

3 **“お話しください”と表示されたら Bluetooth ハンズフリー通話用マイクに向かってキーワードを話す**

VOIPUT では、キーワードとは別にマジックワードをつけて発話してください。

例：東京都八王子市石川町 XXXX(番地) を探すとき

“住所検索　東京都八王子市石川町 XXXX(番地)”と話します。

この場合「住所検索」がマジックワードになります。

音声が認識されると検索が開始され、検索結果が表示されます。

検索結果から目的地として設定する場合は、64 ページの「ルートの探索と案内を開始する」をご覧ください。

ただし、走行中は目的地として設定することはできません。安全な場所に停止してから操作してください。

- ステアリングリモコンに音声検索機能を割り当てると、割り当てたキーの操作だけで音声検索画面を表示できます。（➔ P.40）
- 音声が認識されなかったときは［やり直す］が表示されます。［やり直す］をタッチしてもう一度お話ください。
- 住所名は省略せずに（都道府県名、群名を含める）発話してください。
- 「丁目」「番地」「-」は「の」と発話してください
  例：1 丁目 1 番地 1 号→「いちのいちのいち」 3-12 →「さんのじゅうに」

- 住所名を途中まで発話した場合は、認識できた住所の画面になります。
  例：番地を発話しなかった場合
  番地の前までを「VOIPUT」で認識し番地入力画面を表示します。
  番地は画面にタッチして入力してください。
- マジックワードについては以下ホームページをご覧ください。
  https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/voiput/magic-word/

楽曲を音声で検索する

1 「ハイ、彩速（はい、さいそく）」と話す

システム設定の「音声操作」（一般）を［OFF］に設定しているときは、MENU 画面の［音声操作］をタッチします。手順 2 の操作は不要です。

2 「VOIPUT（ぼいぷっと）」と話す

音声検索画面が表示されます。

3 “お話しください”と表示されたら Bluetooth ハンズフリー通話用マイクに向かってキーワードを話す

VOIPUT では、キーワードとは別にマジックワードをつけて発話してください。

例：AAAAAA というタイトルの曲を探すとき

“AAAAAA を聴きたい”と話します。
この場合「を聴きたい」がマジックワードになります。

音声が認識されると検索が開始され、検索結果が表示されます。

- ステアリングリモコンに音声検索機能を割り当てると、割り当てたキーの操作だけで音声検索画面を表示できます。（➜ P.40）
- 音声が認識されなかったときは［やり直す］が表示されます。［やり直す］をタッチしてもう一度お話ください。
- 検索するソースは内蔵メモリ、USB または SD です。
- 楽曲を検索するにはカテゴリーデータベースの作成または更新が必要です。
- 楽曲検索の場合はアーティスト名、アルバム名、曲名を発話してください。
- マジックワードについては以下ホームページをご覧ください。
  https://www.kenwood.com/jp/car/apps/products/voiput/magic-word/

NaviCon で探す

「NaviCon」では、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することもできます。
ほかにも、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や NaviCon の操作については下記のホームページをご覧ください。
  https://navicon.com/user/support/
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。

- 「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

NaviCon を使うための準備

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにインストールする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

USB または Bluetooth で接続します。
USB 接続する場合は、iPhone と本機を USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）と Apple 製 Lightning - USB ケーブルで接続します。
Bluetooth 接続する場合は、iPhone と本機を Bluetooth 接続します。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。

- 本機と Bluetooth 接続するときは登録が必要です。詳しくは 44 ページの「Bluetooth 機器を登録する」をご覧ください。
- Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。
なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に送信して、行き先として設定することができます。

1 「NaviCon」を起動する

2 「NaviCon」から本機に地点情報を送信する

送信された場所が本機に表示されます。
送信方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。
案内の開始方法については、64 ページの「目的地に設定してルートを探索する」をご覧ください。

NaviCon 友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。
また、表示された友達の位置を目的地に設定することができます。

■ ナビの友達マップ機能を ON にする

1 本機にスマートフォンを接続する

2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する

3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする

4 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

5 ［NaviCon 友達マップ］（その他）をタッチする

6 ［NaviCon 友達マップ表示］をタッチして ON にする

現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。

- ナビの友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定がオフになります。設定をオンにしたときと違う機器を使用する場合は設定をオンにし直してください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

友達アイコン

緑色：友達の NaviCon と通信できています。
灰色：友達の NaviCon が通信できません。最後に通信できた場所を表示しています。

本機との接続状態表示アイコン

緑色：
友達マップ機能が［ON］になっています。

黄色：
友達マップ機能は［ON］になっているが通信エラーが発生しています。

灰色：
友達マップ機能は［ON］になっているが通信できない状態になっています。

表示なし：
友達マップ機能が［OFF］になっています。

- 友達アイコンには NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- 友達アイコンは 2.5km 以下のスケールで表示されます。

■ 友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示することができます。

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して［NaviCon 友達マップ全体表示］をタッチする

全体表示画面が表示されます。

■ 友達の位置を目的地に設定する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［NaviCon 友達マップ］（その他）▶［NaviCon 友達マップ全体表示］をタッチする

全体表示画面が表示されます。

複数の友達の位置情報を取得している場合は、［ ◀ ］、［ ▶ ］、［リスト］をタッチして友達を選ぶことができます。

2 ［この友達を選択］をタッチする

3 ［目的地］をタッチする

ルートの探索が始まります。

「SMART USEN」を使う

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス（アプリケーション）です。
「SMART USEN」を利用するには iOS または Android 用スマートフォンアプリケーションが必要です。
「SMART USEN」についてはホームページをご覧ください。https://smart.usen.com/

SMART USEN を使うための準備

1 App Store または Google Play から「SMART USEN」をスマートフォンにインストールする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

USB または Bluetooth で接続します。
USB 接続する場合は、iPhone と本機を USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）と Apple 製 Lightning - USB ケーブルで接続します。
Bluetooth 接続する場合は、iPhone と本機を Bluetooth 接続します。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。

3 スマートフォンの「SMART USEN」を起動する

- 本機と Bluetooth 接続するときは登録が必要です。詳しくは 44 ページの「Bluetooth 機器を登録する」をご覧ください。
- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」のすべてのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。
- 「SMART USEN」を USB ケーブルで接続した iPhone で使用していると、Bluetooth 接続したスマートフォンでは「SMART USEN」を使用できません。
- Lightning - USB ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

画面の見かたと操作

1 【MENU】を押して［ソース切替］▶［SMART USEN］をタッチする

- 曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

① CH チャンネル名

曲名

アーティスト名

アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➔ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➔ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。

ボタン	説明
[■] / [▶]	[■] をタッチすると消音します。[▶] をタッチすると元の音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリーからチャンネルを選択します。
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今まで聴いたことのあるチャンネルをリスト（お気に入りリスト / 履歴リスト）で切り替えて表示します。チャンネルをタッチするとチャンネルが切り替わります。
[お気に入り登録]	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
[お気に入り一覧]	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
[リスト]	再生中の曲、1つ前の曲、再生予定の5曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。

チャンネルを選ぶ

1 [CHANNEL リスト] をタッチする

2 聴きたいジャンルまたはカテゴリー名をタッチする

3 聴きたいチャンネルをタッチする

[トップ]：
一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上]：
1つ上の階層のリストに移動します。

[絞り込み]：
絞り込み条件をタッチすると、表示するチャンネルを絞り込めます。

チャンネル名を検索する

1 [CHANNEL リスト] をタッチする

2 [チャンネル名検索] をタッチする

3 検索したいチャンネル名を入力する

- 入力可能最大文字数は、30 文字です。
- 文字の入力方法は、28 ページをご覧ください。

再生中のチャンネルをお気に入りに登録する

再生中のチャンネルをお気に入り登録することができます。

1 ［お気に入り登録］をタッチする

「お気に入りチャンネルに追加しました」と表示されチャンネルを登録します。

登録したチャンネルは「FAVORITE リスト」および「お気に入り一覧」から簡単に選択できるようになります。

お気に入りのチャンネルを選ぶ

1 ［お気に入り一覧］または［FAVORITE リスト］をタッチする

2 聴きたいチャンネルをタッチする

■［お気に入り一覧］をタッチしたとき

［前ページ］/［次ページ］：
お気に入り一覧のページを切り替えます。

［一覧を閉じる］：
お気に入り一覧を閉じます。

■［FAVORITE リスト］をタッチしたとき

［履歴リスト］：
今まで聴いたチャンネルから最大 30 チャンネルのリストを表示します。
［お気に入りリスト］をタッチするとお気に入りリストに戻ります。

- 「お気に入り一覧」、「お気に入りリスト」、「履歴リスト」のチャンネルを本機で削除することはできません。「SMART USEN」アプリケーションで削除してください。

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- USB 接続ケーブル
  KNA-22USB
  本機に USB 機器を接続するケーブルです。(➔ P.82)
- HDMI 入力用インターフェースケーブル
  KNA-20HC
  HDMI 機器の HDMI 出力を本機に入力するケーブルです。(➔ P.111)
- AV プリアウト拡張ケーブル
  KNA-17AV
  リアモニターへの映像出力をするケーブルです。ドライブレコーダーを接続する場合はドライブレコーダーの映像入力も接続します。
- ドライブレコーダー
  - ナビ連動型ドライブレコーダー(フロント用)
    DRV-N530
  - ナビ連動デジタルルームミラー型ドライブレコーダー
    DRV-EMN5700
  - ナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー
    DRV-MN970/DRV-MN940B
- リアビューカメラ
  - ケンウッド専用マルチビューリアカメラ
    CMOS-C320
  - ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ
    CMOS-C230W/CMOS-C230
  - スタンダードリアビューカメラ [1]
    CMOS-230W/CMOS-230
- ETC 車載器
  - デンソー製 ETC 車載器
    DIU-5610
  - デンソー製 ETC 車載器
    DIU-5310
  - デンソー製 ETC 車載器
    DIU-5412

  付属の ETC/ ステアリングリモコン対応ケーブルで接続してください。
- ETC2.0 車載器
  - ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000
  - ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器 ETC-N3000
  - パナソニック製 ETC2.0 車載器
    CY-ET2000D
    接続ケーブル：KNA-P12DSRC（別売品）
  - パナソニック製 ETC2.0 車載器
    CY-DSR140D
    接続ケーブル：KNA-P15DSRC（別売品）
  - デンソー製 ETC2.0 車載器
    DIU-B040
    接続ケーブル：KNA-D15DSRC（別売品）
- リアモニター
  - 9V 型 WVGA リアモニター
    LZ-900
- トヨタ車用ワイヤリングキット
  KNA-200WT
  対応モデル：
  MDV-S810L(別売品 KIT8-18T 使用時)/
  MDV-S710W
- 日産車用ワイヤリングキット
  KNA-200WN
  対応モデル：MDV-S710W

[1] ケンウッド専用端子 / 汎用 RCA 変換リアカメラ接続ケーブル CA-C100（別売品）が必要です。

ドライブレコーダー DRV-N530を使う

本機にナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）を接続すると手動録画や静止画撮影のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。
録画の画質の種類や録画時間 / 録画ファイル数など詳細は、DRV-N530 の取扱説明書をご覧ください。

- ドライブレコーダー（別売品）を接続したときは、ETC 車載器（市販品）を接続することはできません。（ETC2.0 車載器を除く）
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ドライブレコーダーが正しく接続されているかは、「接続情報」画面（➔ P.37）で確認してください。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【MENU】を押して
［ドライブレコーダー］をタッチする

ドライブレコーダーの映像が表示されます。

ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

画面の見かたと操作

① 録画モードと録画残時間
（イベント記録 / 手動録画のみ表示）
② HDR が［ON］のときに表示
③ 録画画質
④ 音声録音あり 音声 / なし 音声
⑤ 自動静止画撮影オン / オフ
⑥ 保存ファイル数（撮影可能ファイル数）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［地図表示］	地図表示モード（現在地図画面）に切り替えます。
［設定］	ドライブレコーダー設定を表示します。（➔ P.181）
［リスト］	録画ファイルリストを表示します。（➔ P.178）
［録画］	手動録画を開始します。 手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。
［静止画］	静止画を撮影します。 タッチし続けると自動静止画連続撮影機能がオンになります。もう一度タッチし続けるとオフになります。
［映像調整］	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。（➔ P.79）
［非表示］	操作ボタンを消します。

地図表示モードに切り替える

地図表示モードに切り替えると、現在の位置を地図で表示し、子画面に現在のドライブレコーダーの映像を表示します。

1 ［地図表示］をタッチする

地図表示モードに切り替わります。

■ ドライブレコーダーの映像に戻す

1 ドライブレコーダー映像表示部分をタッチする

ドライブレコーダーの映像に切り替わります。

録画ファイルを再生する

1 【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［リスト］をタッチする

4 再生したい録画フォルダを選択する

［削除］については、181 ページの「フォルダごとに削除する」をご覧ください。

5 再生したいファイルを選択する

録画ファイルの再生が始まります。

地図表示モードで再生すると、再生中の録画ファイルの位置を地図で表示します。子画面にドライブレコーダーの映像が表示されます。

映像表示モードは映像のみを表示してファイルに保護をかけたり、ズーム再生や映像調整などができます。

再生音はフロントのみとなります。

- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、駐車録画時に本機からの位置情報を取得できていないため、録画された場所の地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーの REC ボタンによる手動録画もできません。
- 【MENU】または【現在地 /AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、音量調整以外の操作はできません。

再生画面の見かたと操作

動画ファイル

① 再生状態
② 再生時間
③ HDR が［ON］のときに表示 / 録画画質
④ 録画モード
⑤ 保護されたファイルのときに 🔒 を表示
⑥ ファイル名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［地図表示］	録画された場所の地図を表示します。子画面に映像が表示されます。
［🔉］/［🔊］	再生音量を調整します。
［▶/II］	再生または一時停止します。
［◀◀］/［▶▶］	・再生中にタッチすると速度が2段階に切り替わり、早戻し / 早送りします。 ・一時停止中にタッチするとコマ戻し / コマ送りします。 ・一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。
［I◀◀］/［▶▶I］	再生中のファイルの先頭に戻ります。もう一度タッチすると前のファイルを再生します。/ 次のファイルを再生します。
［削除］	再生しているファイルを削除します。
［保護］/［保護解除］	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に 🔒 マークが表示されます。(➔ P.180) 常時録画ファイルは保護できないため、常時録画の再生時はこのボタンは表示されません。
［ズーム］	再生している映像を拡大表示します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。(➔ P.79)
［非表示］	操作ボタンを消します。

静止画ファイル

① 再生状態
② 撮影画質
③ 撮影モード
④ 保護されたファイルのときに 🔒 を表示
⑤ ファイル名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［地図表示］	撮影された場所の地図を表示します。子画面に静止画が表示されます。
［◀◀］/［▶▶］	前のファイルを表示します。/ 次のファイルを表示します。
［削除］	表示しているファイルを削除します。
［保護］/［保護解除］	表示しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを表示したときは、ファイル名の先頭に 🔒 マークが表示されます。(➔ P.180)
［ズーム］	表示している静止画を拡大表示します。
［映像調整］	静止画の画質を調整します。(➔ P.79)
［非表示］	操作ボタンを消します。

ファイルを保護する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。

・ 常時録画ファイルは保護できません。

1 保護したいファイルを再生して画面をタッチする

2 ［保護］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

ファイル名の先頭に マークが表示されます。

■ ファイル保護を解除する

1 保護されたファイルを再生して画面をタッチする

2 ［保護解除］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

ファイル名の先頭の マークが消えます。

ファイルを削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。

・ 保護されたファイルを削除することはできません。削除するときは、先に保護を解除してから削除してください。
・ 走行中は、削除操作ができません。

■ ファイルごとに削除する

1 削除したいファイルを再生して画面をタッチする

2 ［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

再生中のファイルが削除されます。

■ フォルダごとに削除する

1 【MENU】を押して
［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

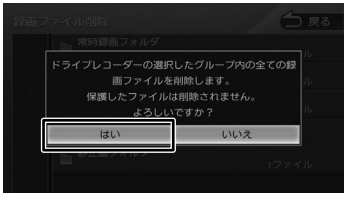
3 ［リスト］をタッチする

4 ［削除］をタッチする

5 削除したいフォルダを選択する

メッセージが表示されます。

6 ［はい］をタッチする



選択したフォルダ内のファイルすべてを削除します。

ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定を行います。

1 【MENU】を押して
［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［設定］をタッチする

4 各項目を設定する

- 設定画面を表示中は、常時録画が停止します。また、イベント記録、手動録画、静止画撮影もできません。ドライブレコーダーの操作による手動録画、静止画撮影もできません。
- 【MENU】または【現在地 /AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、設定操作はできません。

● 録画

項目	設定	説明
録画画質	1280×720/ 1280×720(HDR)/ 1920×1080/ 1920×1080(HDR)*/ 2304×1296	録画する解像度を設定します。(HDR) に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。2304×1296 には HDR 設定はありません。 録画モード別に画質の設定はできません。
記録方式	映像＋音声 */ 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	ドライブレコーダーから出力する音声ガイダンスや報知音などの音量を設定します。0（消音）/1（小）/2（標準）/3（大）
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	イベント記録を開始する、車両の衝撃検出感度を設定します。 レベル 1（大きな衝撃で検知します）～レベル 3（標準）～レベル 5（小さな衝撃で検知します）
常時録画の 1 ファイル毎の録画時間	1 分間 /2 分間 /3 分間 *	常時録画（連続録画）の録画時間を設定します。録画時間毎にファイルを区切って録画します。
手動録画の録画時間	15 秒間 */30 秒間 / 1 分間	手動録画を開始してからの録画時間を設定します。
イベント記録の録画時間	15 秒間 */30 秒間 / 1 分間	車両の衝撃検知後の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
自動静止画連続撮影の撮影枚数	10 ファイル / 30 ファイル */ 50 ファイル	自動静止画連続撮影機能で撮影する枚数を設定します。
自動静止画連続撮影の撮影間隔	1 分 /5 分 */15 分 / 30 分	自動静止画連続撮影機能で撮影する間隔を設定します。

● 駐車録画

項目	設定	説明
駐車録画	ON*/OFF	駐車時（車両のエンジンキーオフ時）に、車両の衝撃を検知して、録画を開始するかどうかを設定します。
駐車録画の動作感度（ドライブレコーダー）	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。 レベル 1（大きな衝撃で検知します）～レベル 3（標準）～レベル 5（小さな衝撃で検知します）
駐車録画開始時間設定（降車時）	OFF/30 秒間 */ 1 分間 /3 分間	エンジンをオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間設定（乗車時）	OFF/30 秒間 */ 1 分間 /3 分間	エンジンをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画の録画時間	10 秒間 */20 秒間 / 30 秒間	衝撃検知後の駐車録画の録画時間を設定します。
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
駐車録画発生のお知らせ	ON*/OFF	駐車時（車両のエンジンキーオフ時）に、駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに音声と画面に表示してお知らせします。［OFF］に設定するとお知らせしません。

● 運転支援

項目	設定	説明
前方衝突警告	ON/OFF*	自車と前方車両との距離を検出して、安全な距離が保たれていない場合に、前方車両との接触事故を防ぐため報知音と現在地図画面に表示して通知します。約 30km/h 以上で動作します。
車線逸脱警告	ON/OFF*	走行している車線を検出して、現在の車線からのはみだしを報知音と現在地図画面に表示して通知します。約 60km/h 以上で動作します。
発進遅れ警告	ON/OFF*	自車が前方車両の後ろに停止した後、前方車両が発進したときに、自車の発進の遅れを報知音と現在地図画面に表示で通知します。自車が後退しているときなどにも通知する場合があります。
運転支援機能の検出範囲設定	運転支援機能を使用する場合は、車両に合わせてドライブレコーダーから見える地平線やボンネットの先端位置を設定します。(➔ P.184)	
取付高さ設定	1.2m*/1.35m/2m	運転支援機能を使用する場合は、ドライブレコーダーを取り付けた路面からの高さを設定します。(➔ P.184)

● リアレコ（ドライブレコーダーリア用）

項目	説明
リアドライブレコーダー接続	本機では使用しません。
駐車録画の動作感度（リアドライブレコーダー）	
LED 設定	
SD カード寿命表示（リアドライブレコーダー）	
バージョン情報（リアドライブレコーダー）	
ファームウェア更新（リアドライブレコーダー）	
SD カード初期化（リアドライブレコーダー）	
チャイルドロック	

● システム

項目	設定	説明
SD カード寿命表示（ドライブレコーダー）	ドライブレコーダー DRV-N530 に付属の SD カードまたは別売のケンウッド製 SD カードを使用していると SD カードの寿命（目安）を表示します。	
バージョン情報（ドライブレコーダー）	ドライブレコーダー DRV-N530 のファームウェアのバージョンを表示します。	
ファームウェア更新（ドライブレコーダー）	ドライブレコーダー DRV-N530 のファームウェアを更新します。(➔ P.185)	
SD カード初期化（ドライブレコーダー）	ドライブレコーダー DRV-N530 のすべてのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。(➔ P.185)	
設定の初期化	ドライブレコーダー DRV-N530 の設定を初期化します。	

*：お買い上げ時の設定です。

運転支援機能の設定をする

運転支援機能を使用する場合は、ドライブレコーダー（フロント用）を取付車両に合わせて、路面からの取付高さ、地平線の位置、ボンネットの先端の位置を設定する必要があります。
運転支援機能についての詳細は、DRV-N530 の取扱説明書をご覧ください。

1 **見通しの良い、平らで安全な場所に車を停車させてください。**

2 **【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする**

3 **画面をタッチする**

操作ボタンが表示されます。

4 **［設定］をタッチする**

5 **［取付高さ設定］（運転支援）をタッチする**

6 **路面から最も近いドライブレコーダーの高さを選択する**

7 **［運転支援機能の検出範囲設定］（運転支援）をタッチする**

8 **ドライブレコーダーの取り付け角度を調整して固定する**

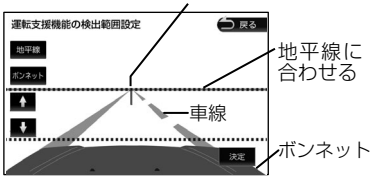
取り付け角度の調整

上下方向は、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率を同じにします。

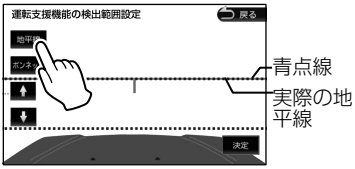
左右方向は、中央の縦線（赤線）を走行車線の中心に合わせます。

調整イメージ図

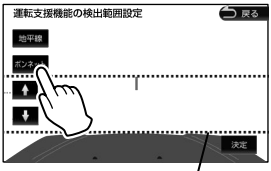
走行車線の中心に合わせる（赤線）



9 **［地平線］をタッチして、青点線を［↑］/［↓］で実際の地平線に合わせて微調整する**



10 **［ボンネット］をタッチして、白点線を［↑］/［↓］でボンネットの先端に合わせて［決定］をタッチする**



ボンネットの先端が映像に表示されない場合は、白点線を画面の一番下まで下げてください。

SD カードを初期化する

SD カードに関するエラーが発生する場合は、初期化を行ってください。

- ドライブレコーダー以外では SD カードのフォーマットを行わないでください。
- SD カードをフォーマットすると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

1 【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［設定］をタッチする

4 ［SD カード初期化（ドライブレコーダー）］（システム）をタッチする

メッセージが表示されます。

5 ［はい］をタッチする

SD カードを初期化します。

システムを更新する

ドライブレコーダーのシステムファームウェアを更新します。
アップデートに関する情報は、当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/ にアクセスして型名を選んでください。

- ドライブレコーダーのバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合、SD カードを挿入してもアップデートは行われません。

1 SD カードをドライブレコーダーから取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する

2 当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/ にアクセスして型名を選んで、アップデートファイルを SD カードにコピーする

3 SD カードをパソコンから取り出し、ドライブレコーダーに挿入する

4 【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

5 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

6 ［設定］をタッチする

7 ［ファームウェア更新（ドライブレコーダー）］（システム）をタッチする

メッセージが表示されます。

8 ［はい］をタッチする

更新を開始します。

2 カメラドライブレコーダーを使う

本機にナビ連動デジタルルームミラー型 2 カメラドライブレコーダー DRV-EMN5700（別売品）、またはナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー DRV-MN970/DRV-MN940B（別売品）を接続すると手動録画や静止画撮影のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。
録画の画質の種類や録画時間 / 録画ファイル数など詳細は、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- DRV-EMN5700 を接続時は、本機からドライブレコーダーの設定はできません。DRV-EMN5700 から設定をしてください。
- ドライブレコーダー（別売品）を接続したときは、ETC 車載器 (市販品) を接続することはできません。（ETC2.0 車載器を除く）
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ドライブレコーダーが正しく接続されているかは、「接続情報」画面（➔ P.37）で確認してください。

ドライブレコーダーの映像を表示する

1 【MENU】を押して
[ドライブレコーダー] をタッチする

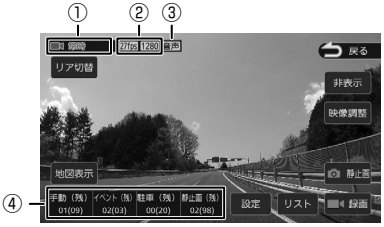
ドライブレコーダーの映像が表示されます。

ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

画面の見かたと操作



① 録画モードと録画残時間（イベント記録 / 手動録画のみ表示）
② フレームレート / 録画画質
③ 音声録音あり 音声 / なし 音声
④ 保存ファイル数（撮影可能ファイル数）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[リア切替] / [フロント切替]	ドライブレコーダー DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940B（別売品）のリアカメラの映像とフロントカメラ映像を切り替えます。
[地図表示]	地図表示モードに切り替えます。（➔ P.187）
[設定] [1]	ドライブレコーダー設定を表示します。（➔ P.191）
[リスト]	録画ファイルリストを表示します。（➔ P.187）
[録画]	手動録画を開始します。 手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。[1]
[静止画]	静止画を撮影します。
[映像調整]	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。（➔ P.79）
[非表示]	操作ボタンを消します。

[1] DRV-MN970、DRV-MN940B 接続時のみ

地図表示モードに切り替える

地図表示モードに切り替えると、現在の位置を地図で表示し、子画面に現在のドライブレコーダーの映像を表示します。

1 ［地図表示］をタッチする

地図表示モードに切り替わります。

■ ドライブレコーダーの映像に戻す

1 ドライブレコーダー映像表示部分をタッチする

ドライブレコーダーの映像に戻ります。

録画ファイルを再生する

本機でドライブレコーダーの録画ファイルを再生します。

- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーでの手動録画、静止画撮影もできません。
- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- 【MENU】または【現在地 /AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、録画ファイルの再生映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、リア / フロント切替、音量調整以外の操作はできません。

1 【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

ドライブレコーダーの映像が表示されます。

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［リスト］をタッチする

4 再生したい録画フォルダを選択する

［削除］については、191 ページの「フォルダごとに削除する」をご覧ください。

5 再生したいファイルを選択する

フロントカメラの録画ファイルの再生が始まります。

リアカメラの録画ファイルを再生したいときは手順 6 を操作してください。

6 リアカメラの映像に切り替える場合は［リア切替］をタッチする

リアカメラの録画ファイル再生に切り替わります。

［フロント切替］をタッチするとフロントカメラの録画ファイルの再生に戻ります。

再生画面の見かたと操作

動画ファイル

① 再生状態
② 再生時間
③ フレームレート / 録画画質
④ 録画モード
⑤ 保護されたファイルのときに 🔒 を表示
⑥ ファイル名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[フロント切替] / [リア切替]	ドライブレコーダー DRV-EMN5700、DRV-MN970、DRV-MN940B（別売品）のフロントカメラの録画ファイルとリアカメラの録画ファイルを切り替えます。
[地図表示]	地図表示モードで再生します。 (➔ P.189)
[🔉] / [🔊]	ドライブレコーダーから出力される再生音量を調整(0 ～ 5)します。
[►/II]	再生または一時停止します。
[◄◄] / [►►]	・再生中にタッチすると速度が２段階に切り替わり、早戻し / 早送りします。 ・一時停止中にタッチするとコマ戻し / コマ送りします。コマ戻しは［◄◄］をタッチしたときのフレームの先頭に戻ります。 ・一時停止中にタッチし続けるとスロー再生になります。
[I◄◄] / [►►I]	再生中のファイルの先頭に戻ります。もう一度タッチすると前のファイルを再生します。/ 次のファイルを再生します。
[削除]	再生しているファイルを削除します。
[保護] / [保護解除]	再生しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを再生したときは、ファイル名の先頭に 🔒 マークが表示されます。 (➔ P.190) ・常時録画ファイルは保護できないため、常時録画の再生時はこのボタンは表示されません。
[ズーム]	再生している映像を拡大表示します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (➔ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。

静止画ファイル

① 再生状態
② 撮影画質
③ 撮影モード
④ 保護されたファイルのときに 🔒 を表示
⑤ ファイル名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[フロント切替] / [リア切替]	フロントカメラまたはリアカメラの静止画に切り替わります。
[地図表示]	地図表示モードで表示します。(➔ P.189)
[⏮] / [⏭]	前のファイルを表示 / 次のファイルを表示します。
[削除]	表示しているファイルを削除します。
[保護] / [保護解除]	表示しているファイルを削除できないように保護したり、保護を解除します。保護したファイルを表示したときは、ファイル名の先頭に 🔒 マークが表示されます。(➔ P.190)
[ズーム]	表示している静止画を拡大表示します。
[映像調整]	静止画の画質を調整します。(➔ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。

地図表示モードで再生する

再生中の録画ファイルの位置を地図で表示し、子画面で録画ファイルを再生します。
静止画も撮影した位置を地図で表示し子画面に静止画を表示します。

1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

2 [地図表示] をタッチする

地図表示モードの再生に切り替わります。

■ 録画ファイルの再生画面に戻す

1 録画ファイル再生部分をタッチする

録画ファイルの再生画面に戻ります。

ファイルを保護する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、または解除することができます。

- 常時録画ファイルは保護できません。
- ファイルを保護または解除すると、フロントとリアカメラのファイルを同時に保護または解除します。

1 保護したいファイルを再生して画面をタッチする

2 ［保護］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

ファイル名の先頭に マークが表示されます。

■ ファイル保護を解除する

1 保護されたファイルを再生して画面をタッチする

2 ［保護解除］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

ファイル名の先頭の マークが消えます。

ファイルを削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。

- 保護されたファイルを削除することはできません。削除するときは、先に保護を解除してから削除してください。
- ファイルを削除すると、フロントカメラとリアカメラのファイルを同時に削除します。

■ ファイルごとに削除する

1 削除したいファイルを再生して画面をタッチする

2 ［削除］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

再生中のファイルが削除されます。

■ フォルダごとに削除する

1 【MENU】を押して
［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［リスト］をタッチする

4 ［削除］をタッチする

5 削除したいフォルダを選択する

メッセージが表示されます。

6 ［はい］をタッチする

選択したフォルダ内のファイルすべてを削除します。

ドライブレコーダーの設定をする（DRV-MN970/DRV-MN940B接続時のみ）

ドライブレコーダーの設定を行います。

1 【MENU】を押して
［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［設定］をタッチする

4 各項目を設定する

- 設定画面を表示中は、常時録画が停止します。また、イベント記録、手動録画、静止画撮影もできません。ドライブレコーダーの操作による手動録画、静止画撮影もできません。
- 【MENU】または【現在地 /AV】を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、設定操作はできません。

● 録画

項目	設定	説明
録画画質	1280×720/ 1920×1080*	録画する解像度を設定します。 録画モード別に画質の設定はできません。
フレームレート	■ DRV-MN970 30fps*/10fps/3fps ■ DRV-MN940B 27fps*/9fps/3fps	フレームレートを設定します。 駐車録画は設定にかかわらず DRV-MN970 は 30fps、DRV-MN940B は 27fps で録画されます。
記録方式	映像＋音声 */ 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
操作音の音量	0/1/2*/3	ドライブレコーダーから出力する音声ガイダンスや報知音などの音量を設定します。0（消音）/1（小）/2（標準）/3（大）
イベント記録の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	イベント記録を開始する、車両の衝撃検出感度を設定します。 レベル 1（大きな衝撃で検知します）～レベル 3（標準）～レベル 5（小さな衝撃で検知します）
常時録画の 1 ファイル毎の録画時間	■ DRV-MN970 1分間/2分間/3分間* ■ DRV-MN940B 1分間*/2分間/3分間	常時録画（連続録画）の録画時間を設定します。録画時間毎にファイルを区切って録画します。
手動録画の録画時間	15 秒間 */30 秒間 / 1 分間	手動録画を開始してからの録画時間を設定します。
イベント記録の録画時間	15 秒間 */30 秒間 / 1 分間	車両の衝撃検知後の録画時間を設定します。
手動録画ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。
イベント記録ファイルの上書き保存	ON/OFF*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。

● 駐車録画

項目	設定	説明
駐車録画	ON*/OFF	駐車時（車両のエンジンキー「オフ」時）に、車両の衝撃を検知して、録画を開始するかどうかを設定します。
駐車録画の動作感度	レベル 1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。 レベル 1（大きな衝撃で検知します）～レベル 3（標準）～レベル 5（小さな衝撃で検知します）
駐車録画開始時間設定(降車時)	OFF/30 秒間 */ 1 分間 /3 分間	エンジンをオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画停止時間設定(乗車時)	OFF/30 秒間 */ 1 分間 /3 分間	エンジンをオンにする前の駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画の録画時間	10 秒間 */20 秒間 / 30 秒間	衝撃検知後の駐車録画の録画時間を設定します。
駐車録画ファイルの上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをするかどうかを設定します。

● システム

項目	説明
SD カード寿命表示	ドライブレコーダーに付属の SD カードまたは別売のケンウッド製 SD カードを使用していると SD カードの寿命（目安）を表示します。
バージョン情報	ドライブレコーダーのファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェア更新	ドライブレコーダーのファームウェアを更新します。（➜ P.193）
SD カード初期化	ドライブレコーダーのすべてのファイルを消去し、SD カードを初期化します。（➜ P.193）
設定の初期化	ドライブレコーダーの設定を初期化します。

*：お買い上げ時の設定です。

SD カードを初期化する（DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ）

SD カードに関するエラーが発生する場合は、初期化（フォーマット）してください。

- ドライブレコーダー設定以外では SD カードの初期化を行わないでください。
- SD カードを初期化すると、保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてから初期化してください。

1 【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

3 ［設定］をタッチする

4 ［SD カード初期化］（システム）をタッチする

メッセージが表示されます。

5 ［はい］をタッチする

SD カードを初期化します。

システムを更新する（DRV-MN970/DRV-MN940B 接続時のみ）

ドライブレコーダーのシステムファームウェアを更新します。
アップデートに関する情報は、当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/ にアクセスして型名を選んでください。

1 SD カードをドライブレコーダーから取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する

2 当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/ にアクセスして型名を選んで、アップデートファイルを SD カードにコピーする

3 SD カードをパソコンから取り出し、ドライブレコーダーに挿入する

4 【MENU】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

5 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

6 ［設定］をタッチする

7 ［ファームウェア更新］（システム）をタッチする

メッセージが表示されます。

8 ［はい］をタッチする

更新を開始します。

サブリアカメラ機能を使う

リアビューカメラの補助としてドライブレコーダーのリア映像を表示する（サブリアカメラ）ことができます。
表示するには、事前に設定が必要です。

サブリアカメラの設定をする

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［サブリアカメラ］（その他）をタッチして［ON］にする

サブリアカメラの映像を表示する

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

別売のリアビューカメラを接続しているときはリアビューカメラの映像を表示します。
リアビューカメラを接続していないときは、ドライブレコーダーのリア映像を表示します。手順２と３の操作は不要です。

2 画面をタッチして操作ボタンを表示する

3 ［リアレコ］をタッチする

サブリアカメラの映像に切り替わります。

- 本機の電源をオンにした直後など、サブリアカメラの映像を表示するまでに時間がかかることがあります。

画面の見かたと操作

［上位置］/［下位置］：
警告文の表示位置を変更します。

［非表示］：
操作ボタンを消します。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

［映像調整］：
サブリアカメラの画質を調整します。録画される映像には影響しません。（➔ P.79）

［リアカメラ］：
リアビューカメラの映像を表示します。

［ズーム］：
映像中央が 1.6 倍に拡大した映像が表示されます。

- サブリアカメラの映像にガイド線機能はありません。
- 録画ファイルの再生中にサブリアカメラ映像を表示させた場合は、再生を停止します。

バーチャルルームミラー機能を使う

リアウィンドウが小さい車や、後部座席に荷物を積んでいるなど、ルームミラーでの後方確認ができない場合などに、現在地図画面から後方の映像を表示することができます。
表示するには、事前に設定が必要です。

バーチャルルームミラーの設定をする

お買い上げ時は［ON］に設定されています。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

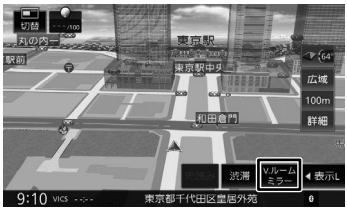
2 ［バーチャルルームミラー］（その他）をタッチして［ON］にする

・ バーチャルルームミラーに必要な別売のドライブレコーダーは DRV-EMN5700、DRV-MN970、または DRV-MN940B です。別売のリアビューカメラは CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-230W、CMOS-230、またはマルチビューカメラ CMOS-C320 です。

現在地図画面から表示する

1 【現在地 /AV】を押す

2 ［V. ルームミラー］をタッチする



バーチャルルームミラーの映像が子画面で表示されます。
［V. ルームミラー］をもう一度タッチすると子画面が消えます。

■ バーチャルルームミラーの表示サイズを変更する

バーチャルルームミラーの表示サイズを変えることができます。

1 バーチャルルームミラー表示内をフリックまたはドラッグする

● 中画面サイズから小画面サイズにする

● 小画面サイズから中画面サイズにする

● 中画面サイズから全画面表示にする

▼

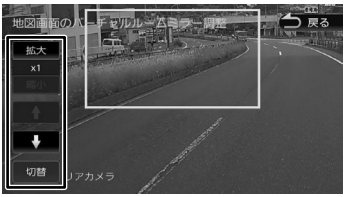
■ バーチャルルームミラーエリアに表示する映像を調整する

［バーチャルルームミラー］設定が［OFF］のときは設定できません。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［地図画面のバーチャルルームミラー調整］（その他）をタッチする

3 表示位置または表示の大きさを調整する



［拡大］/［縮小］：

［拡大］をタッチするたびに画面中央を拡大（x1.2/x1.4/x1.6）することができます。拡大した後に［縮小］をタッチするたびに等倍（x1）まで縮小します。

［⬆］/［⬇］：

現在地図画面に表示させる位置に枠をあわせると枠内の映像が表示されるようになります。

［切替］：

別売のリアビューカメラと別売のドライブレコーダーの両方を接続していて、リアビューカメラの接続設定が［なし］以外に、［リアドライブレコーダー接続］が［ON］に設定されていると表示されます。

タッチすると、表示倍率と枠の位置が記憶されます。

バーチャルルームミラー全画面表示の操作

映像を表示している機器
ドライブレコーダー / リアカメラ

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

［戻る］：

現在地図画面に戻ります。

［非表示］：

操作ボタンを消します。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

［映像調整］：

バーチャルルームミラー映像の画質を調整します。(➔ P.79)
ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。

［拡大］/［縮小］：

画面中央を拡大（x1.2/x1.4/x1.6）することができます。拡大した後に縮小をタッチすると等倍（x1）までタッチするたびに切り替わります。

［切替］：

別売のリアカメラと別売のドライブレコーダーの両方を接続していて、リアカメラの接続設定が［なし］以外に設定されていると表示されます。タッチすると映像を表示する機器（リアカメラまたはドライブレコーダー）を切り替えることができます。

リアビューカメラを使う

カメラを設定する

本機は、リアビューカメラを接続することができます。リアビューカメラには別売のCMOS-C320、CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-230W、CMOS-230 が接続できます。

リアビューカメラ接続設定

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［リアカメラ接続］（カメラ）をタッチする

3 接続しているカメラをタッチする

［汎用カメラ］：

CMOS-C230（別売品）、CMOS-C230W（別売品）、CMOS-230W（別売品）、CMOS-230（別売品）、または市販のカメラを接続しているときに選択します。

［専用カメラ（コントロール機能付）］：

CMOS-C320（別売品）を接続しているときに選択します。

- リアビューカメラを接続しない場合は、［なし］を選択します。

CMOS-C320 のカメラ設定をする

CMOS-C320（別売品）を接続したときは、本機の画面上で CMOS-C320 のカメラ設定ができます。

・ CMOS-C320 のカメラ設定を行うには、本機に CMOS-C320 を接続し、カメラの接続設定を「専用カメラ（コントロール機能付）」に設定する必要があります。（➔ P.197）

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［リアカメラ調整］（カメラ）をタッチする

CMOS-C320 の設定画面が表示されます。
設定方法については、CMOS-C320 の取扱説明書をご覧ください。

リアビューカメラの映像を表示する

本機に接続したリアビューカメラの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- **リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。**

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

リアビューカメラの映像が表示されます。

・ シフトレバーを“R”（リバース）にしてもリアビューカメラの映像が表示されないときは、リバース検出コードが接続されているか「接続情報」画面（➔ P.37）で確認してください。

リアビューカメラ操作ボタンを使う

1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

［ビュー］：
リアビューカメラの視点を切り替えます。（CMOS-C320 接続時のみ）

［ガイド線］：
リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

［上位置］/［下位置］：
警告文の表示位置を変更します。

［非表示］：
リアビューカメラ操作ボタンを消します。

［映像調整］：
リアビューカメラ映像の画質を調整します。（➔ P.79）

［リアレコ］
タッチするとサブリアカメラの映像に切り替わります。（➔ P.194）

⚠
- **警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に切り替えてください。**
- **警告文は位置を切り替えることはできますが、消すことはできません。**

リアビューカメラのガイド線を調整する

リアビューカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。ガイド線の調整方法は、接続しているカメラによって異なります。

CMOS-C320（別売品）を接続している場合

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［リアカメラ調整］（カメラ）をタッチする

CMOS-C320 の設定画面が表示されます。
設定方法については、CMOS-C320 の取扱説明書をご覧ください。

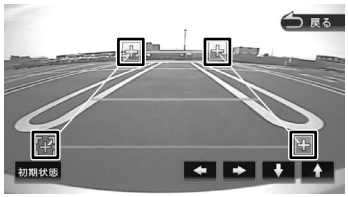
汎用カメラを接続している場合

汎用カメラとは、別売品の CMOS-C230、CMOS-C230W、CMOS-230W、CMOS-230、または市販品のリアカメラです。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［リアカメラ調整］（カメラ）をタッチする

3 調整するカーソル（ ）をタッチする



市販品を接続している場合にカメラの映像が表示されないときは、パーキングブレーキを引いて、シフトレバーを“R”（リバース）に入れてください。

4 / / / をタッチして、ガイド線の位置を調整します。

［初期状態］：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う

本機は ETC 車載器（市販品）または ETC2.0 車載器（別売品）を接続することができます。
本機に対応している ETC 車載器または ETC2.0 車載器は、176 ページをご覧ください。

- ETC 車載器の接続設定はありません。
- ETC2.0 車載器は、接続した機器の設定を行ってください。（➔ P.202）

- ETC 車載器と ETC2.0 車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ドライブレコーダーと ETC 車載器は同時に接続できません。（ETC2.0 車載器は除く）
- ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC 車載器が正しく接続されているかは、「接続情報」画面（➔ P.37）で確認してください。

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

- ETC 機能についての音声案内 (料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード) は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から 1 ヶ月以内になったときに出力されます。
- 本機の電源をオフしたときに ETC カードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

ETC2.0 情報について

ETC2.0 車載器（別売品）を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。

- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応しておりません。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省　国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用及び取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC ／一般」と表示されたレーンをご利用ください。

- 運転中の ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約 1 秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。
走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。
アップリンクしないように設定することができます。(➔ P.119)
アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。(➔ P.115)
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。
  対応している情報の種類は、次のとおりです。
  優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報

  一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。(➔ P.65)
- 渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(➔ P.65)

ETC に関する設定をする

ETC の案内音声出力を設定する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 ［ETC 音声の出力］（案内）をタッチする

［ON］：
ETC の音声案内をします。

［OFF］：
ETC の音声案内をしません。

ETC の料金表示を設定する

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする

2 ［ETC 料金の表示］（案内）タッチする

［ON］：
ETC 料金を表示します。

［OFF］：
ETC 料金を表示しません。

ETC2.0 車載器の接続設定をする

接続している ETC2.0 車載器を設定します。
お買い上げ時は、［タイプ B］に設定されています。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［外部機器］をタッチする

2 ［ETC2.0 接続］（その他）をタッチする

3 接続する ETC2.0 車載器のタイプをタッチする

［なし］：
ETC2.0 車載器を接続しません。

［タイプ B］：
- ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000
- ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器 ETC-N3000

- パナソニック製 ETC2.0 車載器 CY-ET2000D、パナソニック製 ETC2.0 車載器 CY-DSR140D は［タイプ A］に設定してください。
  デンソー製ETC2.0車載器 DIU-B040 は［タイプ B］に設定してください。

4 本機の電源をオフにしてオンにする

ETC2.0 車載器が本機に設定されます。

ETC2.0 に関する設定をする

ETC2.0 に関する設定は、119 ページの「VICS 情報の表示設定をする」をご覧ください。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【MENU】を押して［情報・設定］▶［ETC］をタッチする

ETC 履歴情報が表示されます

［車載器情報］：

車載器の情報を表示します。

- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カードの挿入時のみ表示されます。
- ETC 履歴表示中は ETC カードを抜かないでください。

信号情報活用運転支援システム（TSPS）による信号情報案内

本機にケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000 を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を受信することができます。
本機は、受信した情報によって、以下の 3 つの信号情報案内に対応しています。

- **信号通過支援案内**
- **赤信号減速支援案内**
- **発進遅れ防止支援案内**

⚠

- **本機の信号情報案内は、あくまで補助的な機能です。**
  - **あらゆる状況において作動するものではありません。**
  - **実際の信号機の点灯状況と異なる場合は、信号機の表示に従ってください。**
- **車両を運転する際は、信号情報案内を過信せず、常に道路標識、前方の信号表示、周囲の道路状況に注意し、交通ルールに基づいて安全な運転を心がけてください。**

信号情報案内利用上のご注意

- 光ビーコンは主に一般道に設置されていますが、すべての光ビーコンで信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を提供しているわけではありません。詳しくは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
  - 情報を提供している道路であっても、工事や情報配信元の事情により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。
  - 押しボタン式信号、感応式信号など、情報提供区間であっても、情報が提供されない交差点があります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報は、光ビーコンを通過した時点でのものです。このため、その後の状況の変化により、信号情報案内と実際の信号機の点灯内容が異なる場合があります。
  - 案内する交差点の手前に押しボタン式信号、感応式信号がある場合、表示するタイミングがずれることがあります。
  - 渋滞など、道路の通行状況が変化した場合、表示するタイミングがずれることがあります。

- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報には有効期限があります。このため情報を受信してから一定時間が経過すると、有効期限を過ぎてしまい、次に情報を受信するまで信号情報案内ができなくなります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の概念や整備計画については、VICS センターにお問い合わせください。
- 本機から光ビーコンへ、走行軌跡の情報がアップリンクされます。この情報は、交通状況を把握するためのもので、個人の情報を特定するものではありません。信号情報案内の表示を OFF に設定するとアップリンクされなくなります。
- 以下の場合は光ビーコンからの信号の受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

信号情報案内の設定をする

1 **【MENU】を押して［情報・設定］▶［ナビ］をタッチする**

2 **［信号情報案内（TSPS）の表示］（案内）をタッチする**

［ON］：
信号情報案内を行います。

［OFF］：
信号情報案内を行いません。

地図に表示される信号情報案内

本機の現在地図画面で、前方の交差点を直進方向に進行すると想定して、信号情報案内を行います。

- ルート案内中で、右左折を案内する交差点については信号情報案内を行いません。
- 矢印信号については、信号機の点灯状況と異なる案内をする、または案内が動作しない場合があります。
- 信号情報案内が可能になったときに、対象となる交差点までの距離が近い場合は、案内を行わない場合があります。

交差点を通過すると、信号情報案内を終了します。ひきつづき信号情報案内が可能な交差点がある場合は、案内を続けます。

■ 支援状態の表示

信号情報活用運転支援システムの情報を光ビーコンから受信すると、画面に「支援エリア」と表示されます。

信号情報案内可能な交差点に近づくと、表示が「支援中」に切り替わります。
信号情報案内する情報が無くなった場合は、「支援中」または「支援エリア」の表示が消えます。

■ 信号通過支援 / 赤信号減速支援

現在の速度のまま交差点に近づいたときの前方の交差点の信号状態を予測して表示します。

青信号になるとき：

信号通過支援案内を表示します。

赤信号になるとき：

赤信号減速支援案内を表示し、「この先、赤信号です」と音声案内します。
交差点に接近する、または減速すると、表示が消えます。

- 表示を開始するのは、交差点のおよそ200m 手前ですが、その間に信号があるときは表示されないことがあります。
- 高速走行時、低速走行時は案内を行わない場合があります。

■ 発進遅れ防止支援

交差点を赤信号で停車したとき、おおよその信号待ち時間を表示します。

信号待ち時間が 5 秒以下になると、表示が切り替わり「まもなく青信号です」と音声案内します。
交差点が青信号になると、表示が消えます。

- 交差点から一定距離以上離れている場合は、発進遅れ防止支援の案内を行いません。
- 一度交差点の前で停車しないと、発進遅れ防止支援の案内を行いません。

リアモニターを使う

本機にリアモニター（市販品）を接続すると、本機の映像をリアモニターに表示することができます。

- リアモニターは走行中でも映像が表示されます。リアモニターは運転者から見えないところに設置してください。

リアモニターに表示できる映像について

ソース
DISC：DVD-Video/DVD-VR
USB：ビデオファイル
SD：ビデオファイル
マルチ AV ブラウザ：ビデオファイル
地デジ

- 本機で再生できるビデオファイルについては、223 ページの「本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット」をご覧ください。
- リアモニターの接続には、AV プリアウト拡張ケーブル KNA-17AV（別売品）が必要です。

KNA-200WT の電源接続 (MDV-S810L/MDV-S710W のみ)

●MDV-S810L にトヨタ車用ワイヤリングキット KNA-200WT（別売品）と取付キット KIT8-18T（別売品）を使用する場合の接続です。
●MDV-S710W にトヨタ車用ワイヤリングキット KNA-200WT（別売品）を使用する場合の接続です。

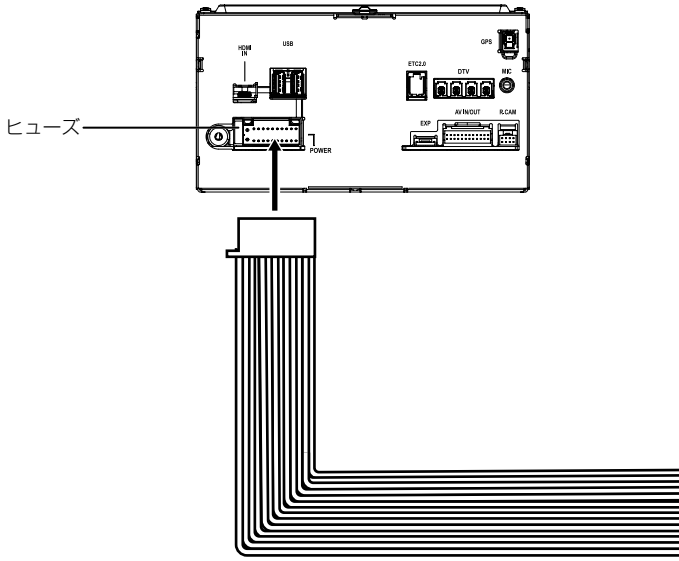
実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

●電源ハーネスのコネクターはすべての配線が完了し、配線に間違いがないか確認してから本機に接続してください。

注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。
規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



●各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
●車速検出コードの「S SENS」と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因となります。
●KNA-200WT(別売品) については当社ホームページもご覧ください。
https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-200wt/

10ピンコネクター

車両のハーネスコネクターへ接続します。

バッテリー電源コード（黄）

BATT

アクセサリー電源コード（赤）

ACC

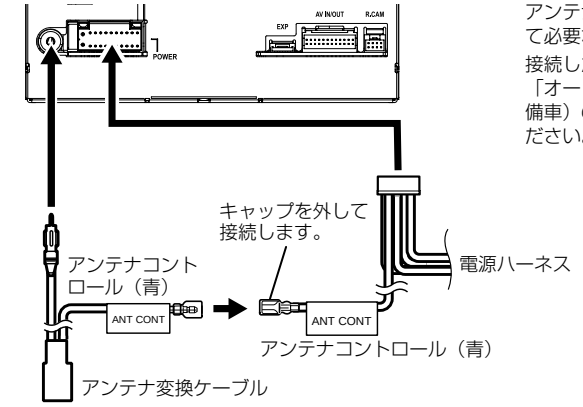
電源が必要な周辺機器を接続する場合にご使用ください。
接続しない場合は、キャップを外さないでください。

アンテナコントロール（青）

ANT CONT

接続しない場合は、キャップを外さないでください。接続する必要がある場合は下図をご覧ください。（12V DC、300mA以内でご使用ください。）

アンテナコントロールの接続方法



アンテナ変換ケーブルは車両によって必要な場合にご使用ください。
接続した場合は、11 ページの「オートアンテナ（電動アンテナ装備車）の操作について」もお読みください。

パワーコントロール（青/白）

P.CONT

本機では使用しません。キャップは外さないでください。

6ピンコネクター

車両のハーネスコネクターへ接続します。

5ピンコネクター

S SENS

車両のハーネスコネクターへ接続します。

CAM+（緑/赤）

CAM+

CAM−（緑/白）

CAM-

本機では使用しません。キャップは外さないでください。

KNA-200WNの電源接続(MDV-S710Wのみ)

日産車用ワイヤリングキット KNA-200WN（別売品）を使用する場合の接続です。

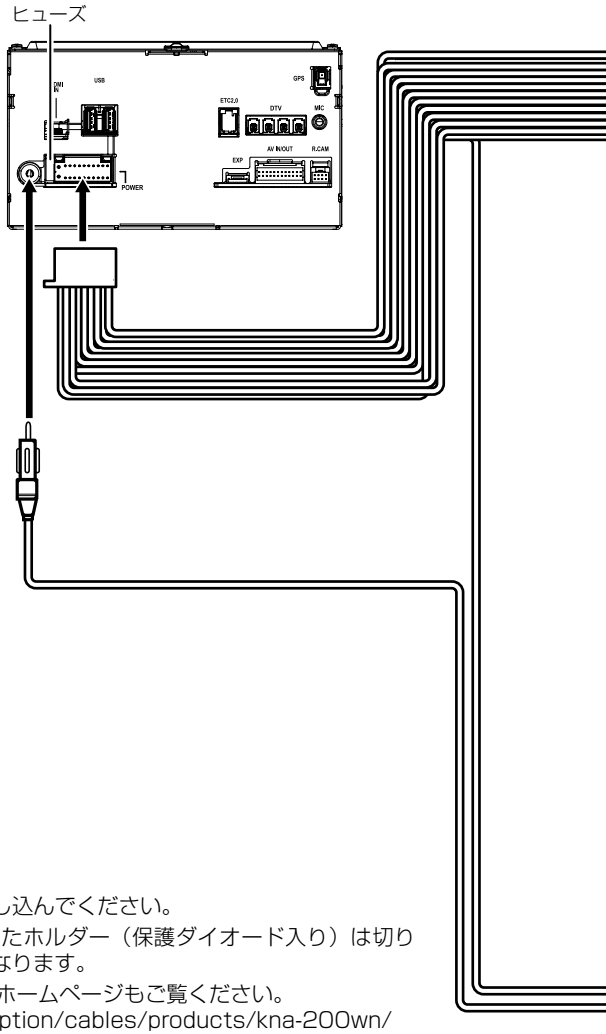
実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。
規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

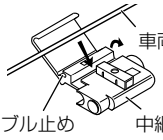
●電源ハーネスのコネクターはすべての配線が完了し、配線に間違いがないか確認してから本機に接続してください。



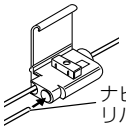
■ 中継コネクターの使いかた

1.車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。

2.ケーブル止めをロックします。

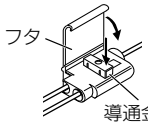


3.ナビ3信号変換ケーブルのリバース検出コードを中継コネクターに差し込みます。



4.プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。

5.最後にフタをロックします。

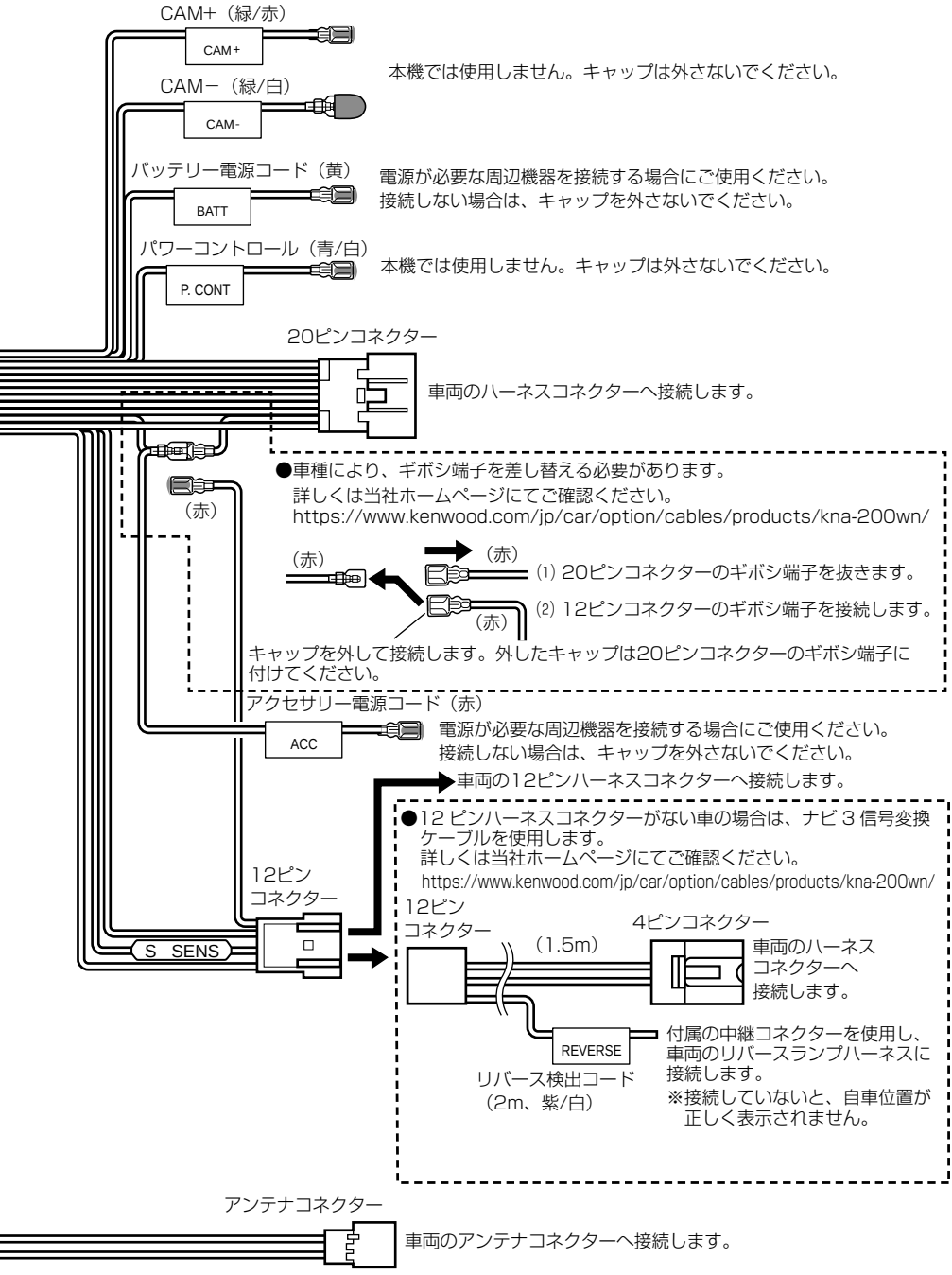


●中継コネクターはナビ3信号変換ケーブルのリバース検出コード以外には使用しないでください。接触不良による誤動作の原因となります。

●各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。

●車速検出コードの「S SENS」と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切り外さないでください。車両故障の原因となります。

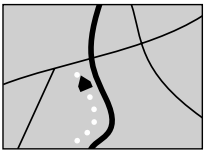
●KNA-200WN(別売品) については当社ホームページもご覧ください。
https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-200wn/


CAM+（緑/赤）
CAM+
本機では使用しません。キャップは外さないでください。
CAM−（緑/白）
CAM-
バッテリー電源コード（黄）
BATT
電源が必要な周辺機器を接続する場合にご使用ください。
接続しない場合は、キャップを外さないでください。
パワーコントロール（青/白）
P. CONT
本機では使用しません。キャップは外さないでください。
20ピンコネクター
車両のハーネスコネクターへ接続します。
（赤）
●車種により、ギボシ端子を差し替える必要があります。
詳しくは当社ホームページにてご確認ください。
https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-200wn/
（赤）
（赤）
(1) 20ピンコネクターのギボシ端子を抜きます。
(2) 12ピンコネクターのギボシ端子を接続します。
（赤）
キャップを外して接続します。外したキャップは20ピンコネクターのギボシ端子に付けてください。
アクセサリー電源コード（赤）
ACC
電源が必要な周辺機器を接続する場合にご使用ください。
接続しない場合は、キャップを外さないでください。
車両の12ピンハーネスコネクターへ接続します。
●12 ピンハーネスコネクターがない車の場合は、ナビ 3 信号変換ケーブルを使用します。
詳しくは当社ホームページにてご確認ください。
https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/products/kna-200wn/
12ピンコネクター
S SENS
12ピンコネクター
（1.5m）
4ピンコネクター
車両のハーネスコネクターへ接続します。
REVERSE
リバース検出コード（2m、紫/白）
付属の中継コネクターを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続します。
※接続していないと、自車位置が正しく表示されません。
アンテナコネクター
車両のアンテナコネクターへ接続します。

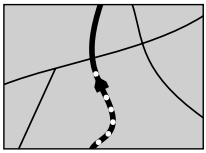
自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

準天頂衛星「みちびき」について

本機は準天頂衛星「みちびき」の受信に対応しています。
従来の GPS 衛星からの信号に加え、「みちびき」からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

自律航法とは

車速パルスと内蔵の 6 軸センサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向を 6 軸センサーで検出して、GPS で測位できない状況でも現在地を割り出します。

6 軸センサーについて

本機には 6 軸センサー（3 軸ジャイロセンサー +3 軸加速度センサー）を内蔵しています。
上下 / 左右 / 回転方向のセンサーが独立しているため、互いの影響を受けずに精度の高い角速度 / 加速度の測定が可能です。

高測 3D ジャイロについて

内蔵の 6 軸センサーによって、自車の傾斜や高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
- トンネルの中やビル内の駐車場
- 2 層構造の高速道路の下
- 高層ビルなどの間
- 密集した樹木の間

2）GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
3）3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

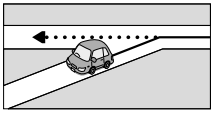
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

1）電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
2）GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

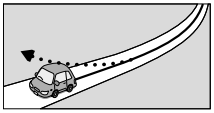
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいＹ字路を走行した場合

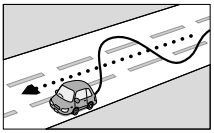


直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

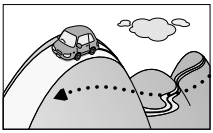


砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

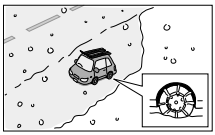
蛇行運転をした場合



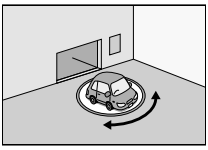
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



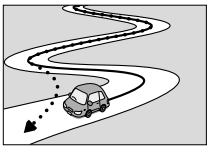
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



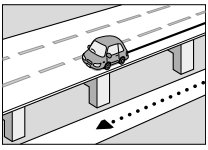
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



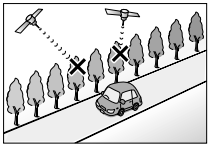
ヘアピンカーブが続いた場合



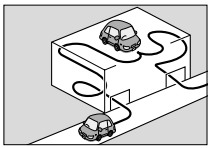
高速道路と側道などが隣接している場合



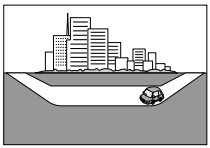
GPS による測位ができない状態が長く続いた場合



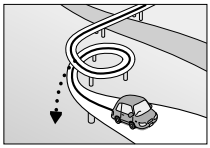
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



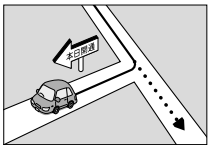
地下駐車場やトンネルなど、GPS 衛星による測位が長時間できない場合



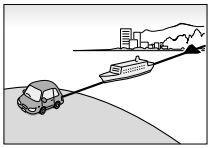
ループ橋などを走行した場合



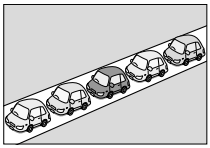
地図データにはない、新設道路を走行した場合



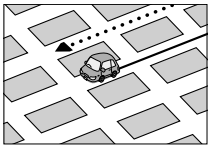
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		料金所		図書館	■	裁判所
	都道府県庁舎		マリーナ		テーマパーク		灯台
	市特別区庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	町村指定都市区庁舎		城跡		温泉		スマート IC
	官庁公共施設		神社		山頂	■	その他の目的物
	警察		寺院		自衛隊		NTT
	消防		教会		墓地		サーキット
	学校		海水浴場		ボウリング場		テニスコート
	郵便局		ゴルフ場		サッカー		ディスカウントストア
	病院		スキー		競馬場ウィンズ		ビルアパート名称
	デパート / スーパー		キャンプ		大学		道の駅
	カー用品店		遊園地		短大		ヘリポート
	IC		動物園		高専		乗馬
	SA		公園		高校		体育館
	PA		ホテル		中学校		牧場
	パーキング		スポーツ施設		小学校		自動車学校
	工場		植物園		養護・盲・ろう学校		トンネル
	飛行場		美術館		保健所		船着場（観光船等）
	フェリー		博物館	■	税務署		野球場
	港		水族館		発電所		展望台

- 表示される記号またはマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つのマークで表示されることもあります。

● サービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)などハイウェイモードのときに表示されるマークです。

記号	名称
IC	IC
スマートIC	スマートIC
SA	SA
PA	PA
JCT	JCT
IC JCT	IC/JCT（併設）
IC SA	IC/SA（併設）
IC PA	IC/PA（併設）
SA JCT	SA/JCT（併設）
PA JCT	PA/JCT（併設）
¥	料金所

● サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）の設備は、以下のマークになります。

記号	名称
スマートIC	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
オアシス	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
WC	障害者用トイレ
¥	ATM
	トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

●この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017　一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第44条に基づく成果使用承認）[2022年3月発行データ使用]

●この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号　国地企調第180号　平成22年9月28日）

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　令元情使、第320号-46号）

■交通規制データについて

●本製品に使用している交通規制データは、2022年3月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

■駐車場データについて

●駐車場データは、2022年10月1日まで対応しています。但し、2022年5月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。

●タイムズデータについては、パーク24(株)提供リストに準拠し、2022年2月時点で取得できた情報までに限ります。

■タウンページデータ/訪問宅（個人宅）電話番号データについて

●タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2022年3月号データを収録しています。

●訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2022年3月号データを収録しています。

●局番変更については、2022年10月1日変更分まで対応する。但し、2022年5月時点で取得できた情報までに限ります。

●もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。

●一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

■住所データについて

●住所データについては2022年4月時点の住所マスターデータを使用しています。

●市区町村合併については、2022年10月1日施行分まで対応しています。但し、2022年4月時点で取得できた情報までに限ります。

●出典：「国勢調査結果」（総務省）を加工して作成しています。

■郵便番号データについて

●郵便番号データは、2022年4月時点のデータを使用しています。

●大口事務所・私書箱については、2022年4月時点のデータを使用しています。

■料金データについて

●高速道路(有料道路を含む)料金表データは、2022年3月調査で2022年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得しています。

■放送局リストのデータについて

- ●放送局リストのデータは2022年8月現在のものです。
- ●放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

■施設情報および個人情報（電話番号）について

- ●これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- ●本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■注意事項

- ●データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- ●いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- ●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- ●収録するデータはその正確性を保証するものではございません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- ●本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017（一般財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2022 GeoTechnologies, Inc.

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第３条第１項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書、ユーザーズガイド、オプションマニュアル、またはヘルプファイル等に記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用､再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
https://www.kenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示または黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は［情報・設定］ー[システム]ー［特別］の[オープンソースライセンス]です。

VICS について

VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）

  ＜問い合わせ先＞

  VICS センター

  電話番号

  0570-00-8831

  ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

  ※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

  電話受付時間

  9:30 ～ 17:45

  （但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

  FAX 受付時間　　24 時間

  FAX 番号（全国）　03-3562-1719

- VICSの最新情報について

  VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

  インターネット URL http://www.vics.or.jp/

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICSデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応ＦＭ受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応ＦＭ受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条　1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICSサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金 330円（税込み）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	−
	DVD オーディオ	×	−
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2 層)	○	
	DVD-R DL (2 層)	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽 CD	○	
	CD-ROM	○	−
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	−
	フォト CD	×	−
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	−
その他	8cm ディスク	×	−
	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因となります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因となることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

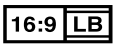
ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因となります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cm ディスク、8cm ディスクアダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

● DVD ディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどの DVD プレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1 本の映画の中に最大 8 つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32 カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

DVD は、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

禁止マーク

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC [1]
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/ 2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT [2]

[1] MMC(MultimediaCard) には対応していません。

[2] この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

● SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

● miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。

● ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。

● 本機で使用できない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32、または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。

● 本機は SD-Audio には対応していません。

● すべての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。

● SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。

● SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB 1.1/USB 2.0 [1]
デバイスクラス	マスストレージクラス (MSC device) [2]
最大消費電流	1A 以下
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT [3]

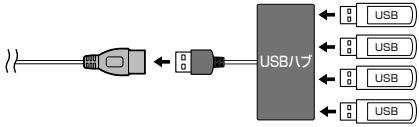
[1] USB3.0 には対応していません。
[2] 使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
[3] このほかのファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- すべての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）以外のケーブルを使用すると、正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

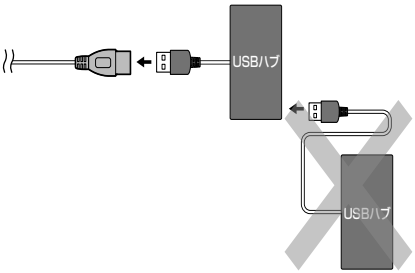
USB ハブの使用について

- 本機では、1 本の USB 接続ケーブルに対し 1 台の USB ハブを接続して、最大 4 つ（パーティション含む）の USB デバイスを接続できます。



ただし、すべての接続機器の動作を保証するものではありません。

- USB ハブは USB 接続ケーブル 1 本につき 2 台以上接続しないでください。



- 消費電流の大きい機器を USB ハブに接続すると動作しない場合があります。この場合は USB 接続ケーブルに直接接続してください。
- USB ハブを使って接続するときは、USB ハブを本機の USB 接続ケーブルに接続してから、USB 機器を USB ハブに接続してください。
- iPhone/iPod は USB ハブを介した接続ができません。USB 接続ケーブルに直接接続してください。

ハイレゾ音源について

- 本機は、以下のハイレゾ音源ファイルの再生に対応しています。
  - コーデック：FLAC/WAV
    - サンプル周波数：96kHz、量子化ビット数：24bit
    - サンプル周波数：192kHz、量子化ビット数：24bit
- ハイレゾ再生をお楽しみ頂くには、接続される機器（スピーカー等）もハイレゾ再生可能な製品が必要となります。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック ＼ メディア		CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます　×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit	16bit	16bit/24bit
ビットレート	8k ～ 320kbps, VBR	8k ～ 320kbps	8k ～ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz [1]	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz [1]
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/ 2.2/2,3/2,4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル : 0 ～ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

[1] CD メディアは 48kHz まで対応しています。

※ タグの文字数は全角 128 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ 本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイルコンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC			MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレームレート	30fps			30fps				30fps	
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名　全角 80 文字 (拡張子は除く)
フォルダ名　全角 80 文字
※ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大ファイル数：5000

- ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。
- フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。

USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：9999
1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

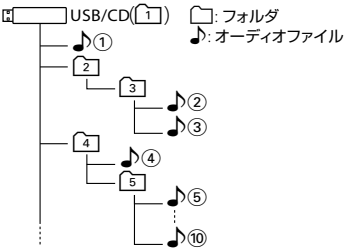
- フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。 ただし、制限内でもフォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

ファイル名の昇順

ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。

下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
  * SCMS-T 対応
    （SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）
- AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。
- PAN（パーソナルエリアネットワークプロファイル）
  小規模ネットワークを実現するためのプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.5.2 準拠

- 動作を確認した携帯電話機についてはホームページをご覧ください。
  https://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

SBC/AAC

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone SE (3rd generation)
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPod touch (7th generation)

- 音楽再生のみに対応します。
- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod/iPhone を USB 接続するときは、USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）と Apple 製 Lightning - USB ケーブルが必要です。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● **共通**

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(➜ P.79)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト (➜ P.79)、画面の明るさ (➜ P.25)、視野角 (➜ P.36) を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(➜ P.79)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(➜ P.127)
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出力されない。 ハンズフリーの音声が出力されない。	フロントスピーカーが接続されていない。	案内音声とハンズフリーの音声出力はフロントスピーカーのみです。スピーカーの接続を確認してください。
Bluetooth 機器が接続できない。	ソフトアップデート等により接続機器の登録情報が更新された。	Bluetooth 機器の登録をいったん削除して、再度登録し直してください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が“なし”になっている。	CMOS-C320 を接続しているときはリアビューカメラの設定を“専用カメラ”に、その他のカメラを接続しているときは“汎用カメラ”にしてください。(➜ P.197)

症状	考えられる原因	対処方法
「ハイ、彩速」と話しても音声操作機能が始まらない。	「音声操作」（一般）が［OFF］に設定されている。	［ON］に設定してください。 (➔ P.134)
	マイクが接続されていない。	マイクの接続を確認してください。

● **ナビ機能**

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。 (➔ P.77)
経由地を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。 (➔ P.73)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	ルートの距離が長い。	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	GPS アンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。 (➔ P.37) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
マイルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	マイルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—

症状	考えられる原因	対処方法
VICS の地図表示情報（レベル 3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m ～ 1km（一般道は 10m ～ 500m、一般道の駐車場情報は 10m ～ 200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。 オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 (➔ P.118)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が［OFF］に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を［ON］に設定してください。(➔ P.119)
夜の地図色が表示されない。	地図色昼夜切替が［昼色に固定］に設定されている。	「自動」に設定してください。 (➔ P.124)
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
	ディマーが「イルミ連動」に設定されている。	車両のイルミが ON でも周囲が明るいと昼色で表示されます。
音声案内されない。	ルート案内音声の出力が［OFF］に設定されている。	ルート案内音声の出力を［ON］に設定してください。(➔ P.122)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地 /AV】を押して現在地図画面に切り替えてください。(➔ P.46)
	画面がオフになっている。	【現在地 /AV】を押すか、画面をタッチしてください。(➔ P.26)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。 (➔ P.122)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
センサー学習が完了しない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。
リアモニターの映像が出ない。	接続機器の電源が入っていない。	接続機器の電源を入れてください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの接続状態を確認してください。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が 40° を超えている。	40° 以内になるように取り付けなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	【⏏】を押してディスクを取り出し、しばらく放置（約 1 時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。(➔ P.99)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク “⃠” が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(➔ P.223)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(➔ P.224)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。(➔ P.107)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。(➔ P.107)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。(➔ P.107)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	• 見通しのいい場所に移動してください。 • ワンセグに切り替えてください。(➔ P.106)
	ワンセグ/12セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	• iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 • iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音がひずむ。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USB ハブを介して接続している。	充電するときは USB ハブを使用せずに直接接続してください。 急速充電したいときは、USB 接続ケーブルに直接接続してください。
iPod の音声が出力されない。	「Lightning - Digital AV アダプタ」を使用して本機に iPod を接続している。	「Lightning-Digital AV アダプタ」を外して接続しなおしてください。（➔ P.81）

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB 接続ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 接続ケーブル KNA-22USB（別売品）以外のケーブルを使用しているため、データの品質が悪くなっている。	1 個の USB 端子に、USB 接続ケーブル KNA-22USB を 1 本のみ使用して接続してください。
	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続している。	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続して USB 機器を接続すると、本機で再生することができません。 USB ハブを 1 台にして接続しなおしてください。
	複数の USB 機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	［デバイス切替］で再生したいデバイスに切り替えてください。（➜ P.85）
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。（➜ P.223）
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、| ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く）全角 80 文字以内に変更してください。
	再生モードが録音した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。（➜ P.86）

● 内蔵メモリ /SD カードへの録音と再生

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ（kenwood.direct.rec フォルダのデータ）またはコンテンツデータベース（_ContentsDB フォルダのデータ）を編集または変更した。	録音データ（kenwood.direct.rec フォルダのデータ）またはコンテンツデータベース（_ContentsDB フォルダのデータ）を編集または変更すると本機で再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。（➜ P.86）
音楽 CD を内蔵メモリ /SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。たとえば、電話帳や「KENWOOD Drive Info.」のデータ受信中などは音が途切れる場合がある。	ご利用の Bluetooth 機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。
スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにしてオンにすると本機と接続できない。	スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにした場合、再度オンにしても本機からは認識できないことがある。	スマートフォンの Bluetooth 接続機器から本機を選び直してください。

● HDMI ソース

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	解像度が 480p または 720p になっていない。	HDMI 機器の映像出力設定を Auto に設定してください。Auto 設定が無い場合は、480p または 720p に設定してください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの接続状態を確認してください。
音が出ない。	PCM 以外で入力している。	接続している機器の音声が PCM 出力になっているか確認してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● **共通**

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
異常を検出したため、音声出力を停止しました。 電源を入れなおしても問題が解消されない場合は カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
現在の音量以上の音で聞き続けると 聴力に影響を与える可能性があります。	[閉じる] をタッチした後、適切な音量に調整してください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスが検出できません。 車速検出コード（桃）の接続先及び接続状態を確認してください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの 学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。 スマートフォンを確認してください。	• 使用していたスマートフォンのアプリケーションを停止させ、再起動させてください。 • スマートフォンの Bluetooth をいったんオフして、オンしてください。

● **ナビ**

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	• ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 • 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	• 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 • カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 • カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードに書き込みできません。(11)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0 接続エラー	取付説明書を参照して、ETC2.0 車載器の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、CMOS-C320 との接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および CMOS-C320 のカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、ドライブレコーダーの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リアドライブレコーダーが接続されていません。	リアドライブレコーダー接続を［OFF］に設定してください。
ドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、ドライブレコーダーの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

メッセージ	対処
リアドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	リアドライブレコーダー接続を［OFF］に設定してください。
ドライブレコーダーの手動録画のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	必要なデータはパソコンなどにバックアップし、不要なデータは SD カードから削除してください。
ドライブレコーダーのイベント記録のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	
ドライブレコーダーの SD カードの空き容量不足のため、録画を中止しました。	
ドライブレコーダーの録画を中止しました。	• カメラの接続に異常があります。カメラの接続をご確認ください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。 • 何らかの不具合により録画ができなくなっています。JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーが高温になったため、安全のため電源を切りました。	温度異常により、電源がオフになっています。通常の温度に戻ると自動で復帰し、使用できるようになります。
ドライブレコーダーの静止画撮影を中止しました。	静止画撮影ができませんでした。何度か本機の［静止画］にタッチしても撮影できない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーの静止画記録ファイル数が上限に達したため、静止画撮影を中止しました。	必要なデータはパソコンなどにバックアップして、不要なデータは SD カードから削除してください。
ドライブレコーダーの SD カードの交換推奨時期です。	ドライブレコーダーに挿入している SD カードの寿命が近くなるとお知らせします。挿入している SD カードに録画できなくなる前に SD カードを交換してください。 ドライブレコーダーに付属の SD カードおよび別売のケンウッド製 SD カード使用時のみ有効になります。 別売の SD カードは、 https://www.kenwood.com/jp/car/option/sd-cards/ の SD カードをご覧ください。
SD カードアクセスエラーのため削除できませんでした。SD カードを確認してください。	SD カード内のデータを削除できませんでした。 SD カードが正しく挿入されているか確認してください。それでもファイルを削除できない場合は、SD カードを初期化してください。
ドライブレコーダーの初期設定または取り付け位置に異常があります。 ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。	ドライブレコーダーの取扱説明書を参照して、ドライブレコーダーの「本体初期設定」を実施してください。 また、ドライブレコーダーの取り付け位置が変わっていないか確認してください。

● **AV（共通）**

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。(➜ P.223)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。

● AV（DISC）

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。（➜ P.99） または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。（➜ P.93）
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	• 不要な楽曲を削除してから録音してください。（➜ P.93） 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。（➜ P.88） • SD カードに録音する場合は、不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。SD カードの接続及び空き容量を確認してください。	

● AV（内蔵メモリ）

メッセージ	対処
録音データを移動できませんでした。 SD カードを確認してください。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードの空き容量不足のため、 録音データの移動ができませんでした。 SD カードを確認してください。	不要な楽曲またはアルバムを削除してから、SD カードへの移動を行ってください。（➜ P.93）
移動可能なアルバム数の上限を超えています。	移動後の SD カードの録音アルバム数が 999 以下になるように、不要なアルバムを削除してから移動してください。（➜ P.93）

● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	• 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。 • スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。 • Bluetooth 接続でご利用の場合は、［デバイス切替］から、ご利用の機器に［オーディオ / アプリケーション連携］を設定してください。
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。（アプリケーションの仕様） 再生ボタンをタッチするか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。

● Gracenote 音楽認識サービス

メッセージ	対処
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。

● MapFanAssist 機能

メッセージ	対処
MapFan 会員 ID またはパスワードが違います。MapFan 会員 ID とパスワードをご確認の上、もう一度入力してください。	MapFan 会員 ID とパスワードをご確認の上、もう一度入力してください。
所定の回数を連続して誤って入力されたため、およそ 30 分間はログインできません。しばらくしてから再度ログインしてください。	MapFan 会員 ID とパスワードをご確認の上、30 分経過後に再度ログイン操作を行ってください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。スポットブラウザ／目的地予約／おでかけプラン／マイカー位置表示を更新できませんでした。	ログアウト後、再度ログインしてください。 その後、MapFan 連携設定画面からデータ更新を行ってください。 データ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。MapFan 連携サーバーで問題が発生しています。	しばらくしてから、MapFan 連携設定画面からデータ更新を行ってください。 何度かデータ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan 連携サーバーのメンテナンス中です。メンテナンス完了まで、スポットブラウザ／目的地予約／おでかけプラン／マイカー位置表示を更新できません。	
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。スポットブラウザ／目的地予約／おでかけプランを更新できませんでした。	
MapFan 連携サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動してください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。マイカー位置表示を更新できませんでした。	ログアウト後、再度ログインしてください。 再度ログインしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
入力した MapFan 会員 ID では、MapFan 連携を利用できません。 MapFan 連携の利用には、KENWOOD MapFan Club への入会が必要です。	KENWOOD MapFan Club への入会手続きを行い、MapFan 会員 ID を取得して入力してください。
MapFan 連携の通信エラーが発生しました。マイカー位置表示を更新できませんでした。	MapFan で確認できるマイカー位置と、実際の自車位置が大きくずれた状態が継続する場合、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan 連携サーバーで問題が発生しています。マイカー位置表示を更新できませんでした。	しばらくしてから、MapFan 連携設定画面からデータ更新を行ってください。 何度かデータ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

● VOIPUT

メッセージ	対処
該当する住所が見つかりませんでした。	• 地図データベースに該当する施設が無い場合は検索ができません。 • カテゴリーデータベースに該当する楽曲が無い場合は検索ができません。 • マジックワードをつけて発話しなかった場合は検索したい目的のマジックワードをつけて発話してください。
該当する施設が見つかりませんでした。	
該当する楽曲が見つかりませんでした。	
サーバーに接続できません。	• VOIPUT の起動を確認してください。 • マイクを発話者のほうに向けてください。 • iPhone の場合、バックグラウンド動作（スマートフォンの画面に表示されていない状態）に対応していません。必ずフォアグラウンドでご利用ください。 • お使いのスマートフォンの Bluetooth 設定を一度 OFF して、再度 ON してください。それでも問題が発生する場合は、本機の Bluetooth 設定を一度 OFF して、再度 ON してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	
認識できませんでした。	
解析できませんでした。	

主な仕様

● ナビゲーション部

衛星測位システム	受信衛星	GPS, QZSS（準天頂衛星）, Galileo, BeiDou
	受信信号	L1, L1S (SLAS のみ対応)
	測位形式	3D/DGPS
VICS		FM 多重、VICS WIDE
センサー		6 軸慣性センサー （ジャイロ3軸＋加速度3軸）

● モニター部

画面サイズ	MDV-S810F/MDV-S810L 8V 型ワイド VGA パネル MDV-S710W/MDV-S710 7V 型ワイド VGA パネル
表示方式	透過型 TN 液晶
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 水平800×垂直480×3(RGB)
表示方式色数	26.2 万色
画素配列	RGB ストライプ配列
LCD バックライト使用光源	LED 光源
タッチパネル	方式： MDV-S810F/MDV-S810L 静電容量式タッチパネル MDV-S710W/MDV-S710 抵抗膜方式タッチパネル 表面処理：グレア処理

● オーディオ部

最大出力		50W × 4
定格出力		29W×4 (4Ω,1kHz,10%THD)
インピーダンス		4 ～ 8 Ω
グラフィックイコライザー	周波数	62.5Hz ～ 16kHz
	調整幅 (Step)	±9dB (1dB)
タイムアライメント	調整幅 (Step)	0cm ～ 610cm (1cm step)
	レベル調整幅 (Step)	-8 ～ 0dB (TW:0.5dB, SP:1dB)

● HDMI 入力 [2]

入力端子	TYPE-D 1 系統
外形寸法 (W×H×D)	10.8mm × 7.5mm × 26.5mm
対応 IF	HDMI
解像度	1280 × 720P 59.94Hz/60Hz 720 × 480P 59.94Hz/60Hz 640 × 480P 59.94Hz/60Hz
音声信号方式	リニア PCM
サンプリング周波数 (音声)	32k/44.1k/48k/88.2k/ 96k/176.2k/192k Hz
量子化ビット数 (音声)	16/20/24bit

● 入出力部

リアビューカメラ入力 (専用端子)	端子	オリジナルコネクタ (8pin) 1 系統
	信号処理方式	NTSC コンポジット映像信号
	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
ドライブレコーダー映像入力	端子	オリジナルコネクタ (24pin) 1 系統
	信号処理方式	NTSC コンポジット映像信号
	映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
映像出力 [1]	端子	オリジナルコネクタ (24pin) 1 系統
	映像出力レベル	1Vp-p/75 Ω
外部機器通信端子		オリジナルコネクタ (7pin)

● Bluetooth 部

Version	Bluetooth Ver. 5.2 準拠
デバイスタイプ	BR/EDR/LE
対応プロファイル	HFP/ PBAP/ A2DP/ AVRCP/ SPP/ PAN/ GAP/ GATT
音声コーデック	SBC/AAC
マイク入力端子	3.5 Φ Mini-Jack
著作権保護規格	SCMS-T

● 地デジチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 （日本）（ワンセグ対応）
受信チャンネル	UHF13 ～ 52 チャンネル

● FM 部

受信周波数範囲	76.0MHz~99.0MHz
周波数ステップ	0.1MHz
実用感度	8dBf(0.7μV/75Ω)

● AM 部

受信周波数範囲	522kHz~1629kHz
周波数ステップ	9kHz
実用感度 (S/N : 20dB)	28dBμV

● USB I/F 部 [3]

USB（Type-A）	USB2.0 High Speed
最大供給電流	DC 5V ⎓ 1A 1 系統
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● ディスク部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD-VR (CPRM), DVD ± R/ ± RW/ ± R DL, CD-DA, CD-R/RW, SACD（CD LAYER ONLY）(8cm ディスク非対応)
リージョン No	2
サンプリング周波数	44.1/48/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）

● メディア対応

ディスク	Audio	MP3/ AAC/ WMA/ WAV/ FLAC/ Vorbis
USB/SD	Audio	MP3/ AAC/ WMA/ WAV/ FLAC/ Vorbis
	Video	MPEG-4 Video/ MPEG-4 AVC (H.264)/ WMV

● 電源 / 寸法 / 質量

電源電圧		14.4V（10.5V ~ 16V）
最大消費電流		15A
使用温度範囲		-10 ~+ 60℃
本体部	外形寸法 (W×H×D)	MDV-S810F 178mm × 100mm × 158mm ※突起物は除く MDV-S810L 197mm × 125mm × 182mm MDV-S710W 206mm × 104mm × 174mm MDV-S710 180mm × 100mm × 183mm
	埋込寸法 (W×H×D)	MDV-S810F 178mm × 100mm × 155mm MDV-S810L/ MDV-S710W/ MDV-S710 178mm × 100mm × 160mm
	質量（重さ）	MDV-S810F 2.2kg MDV-S810L 2.4kg MDV-S710W 2.3kg MDV-S710 2.2kg
パネル部 [4]	外形寸法 (W×H×D)	225mm × 137mm × 21mm ※突起物は除く
	質量（重さ）	1.0kg
GPS アンテナ	外形寸法 (W×H×D)	36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル長	3.5m
	質量（重さ）	約 84g

● 地デジ / ワンセグアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長	4.0m
エレメント外形寸法	117.5mm×86mm
質量（重さ）	約 40g(1 本あたり / ケーブル含む)

[1] 別売の AV プリアウト拡張ケーブル KNA-17AV が必要です。
[2] 別売の HDMI 接続ケーブル KNA-20HC が必要です。
[3] 別売の USB 接続ケーブル KNA-22USB が必要です。
[4] MDV-S810F のみ。

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

特許権 / 著作権 / 商標など

"Hi-Res Audio" ロゴは
日本オーディオ協会のライセンスを受けて使用しています。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

DVD is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S., Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc.,registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

MapFan はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVC ケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

VICS および VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「マップコード」および「MAPCODE」は (株) デンソーの登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote” ロゴは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

本製品には、株式会社ユビキタス AI コーポレーションの高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションの商標です。
Copyright© 2023 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

Ubiquitous AI Corporation

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

FontAvenue

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®
with
Hitachi Speech Synthesizer

「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。
ロゴは登録商標です。

Hi-Res AUDIO

libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

-Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
-Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
-Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- -Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- -Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- -Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- -Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- -Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- -Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

B

Bluetooth オーディオ機器の再生 149

D

DVD 再生..... 101

E

ECO 情報 120
ETC2.0 車載器..... 200

G

GPS..... 37

H

HDMI..... 111

I

iPod を再生する 81

N

NaviCon（スマートフォンアプリ）... 152, 170

Q

QR コード..... 53, 139

U

USB 機器 /SD カードのファイル再生 82

V

VICS 情報 114

あ

アスペクト（画面表示サイズ）..... 80
案内音声の音量..... 122

え

エラーメッセージ..... 236

お

オートアンテナ..... 11, 39, 134
オートペアリング..... 141
オートリルート..... 75
音楽 CD 再生 99
音楽 CD の録音 88
音声操作 29

か

画質の調整 79

け

経由地..... 72
経由地の削除 73
経由地の順番変更..... 73
現在位置の修正..... 124
現在地図画面 46
検索履歴の削除..... 62

こ

交差点案内図の表示..... 68
高速道分岐イラストの表示 68
高速道路でのルート案内 67
交通情報（ラジオ）..... 111
コンパスボタン..... 46, 48

さ

再生できるディスク..... 220
サウンド設定 127

し

自車マーク（地図）..... 47
システム設定 133
自宅に帰る 57
自宅の登録 44, 57
シミュレーション..... 75
視野角..... 36
車速パルス 37
ジャンル検索 60, 61
住所検索..... 62

す

ステアリングリモコン..... 40, 134
スピーカー構成..... 128
スマートフォン連携..... 152

せ

セキュリティインジケーター 22, 134
センサー学習 37

そ

走行軌跡の表示 46, 121, 125
操作音の出力 134
ソース切替画面 78
ソースレベル 133

ち

地図記号 212
地図更新サービスプログラム 138
地図の傾き角度 48
地図の縮尺 47
地点登録 76
チャンネルスキャン（地デジ） 107

て

ディスク挿入口 22
ディスクの出し入れ 98
ディスクメニュー 104
デモ走行 75
電源オン / オフ 23
電話帳 147
電話の着信 145
電話番号検索 63
電話をかける 146, 147, 148, 149

と

到着予想時刻 / 距離 66
登録機器の削除（Bluetooth） 143
登録地点検索 62
登録地点の編集 76, 77
時計 46
ドライブレコーダー 177

な

ナビ設定 121

の

ノースアップ 48

は

パーキング検出コード 37
バージョン情報 138
バーチャルルームミラー 195
ハイウェイモード画面 67
ハンズフリー通話 144

ふ

フェリーを利用した探索 123
フライビューマップ表示 121

ほ

方面看板 46, 122
ボタンの操作音 134

ま

マップクリップ 53

め

メッセージ 236

も

目的地 64
目的地の削除 73
目的地付近の地図表示 75
文字の入力 28

ゆ

ユーザーイコライザー 131, 132

ら

ランドマーク情報の表示 53

り

リアビューカメラ 197
リスニングポジション 129
リバース検出コード 37
履歴検索 62

る

ルート案内の開始 64
ルート案内の終了 75
ルート全体 75
ルート探索方法の設定 64
ルートの再探索 72

れ

レーン情報 46

ろ

録音 88
録音設定 88
録音停止 89
録音データの再生 90
録音データの削除 93

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

●商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87	(固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114	(携帯電話からはナビダイヤル)
045-450-8950	(一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間	月曜～金曜:　9:30～18:00
	土曜:　9:30～12:00、13:00～17:30
	(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

● 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ（https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html）またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。